NEC

ユーザーズマニュアル

LaVie M

853-811064-105-A
2011年5月　初版

付　録

このマニュアルの表記について

◆手順は左、補足説明は右に

このマニュアルでは、操作手順は順番に画面を示しながら説明しています。実際のパソコンの画面を確かめながら操作を進めてください。パソコンの画面でむやみにマウスを操作すると、思わぬ画面が表示されることがあります。このマニュアルで、どこを操作すればよいのか必ず確認してください。また、ページの右側の注意には、操作に関連する補足説明や参照情報などが記載されています。はじめてパソコンを扱うかたは、右側の説明もよく読んでください。

◆このマニュアルでは、パソコンを安全にお使いいただくための注意事項を次のように記載しています

記載内容を守っていただけない場合、どの程度の影響があるかを表しています。

警告　人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

注意　人が軽傷を負う可能性が想定される内容、および、物的損害の発生が想定される内容を示します。

傷害や事故の発生を防止するための禁止事項は、次のマークで表しています。

一般禁止
その行為を禁止します。

接触禁止
特定場所に触れることで傷害を負う可能性を示します。

水ぬれ禁止
水がかかる場所で使用したり、水にぬらすなどして使用すると漏電による感電や発火の可能性を示します。

火気禁止
外部の火気によって製品が発火する可能性を示します。

分解禁止
分解することで感電などの傷害を負う可能性を示します。

ぬれ手禁止
ぬれた手で扱うと感電する可能性を示します。

傷害や事故の発生を防止するための指示事項は、次のマークで表しています。

使用者に対して指示に基づく行為を強制するものです。

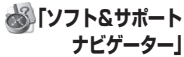
電源コードのプラグを抜くように指示するものです。

アース線を必ず接続するように指示するものです。

◆このマニュアルで使用している記号や表記には、次のような意味があります

チェック!!	してはいけないことや、注意していただきたいことを説明しています。よく読んで注意を守ってください。場合によっては、作ったデータの消失、使用しているソフトの破壊、パソコンの破損の可能性があります。
参照	マニュアルの中で関連する情報が書かれている所を示しています。
☹➡☺	パソコンで起きている問題点に対して対処のしかたがいくつかあるときは、この記号の確認事項をチェックして、あてはまるものを探してください。
メモ	参考になる事柄です。

◆このマニュアルの表記では、次のようなルールを使っています

【 】	【 】で囲んである文字は、キーボードのキーを指します。
「ソフト&サポートナビゲーター」	画面で見るマニュアル「ソフト＆サポートナビゲーター」を起動して、各項目を参照することを示します。 「ソフト＆サポートナビゲーター」は、タスクバーの(ソフト＆サポートナビゲーター)アイコンをクリックして起動します。

◆番号検索について

このマニュアルに出てくる検索番号(8桁の数字)を画面で見るマニュアル「ソフト＆サポートナビゲーター」で入力して検索すると、詳しい説明や関連する情報を表示できます。

例）検索番号が「91060010」の場合

◆本文中の画面やイラスト、ホームページについて

- 本文中の画面やイラスト、ホームページは、モデルによって異なることがあります。また、実際の画面と異なることがあります。
- 記載している内容は、このマニュアルの制作時点のものです。お問い合わせ先の窓口やサービス内容、住所、電話番号、ホームページの内容やアドレスなどが変更されている場合があります。あらかじめご了承ください。

◆このマニュアルでは、各モデル(機種)を次のような呼び方で区別しています

ご購入された製品のマニュアルで表記されているモデル名を確認してください。

Windows 7 Home Premiumモデル	Windows 7 Home Premiumがあらかじめインストールされているモデルのことです。
Windows 7 Professional モデル	Windows 7 Professionalがあらかじめインストールされているモデルのことです。
Office Personal 2010モデル	Office Personal 2010が添付されているモデルのことです。
Office Home & Business 2010 モデル	Office Home & Business 2010が添付されているモデルのことです。
Office 2010モデル	Office Personal 2010またはOffice Home & Business 2010が添付されているモデルのことです。
ワイヤレスTVデジタル添付モデル	地上/BS/110度CSデジタル放送と、ひかりTVを見るための機能として「SmartVision」を搭載し、ワイヤレスLANを使ってデジタル放送をパソコンに送信する「ワイヤレスＴＶデジタル」が添付されたモデルのことです。
高速11n対応ワイヤレスLAN(abgn)モデル	IEEE802.11a(5GHz)、IEEE802.11b/g(2.4GHz)、およびIEEE802.11n(2.4/5GHz)の規格に対応したワイヤレスLANインターフェイスを内蔵しているモデルのことです。

◆周辺機器について

- 接続する周辺機器および利用するソフトウェアが、各種インターフェイスに対応している必要があります。
- 他社製増設機器、および増設機器に添付のソフトウェアにつきましては、動作を保証するものではありません。他社製品との接続は、各メーカにご確認の上、お客様の責任においておこなってくださるようお願いいたします。

◆このマニュアルで使用しているソフトウェア名などの正式名称

(本文中の表記)	(正式名称)
Windows、Windows 7	Windows® 7 Home Premium with Service Pack 1(SP1) Windows® 7 Professional with Service Pack 1(SP1)
Office Personal 2010	Microsoft® Office Personal 2010
Office Home & Business 2010	Microsoft® Office Home and Business 2010
Outlook 2010	Microsoft® Outlook 2010

Word 2010　Microsoft® Word 2010

ウイルスバスター　ウイルスバスター 2011 クラウド™

シリーズ名	型名(型番)	ワイヤレスLAN	表記の区分		
			TV機能	OS	添付ソフト
LaVie M	LM750/ES6□ (PC-LM750ES6□)※	高速11n対応ワイヤレスLAN(abgn)モデル	ー	Windows 7 Home Premiumモデル	Office Home & Business 2010モデル
	LM570/ES (PC-LM570ES)		ワイヤレスTVデジタル添付モデル		Office Personal 2010モデル
	LM550/ES6□ (PC-LM550ES6□)※		ー		

※:本体の色によって□の中に異なる英数字が入ります。

シリーズ名	カラー	型名(型番)
LaVie M	フラッシュホワイト	LM750/ES6W(PC-LM750ES6W) LM550/ES6W(PC-LM550ES6W)
	コスモブラック	LM750/ES6B(PC-LM750ES6B) LM550/ES6B(PC-LM550ES6B)
	ブレイズレッド	LM750/ES6R(PC-LM750ES6R) LM550/ES6R(PC-LM550ES6R)

ご注意

(1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁じられています。
(2) 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
(3) 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、NEC 121コンタクトセンターへご連絡ください。落丁、乱丁本はお取り替えいたします。
(4) 当社では、本装置の運用を理由とする損失、逸失利益等の請求につきましては、(3)項にかかわらずいかなる責任も負いかねますので、予めご了承ください。
(5) 本装置は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの組み込みや制御等の使用は意図されておりません。これら設備や機器、制御システムなどに本装置を使用され、人身事故、財産損害などが生じても、当社はいかなる責任も負いかねます。
(6) 海外における保守・修理対応は、海外保証サービス[NEC UltraCare℠ International Service]対象機種に限り、当社の定めるサービス対象地域から日本への引取修理サービスを行います。サービスの詳細や対象機種については、以下のホームページをご覧ください。
http://121ware.com/ultracare/jpn/
(7) 本機の内蔵ハードディスクにインストールされているWindows® 7 Starter、Windows® 7 Home Premium、Windows® 7 Professional、Windows® 7 EnterpriseまたはWindows® 7 Ultimateおよび本機に添付のCD-ROM、DVD-ROMは、本機のみでご使用ください。
(8) ソフトウェアの全部または一部を著作権の許可なく複製したり、複製物を頒布したりすると、著作権の侵害となります。
(9) ハードウェアの保守情報をセーブしています。

各種規制について

■技術基準等適合認定について

このパーソナルコンピュータには、技術基準認証済みの通信機器が搭載されています。

本装置のモデムは、諸外国で使用できる機能を有していますが、日本国内で使用する際は、他国モードに設定してご使用になりますと電気通信事業法（技術基準）に違反する行為となります。なお、ご購入時の使用国モード（初期値）は「日本モード」となっておりますので、設定を変更しないでそのままご使用ください。

■高調波電流規制について

この装置の本体は、高調波電流規格JIS C 61000-3-2 適合品です。

本体の電源の入力波形は正弦波をサポートしています。

■電波障害自主規制について

この装置は、クラスB 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。 VCCI-B

■瞬時電圧低下について

[バッテリパックを取り付けていない場合（バッテリパックがない機種含む）]

本製品は落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合を生じることがあります。

電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをおすすめします。（社団法人　電子情報技術産業協会のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策に基づく表示）

[充電されたバッテリパックを取り付けている場合]

本製品は、社団法人　電子情報技術産業協会の定めたパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策規格を満足しております。しかし、本規格の基準を上回る瞬時電圧低下に対しては、不都合が生じることがあります。

■レーザー安全基準について

DVD/CDドライブ（ブルーレイディスクドライブ含む）が搭載されているモデルでは、レーザー製品の安全基準（JIS C 6802、IEC60825-1）のクラス1 レーザー製品であるDVD/CDドライブ（ブルーレイディスクドライブ含む）が搭載されています。レーザーマウス（ワイヤレスマウス）が添付されているモデルでは、レーザー製品の安全基準（JIS C 6802、IEC60825-1）のクラス1レーザー製品であるレーザーマウスが添付されています。

■輸出に関する注意事項

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様であり、外国の規格等には準拠していません。

本製品を日本国外で使用された場合、当社は一切責任を負いかねます。

従いまして、当社は本製品に関し海外での保守サービスおよび技術サポート等は行っていません。（ただし、海外保証サービス[NEC UltraCare[SM] International Service]対象機種については、ご購入後一年間、日本への引取修理サービスを受けられます。）

本製品の輸出（個人による携行を含む）については、外国為替及び外国貿易法に基づいて経済産業省の許可が必要となる場合があります。

必要な許可を取得せずに輸出すると同法により罰せられます。

輸出に際しての許可の要否については、ご購入頂いた販売店または当社営業拠点にお問い合わせください。

■Notes on export

This product (including software) is designed under Japanese domestic specifications and does not conform to overseas standards. NEC*[1] will not be held responsible for any consequences resulting from use of this product outside Japan. NEC*[1] does not provide maintenance service nor technical support for this product outside Japan. (Only some products which are eligible for NEC UltraCare[SM] International Service can be provided with acceptance service of repair inside Japan for one year after the purchase date.)

Export of this product (including carrying it as personal baggage) may require a permit from the Ministry of Economy, Trade and Industry under an export control law. Export without necessary permit is punishable under the said law. Customer shall inquire of NEC sales office whether a permit is required for export or not.

*[1]: NEC Corporation, NEC Personal Products, Ltd.

安全にお使いいただくために

安全上の警告・注意事項

本体使用上の警告・注意

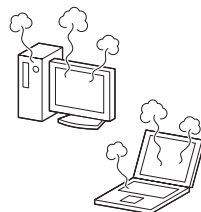
■本体使用上の警告

⚠警告

● **本製品は電源コンセントの近くに設置し、遮断装置(電源コードのプラグ)に容易に手が届くようにしてください(バッテリパック使用時は除く)。**

電源コンセントから遠い場所に設置した場合、万一、煙や異臭、異常な音が発生したとき、手で触れないほど熱くなったときなど、電源コードのプラグをすぐに抜けなくなるおそれがあります。

● **煙や異臭、異常な音、手で触れないほど熱いときは、すぐに本製品の電源を切り、電源コードのプラグをコンセントから抜いてください。バッテリパックを装着しているときは、安全を確認してから取り外してください。**

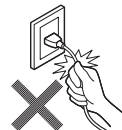
そのまま使用すると、火災、やけど、感電のおそれがあります。内部の点検・調整は、下記にお問い合わせください。
0120-977-633

● **本製品に触れるとビリビリとした電気を感じる場合は、すぐに電源を切り、電源コードのプラグをコンセントから抜いてください。バッテリパックを装着しているときは、安全を確認してから取り外してください。**

そのまま使用すると、感電、けが、火災の原因となるおそれがあります。

● **本製品が変形していたり、割れ目などの破損箇所がある場合は、すぐに電源を切り、電源コードのプラグをコンセントから抜いてください。バッテリパックを装着しているときは、安全を確認してから取り外してください。**

そのまま使用すると、感電、けが、火災の原因となるおそれがあります。

● **電源コードのプラグをコンセントから抜くときは、コードを引っ張らないでください。**

電源コードが破損し、火災や感電の原因になります。

● **雷が鳴り出したら、本製品や本製品に接続されているケーブル類(電源コード、ACアダプタ、USBケーブルなど)に触れないでください。また、機器の接続や取り外しをおこなわないでください。**

落雷による感電のおそれがあります。

⚠警告

● **ビニール袋などの梱包材料は、お子さま、特に乳幼児の手の届かない安全な所に保管してください。**

窒息事故などを起こすおそれがあります。

● **不安定な場所に置かないでください。また、地震等によって落下、転倒しやすい場所には置かないでください。**

落下、転倒してけがをするおそれがあります。

● **本製品を改造、分解しないでください。**

感電、発煙、発火の原因になります。

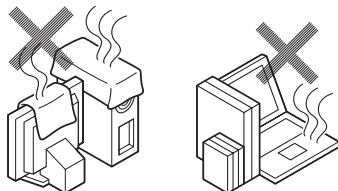
● **本製品を火中に投入、加熱、あるいは端子をショートさせないでください。**

発熱、発火、破裂の原因になります。

● **本製品の内部に次のような異物を入れないでください。**

・金属物
・水などの液体
・燃えやすい物質
・薬品
回路がショートして火災の原因になります。

● **装置の通風孔(排熱孔)をふさがないでください。**

内部に熱がこもり、発煙、発火の原因になることがあります。

■本体使用上の注意

⚠注意

● **本製品を次のような場所では使用・保管しないでください。**

・風呂場など湿気の多い場所
・調理台や加湿器のそばなど、水、湿気、湯気、塵、油煙などの多い場所
感電の原因になります。万一液体が入った場合は、電源をオフにしてNECサポート窓口(121コンタクトセンター)にお問い合わせください。乾いているようでも本製品の内部に水分が残っていることがあります。

⚠注意

● **本製品の使用中や使用直後、バッテリパックの充電中は、温度が高くなる部分がありますので注意してください。**

特に、本体底面、本体背面のコネクタ、液晶ディスプレイの周辺、キーボードのキー、コードを固定するねじ類、通風孔(排熱孔)、ACアダプタの表面、PCカード、PCカードスロット、コンパクトフラッシュカードの周辺、バッテリパックやバッテリパックの周辺などが高温になる場合があり、やけどなどのおそれがあります。

● **本製品を設置したり移動する場合は、指などをはさまないよう十分注意してください。**

設置や移動の際、本製品と床、壁などとの間に指などをはさむと、けがの原因になることがあります。

● **重い製品を移動する場合は、ひざを曲げ、体勢を整えてから、できるだけ体にくっつけるようにして持ち上げてください。**

体勢を整えないまま持ち上げると腰痛の原因になる場合があります。なお、大きな製品や特に重い製品は2人以上で持ち上げるようにしてください。

● **前面カバーがある製品の場合、カバーを開けた状態で使用するときは、十分注意してください。**

前面カバーに強くぶつかったときにけがの原因になることがあります。
ケーブル等を接続したり、一部のPCカード等を取り付けた状態では、カバーを閉じられない場合があります。この場合はカバーを開けたまま使用してください。

● **本製品は、24時間以上の連続使用を前提とした設計にはなっておりません。注意してください。**

故障や安全の観点からご注意ください。

● **通風孔(排熱孔)からの送風に注意してください。**

通風孔(排熱孔)からの排気は室温よりも高い温度となっております。通風孔(排熱孔)からの送風に長時間当たることにより、低温やけどのおそれがあります。肌の弱い方などは特にご注意ください。

● **液晶ディスプレイを閉じた状態で使用しないでください。**

内部温度が高くなり、故障、発熱の原因となります。

● **ひざの上で長時間使用しないでください。**

使用中、本製品の底面が熱くなり、低温やけどを起こす可能性があります。
低温やけどは、長時間にわたり一定箇所に発熱体が触れたままになっているときなどに肌に紅斑(こうはん)、水泡(すいほう)などの症状を起こすやけどのことです。
肌の弱い方などは、特にご注意ください。

● **使用するソフトによっては、パームレスト部(手をのせる部分)やキーボードのキーが多少熱く感じられることがあります。**

長時間にわたるキーボード等の操作をする場合は、低温やけどのおそれがあります。肌の弱い方などは特にご注意ください。

⚠注意

● **DVD/CDドライブ(ブルーレイディスクドライブ含む)のトレイが出た状態で使用する場合は、十分注意してください。DVD/CDドライブ(ブルーレイディスクドライブ含む)のトレイはイジェクトボタンを押さなくても、ソフトウェアの動作などで本体から出てくることがあるため注意してください。**

DVD/CDドライブ(ブルーレイディスクドライブ含む)のトレイに強くぶつかったり手や足をひっかけたりすると、けがや破損の原因になります。

● **DVD/CDドライブ(ブルーレイディスクドライブ含む)は絶対に分解しないでください。**

故障、発熱、破損、感電の原因になります。

● **DVD/CDドライブ(ブルーレイディスクドライブ含む)などのレーザー光源を直接見ないでください。**

目の痛みなど、視力障害を起こすおそれがあります。

● **添付のCD-ROM・DVD-ROMディスクは、CD-ROM・DVD-ROM対応プレイヤー以外では絶対に使用しないでください。**

大音量によって耳に障害を被ったり、スピーカやCD-ROM・DVD-ROMディスクを破損する原因になります。

● **フロッピーディスクイジェクトボタンは指の腹の部分で押してください。**

爪の先でフロッピーディスクイジェクトボタンを押すと、爪と指先の間にフロッピーディスクイジェクトボタンが入ってけがの原因になります。

● **モデムは、一般の電話回線のみに接続してください。**

一般の電話回線以外に接続した場合、故障、発熱、破損の原因になります。

● **先のとがったもので液晶ディスプレイ表面に傷を付けないでください。**

● **液晶ディスプレイ表面や外枠部分を強く押さないでください。**

● **液晶ディスプレイ内部の液体を口に入れないでください。また、内部の液体に触れないでください。**

液晶ディスプレイが破損して内部の液体が口に入った場合は、すぐにうがいをしてください。また、皮膚に付着したり目に入った場合は、すぐに流水で15分以上洗浄し、直ちに医師にご相談ください。

⚠注意

● **液晶ディスプレイのガラスの取り扱いに注意してください。**

液晶ディスプレイはガラスでできています。取り扱いによってはガラスが割れることがあります。次の点に注意してください。

・液晶ディスプレイに衝撃を与えないよう、ゆっくり開閉してください。

・液晶ディスプレイを破損しないよう、無理に大きく開けないでください。

・液晶ディスプレイをたたいたり、強く押したりしないでください。

・液晶ディスプレイとキーボードの間に物をはさまないでください。

● **光学式マウスの底面の光を直接見ないでください。**

目が痛んだり、視力障害を起こすおそれがあります。

● **レーザーマウスの底面中央の穴を見つめないでください。**

レーザーマウスのレーザーは目で見て確認することはできませんが、底面中央の穴からレーザーが出ています。
底面中央の穴を見つめると目の痛みなど、視力障害を起こすおそれがあります。
レーザーマウスが正しく動作しているかどうかは、マウスを動かして確認してください。

電源、電源コード、ACアダプタ使用上の警告・注意

■電源、電源コード、ACアダプタ使用上の警告

⚠警告

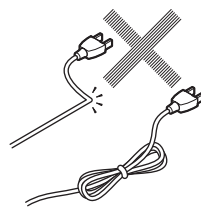
● 電源はAC100V(50/60Hz)を使用してください。

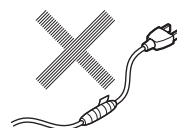
異なる電圧で使用すると、感電、発煙、火災の原因になります。

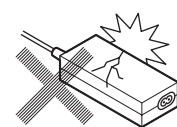
※ACアダプタ自体は、入力電圧AC240Vまでの安全認定を取得していますが、添付の電源コードはAC100V用(日本仕様)です。

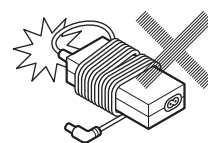
● 電源コード、ACアダプタを取り扱う際は、次の点をお守りください。

- 落下させたり衝撃を与えない
- 折れ曲がった状態や束ねた状態で使用しない
- つけ根部分を無理に曲げない
- 重いものを載せない
- 布などでくるまない
- 屋外で使用しない
- 水などの液体がかかる場所では使用しない

発煙、発火、火災、感電の原因になります。

● 破損した電源コードは使用しないでください。

電源コードが破損した場合に、テープなどで修復して使用しないでください。修復した部分が過熱し、火災や感電の原因になります。

● ACアダプタ本体や接続ケーブルが変形したり、割れたり、傷ついている場合は、使用しないでください。

発煙、発火、火災、感電、やけどの原因になります。

● ACアダプタ本体に電源コードや接続ケーブルを巻き付けないでください。

電源コードや接続ケーブルの芯線が露出したり断線したりして、発煙、発火、火災、感電、やけどの原因になります。

● 電源コード、ACアダプタのプラグにほこりがたまったままの状態で本製品を使用しないでください。

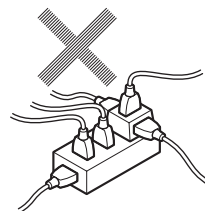
電源コード、ACアダプタのプラグにほこりがたまったまま使用していると、プラグのピンの間で放電(トラッキング現象)が起こり、火災の原因になります。

⚠警告

● 電源コードは、装置添付のものを使用し、そのプラグを、壁や床に設置されている定格100Vのコンセントに直接差し込んでください。また、装置添付の電源コードは他の機器には使用できません。

やむを得ず、お客様の責任で延長コード等をご利用になる場合は、二重絶縁(二重被覆)のものを定格の範囲内で使用し、以下の項目に十分注意するようにしてください。
・落下させたり衝撃を与えない
・折れ曲がった状態で使用しない
・つけ根部分を無理に曲げない
・重いものを載せない
・布などでくるまない
・屋外で使用しない
・水などの液体がかかる場所では使用しない
・破損したコードを使わない
・プラグにほこりがたまったままの状態で使用しない
・奥までしっかり差し込む
・プラグ部をコンセントに正しく挿入する
・コンセントから抜くときは、必ずプラグ部を持って抜く
・ぬれた手で触らない
延長コード等は、使用方法によっては発煙、発火、火災、感電の原因になることがありますので十分ご注意ください。

● タコ足配線にしないでください。

電源コードをタコ足配線にすると、コンセントが過熱し、火災の原因になります。

● アース線がある場合、アース線は、絶対にガス管につながないでください。

火災の原因になります。

**● アース線がある場合、アース線の金属部をコンセントとプラグの間にはさまないでください。
またアース線の金属部をコンセントの差込口に差し込まないでください。**

感電、発火の原因になります。

● 指定のACアダプタを使用し、ACアダプタを分解、改造しないでください。

指定外のACアダプタを使用したり、分解、改造して使用すると、感電、発煙、発火の原因になります。
ACアダプタの型番については、添付のマニュアルをご覧ください。

⚠警告

● **電源コード、ACアダプタ、ウォールマウントプラグ等の接続の際は、次の点をお守りください。**

・差込部は正しい向きで接続する
・電源コードをACアダプタに接続する際は、奥までしっかり差し込む
・ ウォールマウントプラグをACアダプタに接続する際は、奥までしっかり差し込む
・プラグ部をコンセントに正しく挿入する
・コンセントから抜くときは、必ずプラグ部を持って抜く

発煙、発火、火災、感電の原因になります。

● **長期間使用しないときは、電源コードのプラグをコンセントから抜いてください。**

絶縁劣化による漏電火災の原因になります。

● **ACアダプタとパソコンの接続部(DCコネクタ部)については、次の点をお守りください。**

・接続部をこじらない
・運搬、移動時は接続を外す
・接続コードを傷付けない

発煙、発火、やけどのおそれがあります。
また、故障等で過熱している場合もありますので、接続部に触るときは十分ご注意ください。

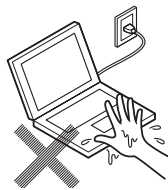
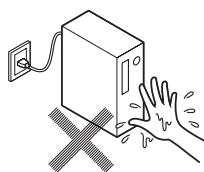
● **電源コード、ACアダプタ、ウォールマウントプラグ等を接続して本体を使用しているときは、ACアダプタにできるだけ接触しないでください。**

やけどの原因になります。
特に、バッテリパックの充電中は、ACアダプタの温度が高くなることがあるので注意してください。

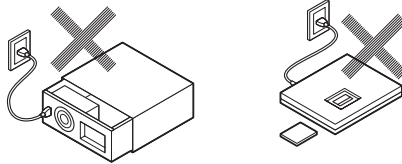
■電源、電源コード、ACアダプタ使用上の注意

⚠注意

● **ぬれた手で触らないでください。**

電源コードのプラグがコンセントに接続されているときにぬれた手で本体やACアダプタに触ると、感電の原因になります。

⚠注意

● **電源コードのプラグがコンセントに接続されているときやバッテリが取り付けられているときは本体やメモリのカバー類を外さないでください。**

感電の原因になります。

● **アース線がある場合、必ずアース線を接続してください。**

アース線を接続しないと、感電の原因になります。

● **アース線がある場合、必ず本体および周辺機器の電源コードのプラグをコンセントに接続する前にアース線を接続してください。また、アース線を取り外すときは、必ず本体および周辺機器の電源コードのプラグをコンセントから抜いてください。**

感電の原因になります。

● **お手入れの前には、必ず本製品や周辺機器の電源を切り、電源コードのプラグをコンセントから抜き、バッテリを取り外してください。**

電源を切らずにお手入れをはじめると、感電の原因になります。

バッテリパック使用上の警告・注意

■バッテリパック使用上の警告

バッテリパックを指定の取り扱い方法、および環境以外で使用した場合には、発熱、発火、破裂する等の可能性があり、人身事故につながる場合があります。十分に注意してください。

⚠警告

● **バッテリパックは指定外の方法で充電しないでください。**

マニュアルに記載されている方法で充電してください。指定外の方法で充電すると、発熱、発火、破裂することがあります。

● **バッテリパックを分解、改造しないでください。**

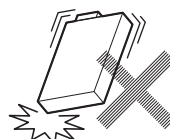
バッテリパックを分解､改造すると､発熱､発火､破裂することがあります。弊社指定外のバッテリパックや､分解､改造したバッテリパック（弊社で修理対応したものを除く）は､安全を確保するためのチェック機能や制御機能が正しく動作しません。

弊社指定外のバッテリパックや、分解、改造したバッテリパックは、品質、性能、安全性について保証の対象外となります。

● **バッテリパックを火中に投下する､火気に近づける､加熱する､または高温状態で放置することはしないでください。**

火中に投下したり､火気に近づけたり､加熱（電子レンジ等を含む）したり､または高温状態で放置すると、発熱、発火、破裂することがあります。

● **バッテリパックを落下させる、ぶつける、先のとがったもので力を加える、強い圧力を加えるといった衝撃を与えないでください。**

本体に装着した状態や単体での落下等の衝撃によるバッテリパック内の電池や回路基板の損傷によって、発熱、発火、破裂することがあります。バッテリパックに衝撃を与えた場合、あるいは外観に明らかな変形や破損が見られる場合には、使用をやめてください。

● **バッテリパックの金属端子をショート（短絡）させたり､水､コーヒー､ジュース等の液体で濡らさないでください。**

発火や漏電による感電の原因になります。

● **バッテリでの駆動時間が短くなった場合には、純正の新しいバッテリパックと交換してください。**

バッテリパックは消耗品です。駆動時間が短くなったバッテリパックでは、内部に使用されている電池の消耗度合いにバラツキが発生している可能性があります。電池の消耗度合いにバラツキがあるバッテリパックをそのまま使用し続けると､障害が発生することがあります。バッテリ駆動時間が短くなった場合※には、弊社指定の新しいバッテリパックと交換してください。詳しくは､NECサポート窓口（121コンタクトセンター）にお問い合わせください。

※：フルに充電しても、仕様の3割以下しか駆動できないバッテリパック。なお、バッテリ駆動時間の詳細は、添付のマニュアルに記載されている「仕様一覧」をご覧ください。

⚠警告

● **使用しているACアダプタが使用しているパソコン用の純正ACアダプタであることを確認してください。**

純正でないACアダプタを使用しているとバッテリパックが発熱、発火、破裂することがあります。必ず純正のACアダプタを使用してください。

● **バッテリパックを保管する場合は、できるだけ湿度の低い冷暗所で保管してください。また、子供の手の届かない場所に保管してください。**

バッテリパックを長期保管するときは、過放電を防止するため、半年に1回の割合で、50%程度の充電をしてください。また、保管のときは、ビニール袋などに入れて端子のショートが起こらないようにし、ダンボールなど電気を通さない箱に、他のバッテリパックと重ならないように入れてください。

■バッテリパック使用上の注意

● **バッテリパックの取り付け／取り外しをおこなう場合には、指をはさまないよう注意してください。**

けがの原因になります。

Ni-MH
または
Li-ion

バッテリパック等の不要になった二次電池は、貴重な資源を守るために廃棄しないでリサイクルにご協力ください。
バッテリパック等の二次電池は、「資源の有効な利用の促進に関する法律（資源有効利用促進法）」により、回収・再資源化が求められています。

二次電池のリサイクルについては、下記のホームページでご確認ください。

http://www.nec.co.jp/eco/ja/business/recycle/battery/

電池使用上の警告・注意

■電池使用上の警告

⚠警告

● **電池は、お子さま、特に乳幼児の手の届かない所へ保管してください。**

電池内部には有害物質が含まれているため誤って飲み込んだり、なめたりすると危険です。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師にご相談ください。

● **電池をショート、加熱、または火の中に入れないでください。**

ショート、加熱、または火の中に入れると、電池が発熱、破裂して、けがや火災の原因になります。万一、内部の液がもれて目に入ったり、液に触れた場合は、水でよく洗い流した後、直ちに医師にご相談ください。

● **必ず指定の電池を使用し、(＋)、(－)を正しく入れてください。**

指定以外の電池を使用したり、電池を正しく入れないと、破裂して、けがや火災の原因になります。また、使い切った電池はすぐに機器から取り出してください。

● **電池に充電したり、直接はんだ付けしないでください。**

充電したり、直接はんだ付けすると、破裂して、けがや火災の原因になります。

■電池使用上の注意

⚠注意

● **電池を分解しないでください。**

有害物質が出て、人体に悪影響を及ぼすことがあります。

● **電池は直射日光・高温・高湿の場所を避けて保管してください。**

液もれの原因になります。また、電池の性能や寿命を低下させることがあります。

● **電池の内部の液がもれたときは、液に触れないでください。**

やけどのおそれがあります。万一液に触れた場合は、水でよく洗い流した後、直ちに医師の診断を受けてください。

● **種類の違う電池、または新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。**

液もれ、破裂などにより、やけど、けがの原因になることがあります。

⚠注意

● **乾電池は、＋極と－極をセロハンテープで絶縁してから、各自治体の指示にしたがって捨ててください。**

絶縁しないで捨てた場合、発煙、発火の原因になります。

● **本製品内部のリチウム電池は、お客様では交換しないでください。なお、なんらかの理由でリチウム電池を捨てる必要がある場合は、＋極と－極をセロハンテープで絶縁してから、各自治体の指示にしたがって捨ててください。**

お客様が交換した場合、故障、発煙や発火の原因になります。絶縁しないで捨てた場合、発煙、発火の原因になります。

無線(ワイヤレス)機能使用上の警告・注意

無線(ワイヤレス)機能を使用される際には、必ず添付マニュアルの各無線機能使用上のご注意もあわせてご覧ください。

■無線(ワイヤレス)機能使用上の警告

⚠警告

● **埋め込み型心臓ペースメーカーを装着されている方は、本製品をペースメーカー装着部から30cm以上離してご使用ください。**

電波により影響を受けるおそれがあります。

● **満員電車の中など、人と人とが近接する状態となる可能性のある場所では、本製品の電源を切るか、無線LAN、Bluetooth、WiMAXなどの無線機能をオフにしてください。**

これは心臓ペースメーカーや補聴器などの医療機器を使用している方と近接する可能性があり、万が一にでもそれらの機器に影響を与えることを防ぐためです。

● **医療機関側が本製品の使用を禁止した区域では、本製品の電源を切るか、無線LAN、Bluetooth、WiMAXなどの無線機能をオフにしてください。**
また、医療機関側が本製品の使用を認めた区域でも、近くで医療機器が使用されている場合には、本製品の電源を切るか、無線LAN、Bluetooth、WiMAXなどの無線機能をオフにしてください。

医療機器に影響を与え、事故の原因になることがあります。詳しい内容については、各医療機関にお問い合わせください。

● **現在各航空会社では、航空機の飛行状態などに応じて、機内での無線機器・電子機器などの使用を禁止しており、本製品もその該当機器となります。機内では本製品の電源を切るか、無線LAN、Bluetooth、WiMAXなどの無線機能をオフにしてください。**

電子機器に影響を与え、事故の原因になることがあります。詳しい内容については、各航空会社にお問い合わせください。

● **本製品の無線機能を使用中に他の機器に電波障害を引き起こした場合、すみやかに無線機能をオフにするか、本製品の使用を中止してください。**

機器に影響を与え、誤動作による事故の原因になるおそれがあります。

■無線(ワイヤレス)機能使用上の注意

⚠注意

● **補聴器を装着されている方は、本製品の使用により、補聴器にノイズなどを引き起こす可能性がありますので、ご使用前にご確認ください。**

聴力に悪い影響を与えることがあります。

周辺機器使用上の警告・注意

■周辺機器使用上の警告

● **周辺機器は、マニュアルに記載の手順にしたがって正しく取り付けてください。**

正しく取り付けられていないと、発煙、発火の原因になります。

■周辺機器使用上の注意

注意

● **周辺機器の取り付け／取り外しをおこなうとき、特に本体内部に手を入れるときは、指をはさんだり、ぶつけたり、切ったりしないように注意してください。**

けがの原因になります。

● **増設RAMボードの取り付け／取り外しをおこなうときは、指をはさんだり、ぶつけたり、切ったりしないように注意してください。**

けがの原因になります。

● **このパソコンの使用直後に本製品のカバーを開けて、周辺機器の取り付けや取り外しをするときは、CPUやCPUの周辺、ヒートシンク（放熱板）に触れないでください。**

CPU、CPUの周辺、ヒートシンク（放熱板）が高温になっていますので、手を触れるとやけどをするおそれがあります。電源を切った後、30分以上たってからおこなうことをおすすめします。

● **このパソコンの増設RAMボードの取り付け／取り外しをするときは、ボード上の部品、金属部には直接手を触れないでください。**

ボード上の部品、金属部が高温になっているため、手を触れるとやけどをするおそれがあります。

● **電話回線ケーブル（モジュラケーブル）の取り外しや接続をおこなうときは、モジュラコンセントの端子部分に触れないでください。**

電話がかかってくると電話回線上に電圧がかかるため、電話回線ケーブルを抜いたときにモジュラコンセントの端子に触れると感電のおそれがあります。

miniB-CASカード使用上の警告・注意

■miniB-CASカード使用上の警告

● **miniB-CASカードは、お子さま、特に乳幼児の手が届かないように、常時受信機に装着して使用してください。**

誤って飲み込むと窒息またはけがのおそれがあります。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師にご相談ください。

健康上の注意

⚠注意

● **ディスプレイを長時間継続して見ないでください。**

ディスプレイなどの画面を長時間継続して見続けると、目が疲れたり、視力が低下することがあります。ディスプレイなどの画面を見続けて、身体の一部に痛みや不快感が生じたときは、すぐに本製品の使用をやめて休息してください。
万一、休息しても痛みや不快感が取れないときは、直ちに医師にご相談ください。

● **キーボードやNXパッド、マウスを長時間継続して使用しないでください。**

キーボードやNXパッド、マウスを長時間継続して使用すると、腕や手首が痛くなることがあります。キーボードやNXパッド、マウスを使用中、身体の一部に痛みや不快感が生じたときは、すぐに本製品の使用をやめて休息してください。
万一、休息しても痛みや不快感が取れないときは、直ちに医師にご相談ください。

● **ヘッドフォンやヘッドフォンマイクを使う場合は、音量を上げすぎないように注意してください。**

大きな音量で長時間使うと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

● **ヘッドフォンやヘッドフォンマイクを装着した状態でプラグの抜き挿し、本製品の電源のオン／オフ、省電力状態／復帰の操作をしないでください。**

聴力に悪い影響を与えることがあります。

製品保護上のご注意

■本製品の取り扱い上の注意

● **次のような場所では、使用／保管しないでください。**

誤動作や故障の原因になることがあります。

ほこりが多い場所／衝撃や振動が加わる場所／不安定な場所／暖房器具の近く／磁気を発するもの（扇風機や大型のスピーカ、温風式こたつなど）の近く／長時間直射日光が当たる場所／落下の可能性がある場所／テレビ、ラジオ、コードレス電話などの近く／熱のこもる場所／水分や湿気の多い場所／薬品や液体の近く／腐食性ガス（オゾンガスなど）が発生する場所／夏の閉めきった自動車内／人通りが多くてぶつかる可能性がある場所

● **次の環境で使用してください。**

デスクトップパソコンの場合、温度10℃～35℃、湿度20％～80％（結露しないこと）

ノートパソコンの場合、温度5℃～35℃、湿度20％～80％（結露しないこと）

● **本製品を使用する際は、次のことに気をつけてください。**

・落としたりぶつけたりしないよう、平らで十分な強度がある場所で使用してください。

・結露した状態で使用しないでください。寒い場所から暖かい場所へ急に持ち込むと、水滴が付着（結露）し、誤動作、故障の原因になることがあります。

・本製品の上にものを載せないでください。また、書類や布などで通風孔（排熱孔）をふさがないでください。

・本製品のほこりなどは定期的に取り除いてください。通風孔（排熱孔）がほこりなどにより目詰まりすると、本体内の空気の流れが悪くなり、本製品の故障や機能低下の原因となることがあります。

・本製品のそばで、飲食や喫煙をしないでください。

・本製品を改造しないでください。当社の保証やサービスの対象外となることがあります。

・先のとがったもので傷付けないでください。特に、指紋センサに傷が付くと、故障や照合精度が落ちる原因になります。

・DVDやCDなどのディスクにデータを記録しているときは、本製品に振動や衝撃を与えないでください。

・静電気に注意してください。本製品は静電気によって故障、破損することがあります。本製品に触れる前にアルミサッシやドアのノブなどの身近な金属に手を触れるなどして身体の静電気を取り除くようにしてください。

● **本製品を移動するときには、必ず電源を切り、電源コード、ACアダプタのプラグをコンセントから抜いてください。**

輸送する場合にはキャリングバッグやご購入時の梱包箱を利用してください。

● **本製品を移動するときには、DVDやCDなどのディスクを取り出してください。**

本製品の故障や、DVDやCDなどのディスクの破損の原因になります。

● **長時間使用しないときは、電源コード、ACアダプタのプラグをコンセントから抜いてください。**

旅行などで長時間お使いにならないときは、安全のため、電源コードのプラグをコンセントから抜いてください。

● **本製品に接続されている周辺機器を取り外すときには、必ず接続ケーブルのプラグ部分を持って抜いてください。また、プラグを抜く際は、無理に引き抜いたりこじったりしないでください。**

ケーブルを引っぱって取り外したり、プラグを無理に引き抜いたりすると、故障の原因になることがあります。

● **ケーブル類は整理してください。**

ケーブルを整理しておかないと、つまずいたり引っかけたりして、本製品の故障の原因になります。

● **本製品の液晶ディスプレイに画面を表示させていると、液晶ディスプレイの周りの一部分があたたかくなることがあります。**

これは、表示用電源の熱によるものであり、故障や異常ではありません。本製品の電源を切ると、表示用電源が切れて温度が下がります。

ノートパソコンの場合は、液晶ディスプレイを閉じると、表示用電源が切れて温度が下がります。

■ハードディスク・SSDの取り扱い上の注意

- **振動する場所や不安定な場所では使用しないでください。**
- **電源を入れたまま本製品を動かさないでください。**
- **本製品のハードディスクまたはSSD動作中は本製品に衝撃や振動を与えないよう、特に注意してください。**

  ハードディスクまたはSSDが動作中に外部から強い衝撃を加えると、データが失われるだけでなく、ハードディスクまたはSSDが故障することがあります。
- **本製品のハードディスクまたはSSDが動作中は、電源を切ったり再起動しないよう、特に注意してください。**

  ハードディスクまたはSSDが動作中に電源を切ったり再起動すると、ハードディスクまたはSSDが故障することがあります。

■データのバックアップについて

● バックアップとは

パソコンに保存されているデータをDVDやCDなどのディスク／フロッピーディスク／外付けハードディスクなどに複製(コピー)することを「バックアップを取る」といいます。
パソコンの故障などの異常が起きてご購入後に作成したデータが消えてしまった場合、そのデータをもとに戻すことはできません。
万一の事態に備えて定期的にデータのバックアップを取り、大切なデータを保護しましょう。

● バックアップを取るタイミング

特に大切なデータは、作成したり更新したりするたびにバックアップを取ることをおすすめします。また、日時や曜日を決めて定期的にバックアップを取るのもよいでしょう。

■お客様が作成されたデータの保存について

お客様が作成されたデータ(画像データ、映像データ、文書データなど)やプログラム、設定内容が記憶装置(ハードディスクなど)に記憶されている場合は、お客様の責任においてバックアップをお取りくださいますようお願いします。お客様が作成されましたデータなどは普段からこまめにバックアップをお取りになることをおすすめします。
本商品の故障や誤動作、あるいはバックアップの取りかたなどにより、記憶装置に記憶された内容が消失したり、バックアップしたデータが使用できない場合がございますが、当社ではその損害の責任を一切負いかねますので、あらかじめご了承ください。

■コンピュータウイルスの予防について

● コンピュータウイルスとは

コンピュータウイルスとは、パソコンの動作に悪影響を与える不正なプログラムのことで、インターネットや電子メールなどを通じて感染する可能性があります。コンピュータウイルスに感染すると、感染したパソコンのプログラムやデータが破壊されるばかりでなく、他のパソコンへの感染元となってしまう可能性もあります。
モデルによってはコンピュータウイルスの予防と駆除をするためのソフトが添付されていますので、定期的なチェックをおこなうことをおすすめします。
また、日々増え続けるウイルスに対応するためには、「ウイルス定義ファイル」の更新が必要です。

■DVD、CD、ブルーレイディスクなどの取り扱い上の注意

●DVDやCD、ブルーレイディスクなどのディスクを取り扱う際は次のことに気をつけてください。

・ データ面(文字などが印刷されていない面)に手を触れないでください。
・ ディスクにラベルを貼ったり、傷を付けたりしないでください。
・ ディスクに文字を書く場合はディスク印刷面(レーベル面)に書いてください。ボールペンや鉛筆などペン先が硬いものは避け、フェルトペンなどペン先が柔らかい油性の筆記用具で手書きをするか、インクジェットプリンタ対応のディスクを使用して、インクジェットプリンタで直接印刷してください。
・ 上に重いものを載せたり、曲げたり、落としたりしないでください。
・ 汚れたDVDやCD、ブルーレイディスクなどのディスクは使わないでください。
・ 汚れたときは、やわらかい布で内側から外側に向けてふいてください。
・ 清掃の際はCD専用のスプレーをお使いください。
・ ベンジン、シンナーなどでふかないようにしてください。
・ ゴミやほこりの多い場所での使用は避けてください。
・ 使わないときは収納箱に入れて保管してください。
・ 直射日光の当たる場所や、温度の高い場所に保管しないでください。

■フロッピーディスク取り扱い上の注意

●フロッピーディスクを取り扱う際は次のことに気をつけてください。

・ フロッピーディスクを磁石に近づけないでください。フロッピーディスクが磁気の影響を受け、保存されている大切なデータやソフトウェアが使えなくなることがあります。磁石はテレビやスピーカにも使われています。これらの上にフロッピーディスクを置いたりしないようにしてください。
・ シャッターを開けて、中のディスクに触れないでください。
・ 汚れたフロッピーディスクは使わないでください。
・ フロッピーディスクにラベルを貼り付けた状態でラベルに鉛筆で記入したり、消しゴムを使ったりしないでください。
・ 上に重いものを載せたり、曲げたりしないでください。
・ ラベルは正しい位置に貼ってください。
・ 飲食、喫煙しながら使わないでください。
・ 溶剤類、飲み物などを近づけないでください。
・ クリップなどではさんだり、投げたり、落としたりしないでください。
・ ゴミやほこりが多い場所での使用は避けてください。
・ 使わないときは収納箱に入れて保管してください。
・ 直射日光の当たる場所、暖房器具の近くなど温度が高くなる所、ゴミやほこりが多い所に置かないでください。

■メモリーカード取り扱い上の注意

●メモリーカードを取り扱う際は、次のことに気をつけてください。

使用について

- メモリーカードに添付の取扱説明書をよく読んでから使用してください。
- 静電気による故障を防ぐため、静電気を放電してからメモリーカードを取り扱ってください。
- 小型のメモリーカードなど、アダプタが必要なカードは、必ずアダプタを装着してください。
- メモリーカードは、方向を確かめて取り付けてください。
- メモリーカードスロットには、対応以外のメモリーカードを挿入しないでください。
- メモリーカードの読み込み／書き込み中は、本体や周辺機器のメモリーカードスロットからメモリーカードを取り出さないでください。
- メモリーカードやメモリーカードスロットの金属端子部分を触らないでください。
- 裏面に通電性(電気を通す性質)がある金属が使用されているSDメモリーカード、SDHCメモリーカードやSDXCメモリーカード、マルチメディアカードや変換アダプタは使用しないでください。
- 汚れたメモリーカードは、汚れをとってから本体や周辺機器のメモリーカードスロットに取り付けてください。

取り扱いについて

- 分解しないでください。
- 上に重いものを載せたり、曲げたりしないでください。
- 溶剤類、飲み物などを近づけないでください。
- クリップなどではさんだり、投げたり、落としたりしないでください。
- ゴミやほこりが多い場所での使用は避けてください。

保管について

- 使わないときは収納箱に入れて保管してください。
- メモリーカードやアダプタ、メモリーカードスロットにセットされていたダミーカードなどは、お子さま、特に乳幼児の手の届かない安全な所に保管し、誤って飲み込んだりすることがないようにしてください。
- 直射日光の当たる場所、暖房器具の近くなど温度が高くなる所、ゴミやほこりが多い所に置かないでください。
- 長期間使用しないときは、メモリーカードやアダプタを、メモリーカードスロットに取り付けたままにしないでください。
- メモリーカードには、添付の指定ラベル以外を貼らないでください。
- メモリーカードには、指定の貼付箇所以外にラベルを貼らないでください。
- 大切なデータはハードディスクなどにコピーして、バックアップを取ってください。

■バッテリパック取り扱い上の注意

● **バッテリパックは消耗品です。**
駆動時間が短くなったバッテリパックでは、内部に使用されている電池の消耗度合いにバラツキが発生している可能性があります。電池の消耗度合いにバラツキがあるバッテリパックをそのまま使用し続けると、発熱、発火、破裂する等の可能性があります。バッテリ駆動時間が短くなった場合※には、弊社指定の新しいバッテリパックと交換してください。詳しくは、NECサポート窓口(121コンタクトセンター)にお問い合わせください。

● **バッテリ性能の診断を定期的に実施してください。**
バッテリパックの消耗度合いを確認するために定期的に「バッテリ・リフレッシュ&診断ツール」を実行してください(3カ月に1回が目安)。

● **ACアダプタを使用している場合でも、バッテリパックは徐々に劣化します。**
ACアダプタを使用している場合でも、長時間、ACアダプタをつないだ状態にしていると、バッテリパックの劣化を早めてしまいます。本体を使用していないときで、バッテリを充電していないときには、ACアダプタを外してください。

● **バッテリ関連Q&A 集もご覧ください。**
バッテリについてはJEITA(社団法人 電子情報技術産業協会)の「バッテリ関連Q&A 集」もあわせてご覧ください。
http://it.jeita.or.jp/perinfo/committee/pc/battery/menu1.htm

※:フルに充電しても、仕様の3割以下しか駆動できないバッテリパック。なお、バッテリ駆動時間の詳細は、添付のマニュアルに記載されている「仕様一覧」をご覧ください。

■本製品の故障や機能低下を防ぐための注意

● **本製品のお手入れ**
故障や機能低下を防ぐため、本製品はこまめにお手入れしてください。なお、本製品の具体的なお手入れ方法については、添付のマニュアルをご覧ください。

● **レンズのお手入れ**
DVD/CDドライブ(ブルーレイディスクドライブ含む)のレンズを清掃する際、市販のクリーニングディスクやレンズクリーナーは絶対に使用しないでください。逆にゴミを集めてしまい、DVD/CDドライブ(ブルーレイディスクドライブ含む)のレンズが汚れてしまうなど、故障や機能低下の原因になります。

● **通風孔(排熱孔)のお手入れ**
通風孔(排熱孔)にたまったほこりなどは定期的に取り除いてください。通風孔(排熱孔)がほこりなどにより目詰まりすると、本体内の空気の流れが悪くなり、本製品の故障や機能低下の原因となることがあります。

● **キーボードのお手入れ**
キーボードの清掃には、掃除機を使用しないでください。キートップが外れるおそれがあります。キーのすきまにゴミなどが入ったときは、精密機器専用のエアダスターなどで取り除いてください。
キートップを故意に取り外すこともやめてください。キートップをもとに戻せなくなったり、キートップやキーボードが破損し、本製品の故障や機能低下の原因となることがあります。

健康のために

パソコンを使った作業では、長時間同じ姿勢になりやすいため、他の一般事務作業にくらべて次のような症状が起こりやすいと言われています。

・眼が疲れたり、重く感じる
・ものがぼやけてみえる
・疲れやすい
・頚(くび)から肩、手の指にかけて、しびれたり全体的に痛みを感じたりする

このような症状の感じかたは、作業時間や使用状況などにより個人差が大きいと言われています。次のことを心がけるようにしましょう。

・1時間の作業につき10〜15分の休息時間をとる
・休憩時には、軽い体操をするなど、気分転換をはかる

万一、疲労が翌日まで残るような場合は、早めに医師に相談してください。

■良い作業姿勢をとりましょう

パソコンを使用する際の良い姿勢は、余分な力が入らない、リラックスできる姿勢と言われています。

・背もたれに背中が支えられるよう背すじを伸ばして椅子に座る
・両手を床とほぼ平行にキーボードに置く
・画面を目の高さより低くし、視線がやや下向きになるようにする

■機器をこまめに調節しましょう

機器の調節ができる場合は、使いやすい状態にこまめに調節してください。

● 液晶ディスプレイの角度調節

本製品の液晶ディスプレイは、角度調節ができるようになっています(一部のディスプレイは除く)。まぶしい光が画面に映り込むのを防いだり、表示内容を見やすくするために、液晶ディスプレイの角度を調節することは大変重要です。
角度調節について詳しくは、本製品やディスプレイに添付のマニュアルをご覧ください。

● 画面の輝度(明るさ)調節・コントラスト(濃淡)調節

個人差、周囲の明るさなどによって、画面の最適な輝度・コントラストは異なります。そのため、画面の輝度・コントラストは、状況に応じて見やすいようにこまめに調節することが必要です。
詳しくは、添付のマニュアルをご覧ください。

● 画面の清掃

ディスプレイの画面は、ほこりなどで汚れると表示内容が見にくくなる原因になりますので、定期的に清掃する必要があります。

● キーボードの角度調節

機種によっては、キーボードの角度調節ができるようになっています。好みによって、入力しやすいようにキーボードの角度を変えることは、肩や腕への負担を軽減するのに大変有効です。
キーボードの角度調節をするときには、足を必ず両方とも立てて使用してください。
なお、足の位置については、添付のマニュアルをご覧ください。

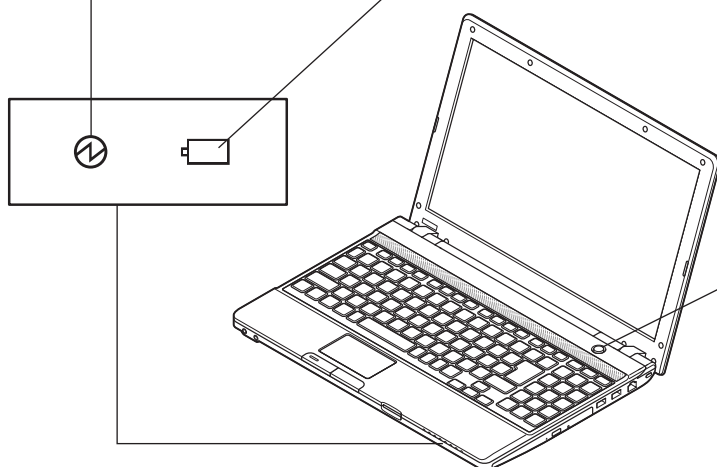
PART

1

このパソコンについて

『セットアップマニュアル』を使ってセットアップが終わったら、いよいよ本格的にパソコンを使い始めます。

よく使うボタンなど

このパソコンの添付品の確認、接続、およびセットアップについては、『セットアップマニュアル』をご覧ください。
ここでは、このパソコンの電源スイッチなどについて紹介します。

このほかに、【Fn】+【1】や【Fn】+【2】、【Fn】+【F4】を押すだけでソフトや機能を起動することができます。このキーの組み合わせを「ワンタッチスタートボタン」と呼びます。ご購入時の設定では、次のキー操作にWebブラウザを閲覧するソフトと電子メールのソフトが割り当てられています。

- 【Fn】+【1】…Windows Live メールが起動します。Office 2010モデルの場合、はじめて【Fn】+【1】を押したときに選択した電子メールソフトが起動します。
- 【Fn】+【2】…Internet Explorerが起動します。
- 【Fn】+【F4】…電源プランを変更します。

参照

パソコン各部の説明について
→「各部の名称と役割」
▶「ソフト&サポートナビゲーター」
▶検索番号 93010010 で検索

チェック!!

- Office 2010モデルでは、はじめて【Fn】+【1】を押したときには、登録できるメールソフト(「Microsoft Office Outlook」、「Windows Live メール」)を選択する画面が表示されます。お使いになるメールソフトを選択すると、【Fn】+【1】に割り当てられます。
- 【Fn】+【1】あるいは【Fn】+【2】を押すときは、キーボード上部の数字キー【1】、【2】を使用してください。キーボード右側の数字キー(テンキー)では、ソフトは起動できません。

ソフトを起動する

ここでは、ソフトを起動するときなどに便利な機能を紹介しています。

このパソコンには、目的に合ったソフトを探して、起動することができる「ソフト＆サポートナビゲーター」や登録しているソフトやファイル、インターネット上のサービスなどを簡単に利用することができる「おすすめメニューNavi」が用意されています。

ソフト＆サポートナビゲーターについて

「ソフト＆サポートナビゲーター」を使うと、このパソコンのハードディスクにあらかじめ登録されているソフトを探して起動することができます。「ソフト＆サポートナビゲーター」に登録されているソフト名の下に「未インストール」と表示されている場合は、「ソフトを起動」をクリックし、インストールしてから起動することもできます。

「ソフト＆サポートナビゲーター」は、タスクバーの アイコンをクリックして起動してください。
ソフトを起動したいときは、「ソフトを探す」をクリックし、目的や名前から起動したいソフトを探してください。

目的や名前から起動したいソフトが探せます。

メモ

「ソフト＆サポートナビゲーター」の機能や操作方法などの詳細は、「本ソフトについて」をクリックして確認することができます。

おすすめメニューNaviについて

「おすすめメニューNavi」を使うと、インターネットで知りたい情報を検索したり、よく使うソフトをすぐに使えるように登録することができます。ソフトを登録するだけでなく、お好みの情報をいつでも表示しておくこともできます。

「おすすめメニューNavi」が画面に表示されていないときは、タスクバーのアイコンをクリックして表示してください。

設定パレット
「おすすめメニューNavi」全体や各パレットの表示のしかた、動作などを、お好みに応じて設定することができます。

検索パレット
このパソコンやインターネットから知りたい情報を検索することができます。アイコンをクリックするだけで簡単に検索対象を切り換えることができます。

起動パレット
ソフトやファイル、インターネット上のサービスなどをクリックするだけで、簡単に使いはじめることができます。よく利用するショートカットなどを登録して使うこともできます。

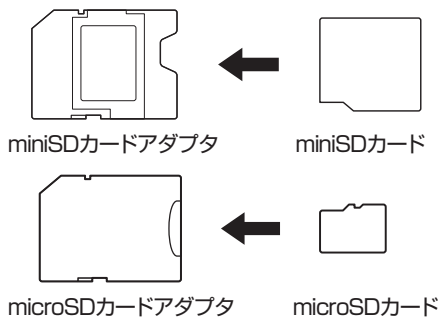
情報パレット
写真のスライドショー、天気予報やニュースなどのインターネット上の情報などを表示させることができます。「おすすめメニューNavi」に登録されているソフトやインターネットサービスの説明も表示されます。

メモ

「おすすめメニューNavi」の機能や操作方法などの詳細は、「おすすめメニューNavi」のヘルプをご覧ください。

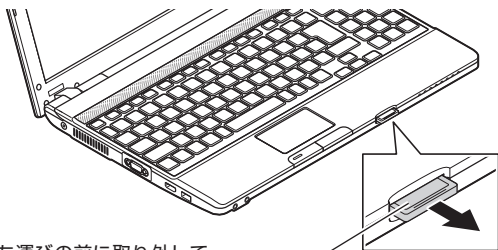
SDメモリーカードの扱い方

このパソコンで使えるSDメモリーカードの種類や取り扱い上の注意、SDメモリーカードのセットのしかたを説明します。

このパソコンでは「SDメモリーカード」、「SDHCメモリーカード」、および「SDXCメモリーカード」を使うことができます。「miniSDカード」、「microSDカード」も市販のアダプタを利用することで使用できます。
miniSDカード、microSDカードは必ず市販のアダプタにセットしてから、スロットに差し込んでください。

チェック!!
- 必ずアダプタにセットしてから使用してください。市販のアダプタを使用せずそのままSDメモリーカードスロットに差し込むとSDメモリーカードが取り出せなくなります。
- 各メモリーカードの説明書もあわせてご覧になり、注意事項を確認してから使用してください。

SDメモリーカードの取り扱い上の注意

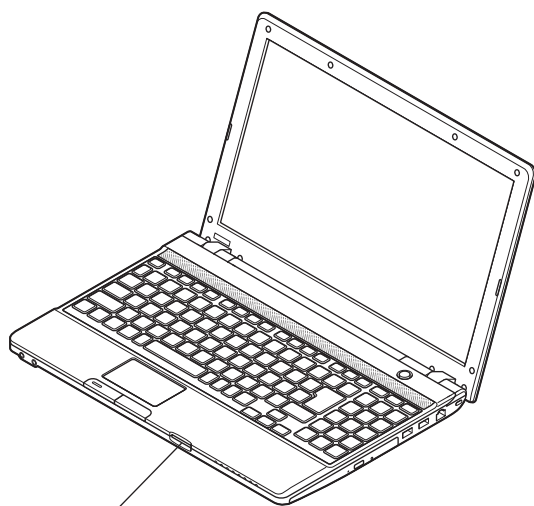
- Windows上でSDメモリーカードのフォーマットやディスクデフラグをおこなわないでください。
- SDメモリーカードにデータを保存中または読み込み中に周辺機器を接続しないでください。また、データの保存中はスリープ状態や休止状態にしないでください。SDメモリーカード内のデータが破損したり誤動作の原因になります。
- SDメモリーカードやアダプタの形状、注意事項など、詳しくは「SDメモリーカードスロット」(「ソフト&サポートナビゲーター」▶検索番号 93020090 で検索)をご覧ください。
- すべてのSDメモリーカードの動作を保証するものではありません。SDメモリーカードの説明書をよく読んでから使用してください。
- 大切なデータはハードディスクなどにコピーして、バックアップを取っておくことをおすすめします。
- SDメモリーカードを読み込めない場合は、SDメモリーカード内のファイルに対応するソフトがパソコンにあるかを確認してください。携帯電話の機種やダウンロードサービスの種類によっては、専用のソフトをパソコンにインストールする必要があります。

・ 携帯電話からSDメモリーカードにダウンロードした音楽データなどは、エクスプローラなどからパソコンにコピーしても利用できないことがあります。携帯電話の機種によって異なりますので、詳しくは携帯電話の説明書をご覧ください。
・ 誤った操作による故障やメディアの取り出しは有償となりますのでご注意ください。
・ パソコンを持ち運びする際は、必ずSDメモリーカードを取り外してください。SDメモリーカードやスロットが破損することがあります。

・ その他の注意事項については「安全にお使いいただくために」の「■メモリーカード取り扱い上の注意」(p.29)をご覧ください。

SDメモリーカードの取り付け方と取り外し方

●SDメモリーカードを取り付ける方法

1 SDメモリーカードの向きに注意して、SDメモリーカードスロットに奥までしっかり差し込む

表面を上にして差し込んでください。

チェック!!

・「miniSDカード」、「microSDカード」を使う場合は、アダプタに差し込んでおいてください。アダプタの装着方法について詳しくは、SDメモリーカードまたはアダプタの説明書をご覧ください。
・ SDメモリーカードには表面と裏面があり、スロットへ差し込む方向が決まっています。間違った向きで無理に差し込むと、カードやスロットが破損することがあります。詳しくは、SDメモリーカードの説明書をご覧ください。
・ SDメモリーカードやアダプタの形状、注意事項など、詳しくは、「SDメモリーカードスロット」(「ソフト&サポートナビゲーター」▶検索番号 93020090 で検索)をご覧ください。

●SDメモリーカードを取り外す方法

1 **画面右下の通知領域にある をクリックして表示される または をクリックすると表示される「××××の取り出し」で、取り外す機器名をクリックする**

「安全に取り外すことができます」というメッセージが表示されたら取り外してください。

2 **SDメモリーカードを軽く押す**

SDメモリーカードが少し出てきます。

3 **SDメモリーカードを水平に引き抜く**

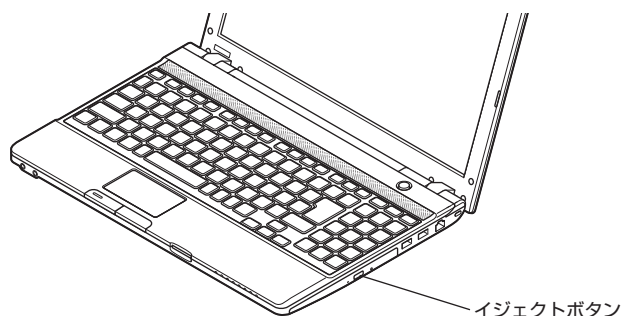
チェック!!

- SDメモリーカードスロットアクセスランプ( )点灯中は、SDメモリーカードスロットに差し込まれているSDメモリーカードを絶対に取り外さないでください。ドライブの故障やデータの不具合の原因になります。
- miniSDカード、microSDカードなどのアダプタを使用して差し込んでいる場合、スロット内にアダプタを残したままにしないようにご注意ください。

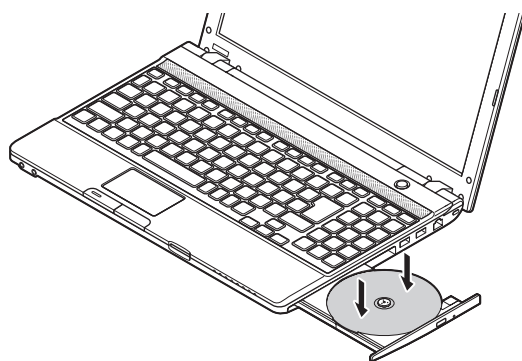
ディスク(DVD/CD など)

ディスクのセットと取り出しのしかたを説明します。

ディスクをセットする

1 イジェクトボタンを押し、ディスクトレイを出す

ディスクトレイが少し飛び出します。

2 ディスクトレイを手で引き出す

3 ディスクのデータ面(表裏にご注意ください)を下にしてディスクトレイの中央に置き、ディスクを軸にしっかりはめ込む

4 ディスクトレイ前面を押して、ディスクトレイをもとの位置に戻す

チェック!!

- CDやDVDなどの取り扱い上の注意については、「安全にお使いいただくために」を参照し、あらかじめ確認してください。また、すべてのCDやDVDの動作を保証することはできません。
- ディスクトレイは、パソコンの電源が入っているときのみ出すことができます。
- DVD/CDドライブ内のレンズには触れないでください。

チェック!!

- 8cmと12cmのディスクが利用できます。
- 星型や名刺型などの円形ではない異形ディスクや、規格外に容量の大きな書き込みディスクなどは利用できません。

参照

使用できるディスクやデータ形式について

▶「ソフト&サポートナビゲーター」-「機能を知る」-「DVD/CDドライブ」-「使用できるディスク」

ディスクを取り出す

1 イジェクトボタンを押す

ディスクトレイが少し飛び出します。

2 ディスクトレイを手で引き出す

3 ディスクを取り出す

4 ディスクトレイ前面を押して、ディスクトレイをもとの位置に戻す

ディスクが取り出せなくなったときは

この方法でディスクを取り出す前に、PART4の「その他」-「DVD/CDドライブからディスクを取り出せなくなった」をご覧になり、ディスクが取り出せないか試してください。

パソコンの電源が入っているにもかかわらずディスクトレイが出てこなくなった場合は、次の操作でディスクを取り出してください。

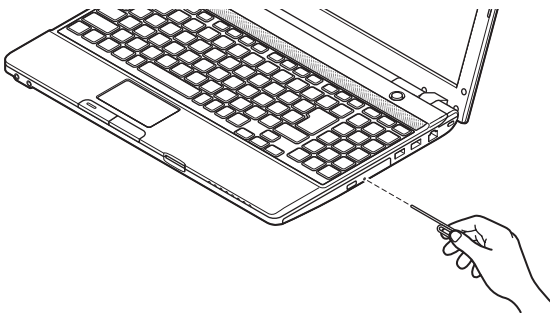
注意

ペーパークリップを使うときは、ペーパークリップのとがった部分で指を切ったりしないように、注意して作業してください。

1 パソコンの電源を切る

2 太さが1.3mm程度、まっすぐな部分の長さが45mm程度(指でつまむ部分を除く)の針金を用意する

大きめのペーパークリップを伸ばして作ることができます。

3 非常時ディスク取り出し穴に、手順2で作った針金を差し込み、押し込む

ディスクトレイが少し飛び出します。

4 ディスクトレイを引き出し、ディスクを取り出す

メモ

パソコンの電源が入っていないと、DVD/CDドライブのイジェクトボタンを押してもディスクは出てきません。

インターネットに接続するには

このパソコンでインターネットを利用するために必要な準備を説明します。

インターネットを楽しむための準備

このパソコンでインターネットを楽しむには、次の準備が必要です。

●インターネット回線

FTTH、ADSLなどのインターネット回線が必要です。

●プロバイダとの契約

特にプロバイダを決めていない場合、BIGLOBEに入会することをおすすめします。
インターネット接続の方法によって、接続、設定方法が異なります。
このマニュアルでは、FTTHの回線を使い、ワイヤレスLANでインターネット接続する場合を例に説明しています。有線LANでインターネットに接続する場合は、「LANについて」(「ソフト＆サポートナビゲーター」▶検索番号 93100010 で検索)をご覧ください。

チェック!!
このパソコンでは、ダイヤルアップ接続でインターネットに接続することはできません。
現在、ダイヤルアップ接続でインターネットに接続している場合、契約の変更などが必要になります。

接続設定の進め方

はじめてインターネットに接続するかたや、これまでダイヤルアップ接続を利用されていたかたは、この後の説明をご覧ください。

すでにインターネットへの接続環境をお持ちのかたは「ワイヤレスLANを利用したブロードバンド接続をする」(p.44)へ進んでください。

チェック!!
ワイヤレスTVデジタル添付モデルの場合、ワイヤレスTVデジタルの初期設定を先におこなう必要があります。ワイヤレスTVデジタルの初期設定の方法や、ワイヤレスTVデジタルを使ってインターネットに接続する方法について詳しくは『テレビを楽しむ本』のPART1〜3をご覧ください。ワイヤレスTVデジタルの設定とインターネットの設定が終了したら、このマニュアルの「メールソフトを設定する」(p.49)に戻り、設定を続けてください。

設定に必要なもの

ワイヤレスLANの設定には、次のものが必要です。

●回線事業者やプロバイダから入手した資料

プロバイダの会員証など、ユーザー名やパスワードがわかる資料を用意してください。また、プロバイダから入手した接続設定用説明書やCD-ROMなどがある場合、その説明書やCD-ROMにしたがって設定をおこなってください。

●回線終端装置

●ワイヤレスLANアクセスポイントまたはワイヤレスLANルータ

このパソコンでは、IEEE802.11a(5GHz)、IEEE802.11b/g、IEEE802.11n(2.4GHz)、およびIEEE802.11n(5GHz)に対応しています。

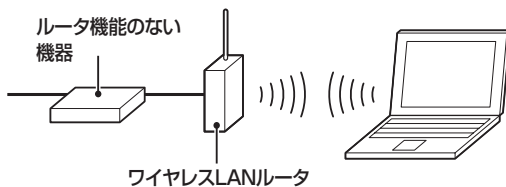
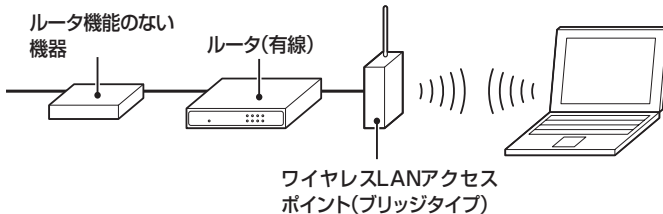
このマニュアルでは、ルータが接続されている例を使って説明します。

チェック!!

- お使いの機器やプロバイダにより設定は大きく異なります。お使いの機器に添付されている説明書、プロバイダから入手した説明書、メーカやプロバイダのホームページなどで設定を確認してください。
- 機器を購入するときは、回線終端装置やワイヤレスLANの種類を見て接続できるかどうか確認してください。

機器を接続する

回線終端装置とネットワーク機器を次のように接続してください。

回線終端装置の場合

回線終端装置とルータを有線で接続する場合

接続が終わったらパソコンの設定を変更します。

チェック!!

- 詳しい接続方法については、機器に添付されている説明書、プロバイダから入手した説明書などをご覧ください。
- プロバイダから送られてくる接続機器にルータ機能が内蔵されている場合、ルータの設定が不要な場合があります。詳しくはプロバイダから入手した説明書などを確認してください。

ルータの設定をする

はじめてインターネットに接続する場合は、ルータにプロバイダから送られてきた接続情報が設定、登録されていないと、インターネットに接続できません。詳しくは、機器に添付されている説明書、プロバイダから入手した説明書などをご覧になり設定してください。

ワイヤレスLANを利用したブロードバンド接続をする

ワイヤレスLANの接続と設定をおこないます。

プロバイダとの契約やネットワーク機器との接続が完了したら、パソコンの設定を変更してインターネットに接続します。
ここでは、ワイヤレスLANでインターネットに接続する場合を例に説明します。有線LANでインターネットに接続する場合は、「LANについて」（「ソフト＆サポートナビゲーター」▶検索番号 93100010 で検索）をご覧ください。

チェック!!
- CATV(ケーブルテレビ)接続を利用されていたかたは、ご契約のケーブルテレビ局にパソコンを買い替えたときの設定方法についてお問い合わせください。
- 機器を購入するときは、回線終端装置やワイヤレスLANの種類を見て接続できるかどうか確認してください。

アクセスポイントの情報を確認する

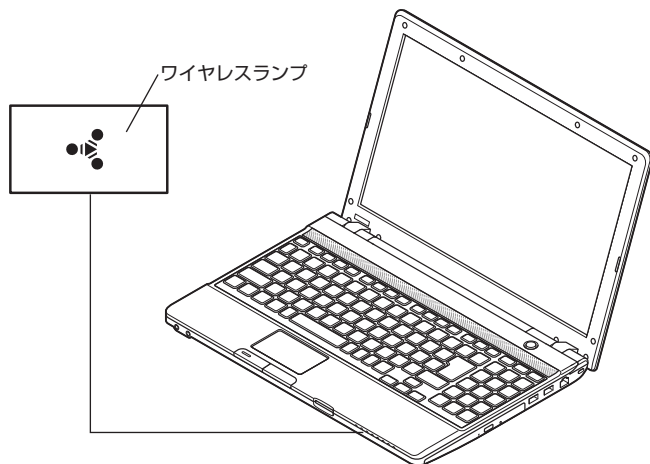
パソコンの設定では、接続するワイヤレスLANアクセスポイントのネットワーク名(SSID)、WEPキー(セキュリティキーまたはパスフレーズ)が必要になります。設定を確認して次の欄に設定を控えてください。

ネットワーク名(SSID)

WEPキー(セキュリティキーまたはパスフレーズ)

チェック!!
ワイヤレスTVデジタル添付モデルで、ワイヤレスTVデジタルを使ってインターネットに接続する方法について詳しくは『テレビを楽しむ本』をご覧ください。

ワイヤレスLAN機能を確認する

キーボードの【Fn】を押しながら【F2】を押す(【Fn】+【F2】)と、ワイヤレスLAN機能のオン/オフを切り換えることができます。

・ご購入時の状態では、ワイヤレスLAN機能はオンになっています。
・ワイヤレスLAN機能がオンのときは、ワイヤレスランプが点灯します。
・キーボードの【Fn】を押しながら【F2】を押すと、ワイヤレスLAN機能がオフになり、ワイヤレスランプが消灯します。

ワイヤレスLAN機能がオフになっていると接続できません。

IEEE802.11nで接続する場合の注意

IEEE802.11n規格によるワイヤレス通信をおこなう場合、ご購入時の設定では、2.4GHz帯の接続は20MHz幅で接続されます。40MHz幅で接続する場合は、次の手順で設定をおこなってください。

1 「スタート」-「コントロール パネル」をクリック

2 「システムとセキュリティ」をクリック

3 「デバイス マネージャー」をクリック

「デバイス マネージャー」が表示されます。

4 「ネットワーク アダプター」の左にある ▷ をクリック

5 「Broadcom 802.11nネットワーク アダプタ」、または「Intel(R) Centrino(R) Advanced-N 6150V AGN」を右クリック

6 「プロパティ」をクリック

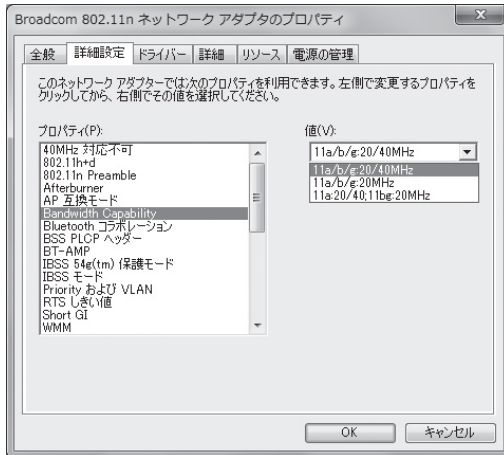
「Broadcom 802.11nネットワーク アダプタのプロパティ」、または「Intel(R) Centrino(R) Advanced-N 6150V AGNのプロパティ」が表示されます。

7 「詳細設定」タブをクリック

チェック!!

・40MHzは、接続するワイヤレスLAN機器のメーカーにより「デュアルチャネル」「倍速モード」「ダブルチャンネル」「ワイドバンド」などと呼ばれている場合があります。
・ワイヤレスTVデジタル接続時は、20MHzで動作します。

8 「プロパティ」欄の一覧から「Bandwidth Capability」、または「バンド 2.4用 802.11n チャネル幅」を選択する

9 「値」欄の右側にある ▼ をクリックして「11a/b/g:20/40MHz」、または「自動」を選択する

10 「OK」をクリック

11 画面上の × をクリック

12 画面上の × をクリック

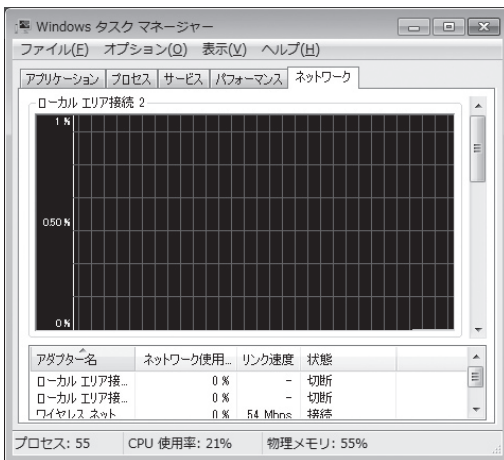
●40MHzでの接続が有効となっているかを確認する

1 **ツールバーを右クリックし、表示されるメニューから「タスク マネージャーの起動」をクリック**

「Windows タスク マネージャー」が表示されます。

2 **「ネットワーク」タブをクリック**

「ワイヤレス ネットワーク接続」の「リンク速度」の数値が、次の値に対応しているか、確認してください。

40MHz時	270/243/216/162/108/81/54/27 (Mbpsモード)
40MHz、Short GI有効時	300/270/240/180/120/90/60/30 (Mbpsモード)

チェック!!

- 40MHzで接続されない場合は、接続先のワイヤレスLAN機器の設定を確認してください。またご利用環境によって、40MHzに設定していても20MHzに制限される場合があります。
- ワイヤレスTVデジタル添付モデルでは、ワイヤレスTVデジタルを接続して使用している場合は、20MHzで動作します。

パソコンの設定をする

ルータとの接続を設定するためにパソコンの設定を変更してください。

1 **ワイヤレスランプが点灯していることを確認する**

点灯していない場合は、【Fn】+【F2】を押し、ワイヤレス機能を有効にしてください。

2 **「スタート」-「コントロール パネル」をクリック**

コントロールパネルが表示されます。

3 **「ネットワークとインターネット」をクリック**

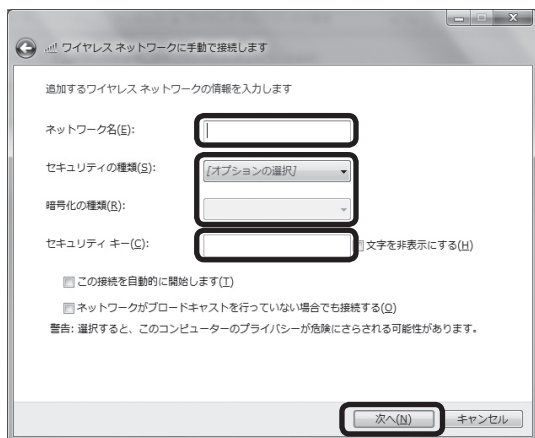
4 **「ネットワークと共有センター」をクリック**

「ネットワークと共有センター」が表示されます。

5 **「ワイヤレスネットワークの管理」をクリック**

6 **「追加」をクリック**

7 **「ネットワークプロファイルを手動で作成します」をクリック**

8 **確認したアクセスポイントの情報を使って、接続するネットワークの情報を入力して「次へ」をクリック**

9 **「閉じる」をクリック**

ワイヤレスLANが接続され、デスクトップ画面右下の通知領域にが表示されます。

「ネットワークの場所の設定」の画面が表示された場合は、画面の説明を読んで設定してください。

これでインターネットに接続するための設定は終わりです。
タスクバーの(Internet Explorer)アイコンをクリックし、接続を試してください。

チェック!!

Windows 7では、ここで説明する方法以外にもワイヤレスLANアクセスポイントを自動でスキャンしてから接続する方法にも対応しています。

参照

ワイヤレスLANアクセスポイントをスキャンして接続する場合について

→「ワイヤレスLANの設定」
▶「ソフト&サポートナビゲーター」
▶検索番号 93100140 で検索

チェック!!

ワイヤレスLANはセキュリティの対策をしっかりしないと外部からネットワークに入られて無断で利用され、情報を読まれてしまう危険があります。ワイヤレスLANを使うときは暗号化など、セキュリティをしっかり設定してください。

参照

ワイヤレスLANのセキュリティについて

→「ワイヤレスLANのセキュリティに関するご注意」
▶「ソフト&サポートナビゲーター」
▶検索番号 93100120 で検索

メールソフトを設定する

このパソコンには、メールをやりとりするためのソフトが用意されています。

電子メールの設定のしかたについては、「ソフト＆サポートナビゲーター」をご覧ください。

・ Outlook 2010（Office 2010モデルのみ）を設定するには
→「Outlook 2010の設定」
▶「ソフト＆サポートナビゲーター」▶検索番号 91065010 で検索

・ Windows Live メールを設定するには
→「Windows Live メールの設定」
▶「ソフト＆サポートナビゲーター」▶検索番号 91065020 で検索

・ メールの設定がうまくいかないときやほかのパソコンからメールのデータを移行したいときは
→「メール接続」
▶「ソフト＆サポートナビゲーター」▶検索番号 92060040 で検索
→「メール操作・設定」
▶「ソフト＆サポートナビゲーター」▶検索番号 92060050 で検索

・ メールのセットアップ、インストールについての不明点はマイクロソフト株式会社にお問い合わせください。
お問い合わせ先については
▶「ソフトのサポート窓口一覧」▶検索番号 92145010 で検索

パソコンを安全に使うための設定をおこなう

コンピュータウイルスなどからパソコンを守るためには、定期的な対策が必要です。

ウイルス対策をする

このパソコンにはウイルス対策ソフト「ウイルスバスター」がインストールされています。
「ウイルスバスター」でウイルス対策を始めるための手順について詳しくは、「ソフト&サポートナビゲーター」をご覧ください。

このパソコンの「ウイルスバスター」は、パソコンの使用を始めてから3日間、ユーザー登録をしていなくても試用できます。ユーザー登録をすると、さらに90日間、無料で試用することもできます。無料期間を過ぎると、すべての機能が利用できなくなり、セキュリティ対策をおこなうことができません。無料期間終了後も継続して利用するには、ダウンロード販売またはパッケージなどの製品版を購入し、シリアル番号を入力する必要があります。

参照
ウイルスバスターの登録のしかたや、アップデートの方法について
→「ウイルス対策ソフトを使い始める」
▶「ソフト&サポートナビゲーター」
▶検索番号 91040020 で検索

その他のセキュリティ対策について

「ウイルスバスター」のほかに、パソコンを保護するために、次のようなセキュリティ対策があります。

Windows Updateをする

このパソコンのWindowsの状態などをチェックし、更新プログラムを無料配布するMicrosoftのサポート機能です。ご購入時の状態では、Windowsの更新プログラムの自動更新機能が有効に設定されています。インターネット経由でWindowsを最新の状態にし、ウイルスや不正アクセスに備えることができます。

参照
Windowsの自動更新について
→「Windowsの更新」
▶「ソフト&サポートナビゲーター」
▶検索番号 91060010 で検索

ファイアウォール機能を使う

ファイアウォール機能とは、外部(インターネット)からの不正侵入を防ぎ、情報の流出を防ぐ機能のことです。このパソコンでは「Windowsファイアウォール」に加え「ウイルスバスター」のファイアウォールチューナー機能を追加で使うことができます。セットアップ後には「Windowsファイアウォール」のみが有効になっています。

参照
ファイアウォールについて
→「不正アクセスの防止」
▶「ソフト&サポートナビゲーター」
▶検索番号 91050010 で検索

「ソフト&サポートナビゲーター」ではこのほかに、ワイヤレスLANの通信の暗号化やお子様を有害ホームページから守るための方法など、さまざまなセキュリティ対策について説明しています。ご使用の状況に合わせてご覧ください。

参照
セキュリティ対策について
→「安全に使うためのポイント(セキュリティ対策)」
▶「ソフト&サポートナビゲーター」
▶検索番号 91030010 で検索

大切なデータの控えを取っておく（バックアップの種類と方法）

トラブルが起きたときに備えて、大切なデータは控えを取っておきましょう。

ハードディスクの故障やウイルスの感染など、パソコンに大きなトラブルが起こると、保存していたデータが壊れたり消えてしまったりすることがあります。
もしものときに備えて、データの控えを残しておきましょう。このデータの控えのことを「バックアップ」と呼び、バックアップを作成することを「バックアップする」、「バックアップを取る」といいます。

チェック!!

- 複数のパソコンのデータを同期させるためのソフト「FlyFolder」を使って、バックアップを取ることもできます(p.59)。
- もっと手軽にバックアップしたいかた、バックアップをつい忘れてしまうかたのために、NECでは「オンライン自動バックアップ(有料)」もご用意しております。
- バックアップを取ったデータの内容を確認したり、直接編集することはできません。
- ワイヤレスTVデジタル添付モデルでは、パソコンが故障した場合、故障前にバックアップしたデータを復元しても、復元した録画番組を利用できない場合があります。

おてがるバックアップでバックアップ/復元する

「おてがるバックアップ」を使って、自分で作成したデータなどをバックアップすることができます。

おてがるバックアップ使用上の注意

- バックアップは、定期的に取ることをおすすめします。「おてがるバックアップ」では、定期的に自動でバックアップを取るように設定することもできます。バックアップの予定時刻には、ほかのソフトを起動しないようにしてください。詳しくは、おてがるバックアップのヘルプまたは、「おてがるバックアップ」(「ソフト＆サポートナビゲーター」▶検索番号 94021121 で検索)をご覧ください。
- バックアップするデータの量によって、バックアップにかかる時間が異なります。動画などサイズの大きなデータが含まれる場合はバックアップに時間がかかります。
- おてがるバックアップでバックアップしたデータは、このパソコンでのみ復元できます。
- ご購入時のDドライブの容量は約65Gバイトです。大容量のバックアップをおこなうときは、Dドライブ以外の場所を選んでください。なお、外付けハードディスクをバックアップ先にする場合は、USB接続のハードディスクを使用してください。
- 暗号化機能を使用してデータのバックアップを取る場合は、パスワードを控えておいてください。パスワードを忘れると復元できなくなります。
- 障害によりWindowsが起動しないときは「データファイナルレスキュー」を使ってバックアップを取ることができます。詳しくはPART3の「Windowsを起動できないときにデータのバックアップを取る」(p.90)をご覧ください。

・ テレビ番組を録画したデータや購入した音楽データなど、著作権が保護されたデータは、「ワンクリックバックアップ」-「マイ データ」を使ってバックアップを取ることができません。
・ ワイヤレスTVデジタル添付モデルの場合、テレビ番組の録画データは、ディスクなどに保存するか、外付けハードディスクに移動してください。保存や移動の操作について詳しくは、『テレビを楽しむ本』をご覧ください。
・ 音楽データなどは、購入に使用したソフトを使ってバックアップしてください。

「マイ データ」のバックアップを取る

手軽にバックアップを取るには、「ワンクリックバックアップ」の「マイ データ」を使います。この方法では、次のデータをバックアップできます。

・ 電子メールのメッセージ
・ 「ドキュメント」や「パブリックのドキュメント」フォルダ
・ 「ピクチャ」や「パブリックのピクチャ」フォルダ
・ 「ビデオ」や「パブリックのビデオ」フォルダ
・ 「ミュージック」や「パブリックのミュージック」フォルダ
・ ログオンしているユーザーの「ダウンロード」フォルダ
・ ログオンしているユーザーの「デスクトップ」フォルダ
・ ログオンしているユーザーの「お気に入り」フォルダ
・ 「Internet Explorer」のインターネット接続の設定
・ その他、「設定」で追加したフォルダやファイル

1 **タスクバーの(ソフト&サポートナビゲーター)アイコンをクリック**

2 **「ソフトを探す」-「50音/英数字から選ぶ」-「おてがるバックアップ」の「ソフトを起動」をクリック**

インストールの画面が表示されたときは、画面の指示にしたがってインストールしてから、次の手順に進んでください。

3 **「マイ データ」の「今すぐ実行」をクリック**

バックアップが開始されます。DVD-Rなどにバックアップを取る場合は、ディスクをセットするようにメッセージが表示されます。画面の説明を読んで操作してください。

4 **「バックアップが正常に完了しました。」と表示されたら「閉じる」をクリック**

5 **「おてがるバックアップ」画面右上のをクリック**

これで、バックアップは完了です。

家族など、複数のユーザーでこのパソコンを共有している場合、ユーザーの人数分だけバックアップが必要です。「スタート」- -「ログオフ」の順にクリックして、別のユーザーで再ログオンし、ユーザーごとにバックアップの手順を繰り返してください。

チェック!!
・ 電子メールの設定やアドレス帳は「マイ データ」ではバックアップできません。
・ 手順の途中で「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、「はい」をクリックしてください。

チェック!!
次の画面が表示された場合は、それぞれの画面の説明をよく読み、画面の指示にしたがって操作してください。
・ 「エンド ユーザー使用許諾契約」
・ 「製品の登録」
・ 「おてがるバックアップのご紹介」

チェック!!
バックアップ中にパソコンが休止状態になると、バックアップが中断されます(ご購入時の状態では、バックアップ中に自動で休止状態になることはありません)。

チェック!!
「マイ データ」のバックアップデータは、パソコンを再セットアップしたら、すぐに復元してください。復元が遅れると、再セットアップ以降に作成されたデータが失われることがあります。

バックアップの設定を変更する

バックアップ先や、バックアップするデータやフォルダを変更するときは、「おてがるバックアップ」が起動した状態で、次の手順をおこなってください。

1 「マイ データ」の「設定」をクリック

「ワンクリック バックアップの設定」が表示されます。

2 「保存先」の右の▼をクリックして、表示されたメニューからバックアップを保存する場所を選ぶ

「保存先」で選んだ場所にバックアップが保存されます。

3 「設定を保存」をクリック

手順1の画面に戻ります。

これで、設定が変更されました。「「マイ データ」のバックアップを取る」(p.52)の手順でバックアップを取ってください。

メモ

- 「ワンクリック バックアップの設定」の画面で「保存対象」の各項目をクリックして☑を☐にすると、その項目はバックアップされなくなります。
- 「ワンクリック バックアップの設定」の画面で「フォルダーの追加」、「ファイルの追加」をクリックして、バックアップする対象を増やすことができます。

チェック!!

バックアップが保存できるのは次の場所です。

- Windows7(C:):このパソコンのCドライブです。
- ローカルディスク(D:):このパソコンのDドライブです。
- xxxxxxx(E:):光ディスク(DVD-Rなど)です。
  「xxxxxxx」の部分はモデルによって異なります。
  使用できる光ディスクの種類については、「バックアップを取る場所について」(p.58)の表をご覧ください。
- ボリューム(F:):USB接続の外付けハードディスクやUSBメモリーなどです。
  外付けハードディスクやUSBメモリーが接続されている場合のみ表示されます。(F:)の部分は、お使いの環境により表示が異なる場合があります。

おてがるバックアップを使ってパソコン全体のバックアップを取る

パソコンの内蔵ハードディスク全体のバックアップを取ることができます。

パソコン全体のバックアップを取る前に

「おてがるバックアップ」では、パソコンの内蔵ハードディスク全体をバックアップ/復元することもできます。インターネットやメールの設定、壁紙、自分でインストールしたソフトなど、さまざまに設定をおこなった状態をそのままバックアップ/復元することができるので便利です。
なお、バックアップにはおおよそ5～6時間かかります(モデルやディスクの使用量、その他の条件によって時間は異なります)。ディスクの使用量によってはさらに時間がかかることもあります。バックアップを取る際には、十分な時間を確保してください。

チェック!!

・復元するためには、パソコンが正常に動作しているときにバックアップを取っておく必要があります。
・バックアップを取るには、管理者権限を持つユーザーでログオンする必要があります。
・「おてがるバックアップ」でバックアップしたデータは、このパソコンでのみ復元できます。

バックアップの準備をする

パソコン全体のバックアップをするには、あらかじめ次の準備が必要です。

●再セットアップディスクを準備する

バックアップしたデータを復元するために、再セットアップディスクが必要になります。「再セットアップディスクを作成する」(p.83)をご覧になり、再セットアップディスクを作成しておいてください。

●バックアップを取るための光ディスク(DVD-Rなど)や外付けハードディスクを準備する

バックアップ先として使えるディスクについては、「バックアップを取る場所について」(p.58)をご覧ください。

パソコン全体のバックアップに必要な光ディスク(DVD-Rなど)の枚数や外付けハードディスクの容量は、バックアップの方法やデータ量により異なります。目安は次のとおりです。
・DVD-R…13枚程度
・外付けハードディスクの空き容量…60Gバイト程度

チェック!!

ディスクの作成中は、省電力状態にしたり再起動したりしないでください。また、ログオフ、ユーザーの切り換え、ロックなどの操作をしないでください。

●ほかのソフトなどが起動しないようにする

・ スクリーンセーバーが起動しないようにする
次の手順で設定が変更できます。
1.「スタート」-「コントロールパネル」をクリック
2.「デスクトップのカスタマイズ」をクリック
3.「スクリーンセーバーの変更」をクリック
4.「スクリーンセーバー」で「(なし)」を選び「OK」をクリック
5.「コントロールパネル」の[x]をクリック
・ 起動中のソフトをすべて終了する(ウイルス対策ソフトなどを含む)
終了方法は、それぞれのソフトのヘルプなどをご覧ください。
・ ワイヤレスTVデジタル添付モデルでは、テレビの録画予約の時間、番組表の受信時刻とバックアップの時間が重ならないようにする
予約の確認や取り消し方法については、『テレビを楽しむ本』をご覧ください。

●ネットワークから切断する

安全にバックアップをおこなうためには、ネットワークから切断する必要があります。

パソコン全体のバックアップを取る

1 「ソフト&サポートナビゲーター」-「ソフトを探す」-「50音/英数字から選ぶ」-「おてがるバックアップ」の「ソフトを起動」をクリック

2 「パソコン全体」の「今すぐ実行」をクリック

バックアップが開始されます。DVD-Rなどにバックアップを取る場合は、ディスクをセットするようにメッセージが表示されます。画面の説明を読んで操作してください。ご購入時の状態では、DVD-Rなどにバックアップを取るように設定されています。

3 「バックアップが正常に完了しました。」と表示されたら「閉じる」をクリック

4 「おてがるバックアップ」画面右上の[x]をクリック

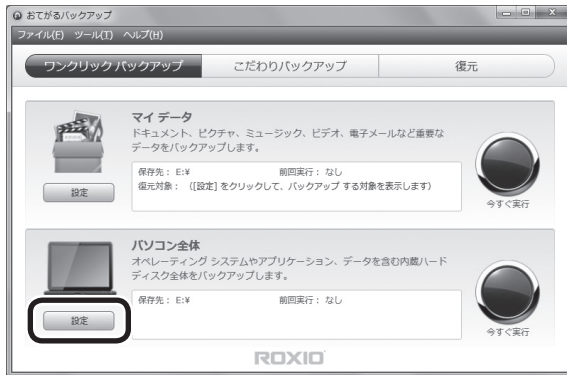
これで、バックアップは完了です。

チェック!!
手順の途中で「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、「はい」をクリックしてください。

チェック!!
次の画面が表示された場合は、それぞれの画面の説明をよく読み、画面の指示にしたがって操作してください。
・「エンド ユーザー使用許諾契約」
・「製品の登録」
・「おてがるバックアップのご紹介」

バックアップの設定を変更する

バックアップ先を変更するときは、「おてがるバックアップ」が起動した状態で、次の手順をおこなってください。

1 「パソコン全体」の「設定」をクリック

「ワンクリック バックアップの設定」が表示されます。

2 「保存先」の右の▼をクリックして、表示されたメニューからバックアップを保存する場所を選ぶ

「保存先」で選んだ場所にバックアップが保存されます。

3 「設定を保存」をクリック

手順1の画面に戻ります。

これで、設定が変更されました。「パソコン全体のバックアップを取る」(p.55)の手順でバックアップを取ってください。

チェック!!
手順の途中で「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、「はい」をクリックしてください。

チェック!!
バックアップが保存できるのは次の場所です。

・ xxxxxxx(E:)：光ディスク(DVD-Rなど)
「xxxxxxx」の部分はモデルによって異なります。
使用できる光ディスクの種類については、「バックアップを取る場所について」(p.58)の表をご覧ください。
・ ボリューム(F:)：USB接続の外付けハードディスクです。
外付けハードディスクが接続されている場合のみ表示されます。
(F:)の部分は、お使いの環境により異なる場合があります。

チェック!!
バックアップ中にパソコンが休止状態になると、バックアップが中断されます(ご購入時の状態では、バックアップ中に自動で休止状態になることはありません)。

バックアップしたデータを復元する

ハードディスクの故障などのトラブルでデータが消えてしまったとき、また、データを上書きして必要なデータを消してしまったときなどは、バックアップを使ってデータをもとに戻すことができます。

「マイ データ」を復元する

1 DVD-Rなどのディスクや、外付けハードディスクにバックアップしたデータを復元する場合は、ディスクや外付けハードディスクをセットする

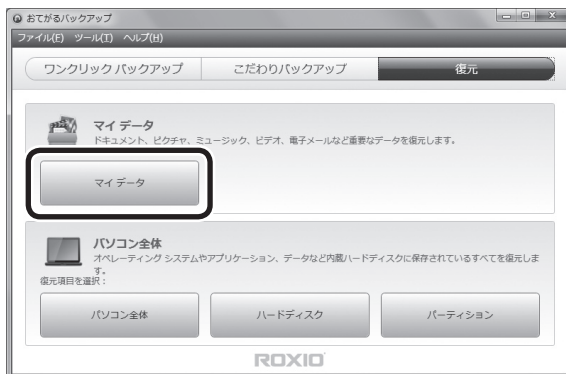
Dドライブ、またはCドライブにバックアップしたデータを復元する場合は、そのまま手順2へ進んでください。

2 「ソフト&サポートナビゲーター」-「ソフトを探す」-「50音/英数字から選ぶ」-「おてがるバックアップ」の「ソフトを起動」をクリック

チェック!!
「マイ データ」の復元前に、実行中のすべてのソフトを終了させてください(「おすすめメニューNavi」を含む)。なお、スクリーンセーバーが起動しないようにする手順については、「ほかのソフトなどが起動しないようにする」(p.55)をご覧ください。

チェック!!
手順の途中で「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、「はい」をクリックしてください。

3 「復元」をクリック

4 「マイ データ」をクリック

「復元：マイ データ」画面が表示されます。

5 復元するデータを選んで、「次へ」をクリック

通常は、「最新のバックアップを復元」を選んでください。復元したいバックアップがわかっている場合は、「選んだバックアップから復元」を選び、表示されている各項目を設定してください。

6 「次へ」をクリック

7 「復元」をクリック

復元が開始され、「復元中」と表示されます。

8 「復元が成功しました。」と表示されたら「閉じる」をクリックし、「おてがるバックアップ」画面の をクリック

チェック!!

次の画面が表示された場合は、それぞれの画面の説明をよく読み、画面の指示にしたがって操作してください。

- 「エンド ユーザー使用許諾契約」
- 「製品の登録」
- 「おてがるバックアップのご紹介」

チェック!!

「マイ データ」を復元するとき、次のメッセージが表示された場合は、実行中のソフトがないか確認してください。実行中のソフトがあった場合は、終了してから復元の手順をやりなおしてください。

「現在の操作はキャンセルされたか、または完了できませんでした。-1000105」

メモ

ご購入時の状態では、「元の場所」にデータが復元されます。

「パソコン全体」を復元する

次の手順で、バックアップを作成した時点の状態に復元することができます。

1 **パソコン本体の電源を入れる**

2 **電源ランプが点灯したら、すぐに再セットアップディスク（1枚目）をセットする**

「「Windows 7再セットアップ」実行中の注意」が表示されたら、内容をよく読んで操作してください。その後、「Windows 7再セットアップ」の画面が表示されたら「バックアップ時の状態に戻す（おてがるバックアップ）」をクリックしてください。

ディスクを交換するように指示が表示されたら、画面の指示にしたがってディスクを順番にセットしてください。

「「Windows 7再セットアップ」実行中の注意」の画面が表示されずに、通常のWindowsデスクトップ画面が表示されてしまったときは、再セットアップディスクをセットしたまま、パソコンを再起動してください。

3 **表示された画面で「パソコン全体」を選択して「次へ」をクリック**

以降は、画面の指示をよく読んで操作してください。

操作の最後に再起動の指示が表示されますが、再起動する前にDVD/CDドライブを確認し、ディスクが残っていたら取り出してください。

チェック!!

- 復元のための操作を始める前に、必ずACアダプタを接続しておいてください。
- 「パソコン全体」でバックアップした時点以前に戻したい場合は、再セットアップ（p.71）をおこなってください。この場合、パソコンはご購入時の状態に戻ります。
- ここで説明している操作をおこなうと、復元されたハードディスクがバックアップを作成した時点の状態に戻ります。バックアップを作成した時点より後に作成されたデータや、変更されたデータは失われます。必要なデータは、この操作の前に、個別にバックアップを取ってください。
- ワイヤレスTVデジタル添付モデルでは、バックアップ前に録画しバックアップ後にSmartVisionを使って消去したテレビ番組の録画データは、バックアップデータを復元しても利用することはできません。

バックアップを取る場所について

「おてがるバックアップ」では、バックアップ方法によって、バックアップ先に設定できる場所が異なります。

バックアップ方法		ワンクリックバックアップ		こだわりバックアップ	
		マイ データ	パソコン全体	マイ データ	ディスクまたはパーティション
バックアップ先※4	ローカルディスク（お使いのパソコンのハードディスク）	○	×	○	○※1
	USB接続の外付けハードディスク	○	○	○	○
	内蔵SSD（搭載モデルのみ）	○	×	○	○※1
	NAS（ネットワーク接続ストレージ）	×	×	○	×
	USBメモリー	○	×	○	×
	次の光ディスク※2 DVD-R	○	○	○	○
	次のメモリーカード※3 SDメモリーカード/SDHCメモリーカード/SDXCメモリーカード	○	×	○	×

※1：システムドライブを含む場合は、バックアップ先に設定できません。
※2：お使いのDVD/CDドライブによって、使用できる光ディスクが異なります。
※3：お使いのモデルによって、使用できるメモリーカードが異なります。
※4：USB外付け機器は必ず機器付属の説明書に書かれた用法を守ってお使いください。

その他のバックアップ方法について

「こだわりバックアップ」でバックアップを取る

「おてがるバックアップ」には、「ワンクリックバックアップ」のほかに、細かく設定をしてバックアップが取れる「こだわりバックアップ」があります。定期的に自動でバックアップを取る、あらたに追加された、あるいは更新されたファイルだけバックアップを取る、バックアップしたデータを暗号化するなど、さまざまな設定ができます。
「こだわりバックアップ」について詳しくは、「おてがるバックアップ」のヘルプをご覧ください。
なお、「こだわりバックアップ」では「ディスク、またはパーティション」の操作ができますが、この機能はパソコンやハードディスクの知識を十分にお持ちの方のみお使いください。

「FlyFolder」でバックアップを取る

複数のパソコンのデータを同期させることができます。自動ファイル保存機能を使って、任意のフォルダのファイルのバックアップを取ることもできます。指定したフォルダに自分で作成したデータを保存したり、そのデータを更新するたび、自動でバックアップデータが作成されます。
詳しくは、「FlyFolder」のヘルプをご覧ください。

手動でバックアップを取る

大切なデータを、DVD-RやCD-R、外付けのハードディスクドライブなどにコピーして保存しておくのも手軽なバックアップの方法です。いざというときは、それらのデータを使ってパソコンの状態をある程度まで復旧させることができます。
この作業を定期的におこなえば、より効果的です。

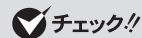
そのほかのバックアップ方法

そのほか、このパソコンでは次のようなバックアップ方法も利用できます。

・Windowsの「バックアップと復元」を使う
　コントロールパネルの「バックアップと復元」で、ファイルやフォルダを、バックアップしたり復元したりすることができます。詳しくは、Windowsのヘルプをご覧ください。

・「データファイナルレスキュー」を使う
　Windowsが正常に起動しないときでも、「データファイナルレスキュー」を使ってバックアップを取ることができます。詳しくは、PART3の「Windowsを起動できないときにデータのバックアップを取る」(p.90)をご覧ください。

参照
「FlyFolder」について詳しくは、「FlyFolder」のヘルプをご覧ください。

チェック!!

・購入した音楽データなど、著作権が保護されたデータは、この方法ではコピー(バックアップ)できません。
　購入に使用したソフトなどを使ってバックアップしてください。

・外付けのハードディスクドライブにバックアップを取るときは、別途、USB接続の外付けハードディスクドライブをご用意ください。

リモコンの使い方

ワイヤレスTVデジタル添付モデルに添付されているリモコンの使い方について説明します。

リモコン受信用ユニットを取り付ける

リモコンの信号を受信するためのユニットをUSBコネクタ( )に取り付けます。コネクタの位置を確認して差し込んでください。

●SmartVisionをリモコンで操作する場合

SmartVisionを起動する前に、リモコン受信用ユニットを取り付けてください。SmartVisionを起動した後にリモコン受信ユニットを取り付けた場合は、リモコンのボタンが正しく動作しないことがあります。その場合は、SmartVisionを終了後、リモコンが取り付けられていることを確認して、再度、SmartVisionを起動してください。

チェック!!

・パワーオフUSB充電機能をオンにした場合、パワーオフUSB充電機能対応のUSBコネクタ( )には取り付けないでください。
リモコンの【電源】や【テレビ】ボタンでスリープ状態から復帰できなくなります。

・はじめてリモコン受信用ユニットを取り付ける場合は、再起動を促す画面が表示されます。「今すぐ再起動」をクリックしてWindowsを再起動してください。

リモコンに乾電池を入れる

1 **リモコン背面の電池カバーをスライドして取り外す**

2 **添付の単3形の乾電池を入れる**

電池の向きに注意して入れてください。

3 **電池カバーをもとのように取り付ける**

リモコンの使用範囲について

リモコンを使うときは、リモコン受信用ユニットから約3mの範囲で操作してください。

リモコンが使えるソフトについて

ワイヤレスTVデジタル添付モデルに添付されるリモコンは、次のソフトで使うことができます。

・「SmartVision」
・「Windows Media Center」
・「CyberLink PowerDVD」

参照

・SmartVisionの操作について詳しくは『テレビを楽しむ本』をご覧ください。

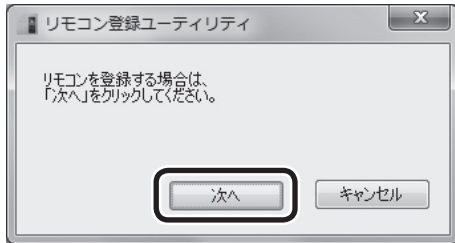
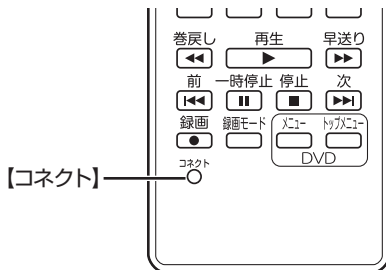
・リモコンのボタンと動作について
→「リモコン」
▶「ソフト&サポートナビゲーター」
▶検索番号 93010130 で検索

リモコンを登録しなおす

リモコンが正しく動作しないときは、何らかの原因でパソコン側の登録が解除されてしまったことが考えられます。
次の手順でリモコンを登録しなおしてください。

1 リモコン受信用ユニットをパソコンのUSBコネクタに取り付ける

2 「スタート」-「すべてのプログラム」-「リモコン登録ユーティリティ」-「リモコン登録ユーティリティ」をクリックする

3 「次へ」をクリックする

4 つま楊枝の根元の部分など先端に丸みのあるもので、30秒以内にリモコンの【コネクト】を押す

リモコンを操作して正常に動作するか確認してください。

メモ

パソコンを修理・交換した場合も、登録しなおす必要があります。

PART

2

このパソコンのおすすめ機能

ここでは、外出時に便利な機能など、このパソコン特有の機能について説明しています。パソコンの設定が終わったら、このPARTをご覧になり、あなたのパソコンライフに役立ててください。

複数のパソコンを使う

複数のパソコンをお持ちの場合に便利な機能を紹介します。

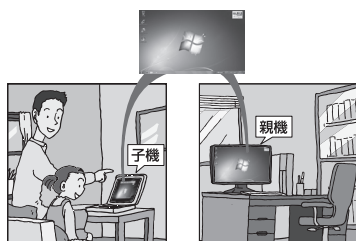
このパソコンには、複数のパソコンでデータを共有する機能や、ネットワークを作りほかのパソコンと連携させて活用するための便利な機能が用意されています。ここでは、複数のパソコンを使う際に用意されている機能について紹介します。

機能	使用するソフト	機能の説明
パソコンを遠隔操作する	「Luiリモートスクリーン(親機版)」「Luiリモートスクリーン(子機版)」	自宅のパソコンを、別の部屋にあるパソコンから遠隔操作したり、外出先からインターネット経由で利用したりできます。詳しくは「パソコンを遠隔操作する(Luiリモートスクリーン)」をご覧ください。
データや設定を移行する	「ファイナルパソコンデータ引越し」	パソコンのデータや設定などをまとめて一度に、このパソコンへ移行します。
データを同期･共有する	「FlyFolder」	複数のパソコンで、特定のフォルダを常に同期をとるように設定すると、最新のデータを共有できます。

参照

複数台のパソコン利用について
→「複数台利用でできること」
▶「ソフト&サポートナビゲーター」
▶検索番号 91090010 で検索

パソコンを遠隔操作する(Luiリモートスクリーン)

Luiリモートスクリーンを使うと、家庭内のネットワークやインターネットに接続した2台のパソコンで、自宅内はもちろん、自宅外からも、一方のパソコンから他方のパソコンを操作できるようになります。

※親機の画面が子機に表示され、子機側で親機の画面を操作できます。

利用するためには、ソフトのインストールや接続の設定が必要になります。使い方については、次のマニュアルをご覧ください。

●家の中だけで使いたいときの設定方法
→『Luiかんたんスタートマニュアル』

●モバイル通信などを利用して、家の外からも接続するときの設定方法
→『Luiリモートスクリーンマニュアル』

メモ

機能の説明について詳しくは、デスクトップにある(「Luiリモートスクリーンのご紹介」アイコン)をダブルクリックして、表示される説明をご覧ください。

チェック!!

- 1台の親機へ同時に2台以上の子機を接続できません。
- 子機で親機に接続しているときは、子機からのみ親機の操作ができます。親機に接続されているマウスやキーボードでは操作できません。

参照

- Luiリモートスクリーンについて
  →「ほかのパソコンを遠隔操作する(Luiリモートスクリーン)」
  ▶「ソフト&サポートナビゲーター」
  ▶検索番号 91090020で検索
- マニュアルは、「スタート」-「すべてのプログラム」-「Luiリモートスクリーン」から見ることができます。

モバイルパソコン活用のヒント

ここでは、外出時に便利な機能や情報について紹介しています。

外出先でインターネット

●ワイヤレスLANを利用する

駅や空港、ホテル、カフェなどで提供されるワイヤレスLANサービスを利用し、ブロードバンド接続ができます。

ワイヤレスLANサービスが提供されない場所でも、通信カードや携帯電話接続ケーブルを使ってインターネットにアクセスすることもできます。

チェック!!

ワイヤレスLANサービスの内容、申し込み方法、利用する場所などについては、サービスを提供する事業者によって異なります。サービスの詳しい内容については、事業者にお問い合わせください。

外出先でのセキュリティ対策

外出先では、ファイアウォールやウイルス対策ソフトによる不正アクセス防止策やデータ保護策とともに、パソコン本体の置き忘れや盗難にも注意してください。
もし置き忘れなどにより他人の手に渡ってしまったとしても、情報を悪用されないように予防しておくことが大切です。

●セキュリティを万全にする

ワイヤレスLANサービスでは、不特定多数のパソコンが同一のLANに接続されます。このパソコンに添付されている「ウイルスバスター」やセキュリティ機能を利用して、十分なセキュリティ対策をとってください。

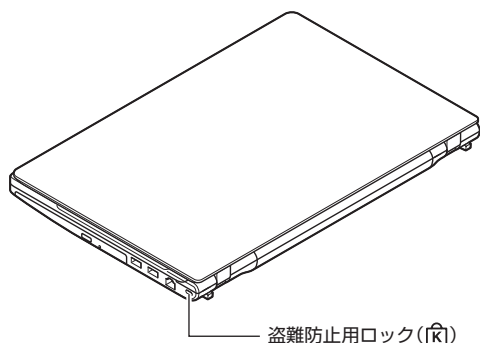
●パスワードをかける

BIOS(バイオス)による「パソコン起動時のパスワード」や「内蔵ハードディスクにパスワードロックをかける方法」などのパスワード機能を組み合わせて使えば効果的です。

参照

・「ウイルスバスター」の設定、使い方について
→「ウイルス対策ソフトを使い始める」
▶「ソフト&サポートナビゲーター」
▶検索番号 91040020 で検索
・セキュリティについて
→「安全に使うためのポイント(セキュリティ対策)」
▶「ソフト&サポートナビゲーター」
▶検索番号 91030010 で検索
・「BIOS」について
→「ハードウェア環境の設定」
▶「ソフト&サポートナビゲーター」
▶検索番号 93220040 で検索

●盗難防止グッズを使う

パソコン本体の盗難防止には別売のセキュリティケーブル(PC-VP-WS15)が効果的です。また、設定した範囲からパソコンを移動しようとすると、警告音を発したり起動ロックがかかったりするような盗難防止グッズもあります。

バッテリを長持ちさせるコツ

外出先でのバッテリ切れは心配のタネですが、ほんの少し気を配るだけでも意外に長持ちします。ここではバッテリを長持ちさせるコツを紹介します。

●正しい充電でバッテリ性能をキープする

充電はできるだけバッテリ残量が0%に近い状態になってから、残量が100%になるまでフル充電するのが理想です。また、充電できる電池容量は周囲の温度によって異なります。たとえば、真夏の暑い部屋では、高温により充電が中断されることもあります。

参照

正しい充電のしかたについて
→「バッテリ」
▶「ソフト&サポートナビゲーター」
▶検索番号 93150010 で検索

●残量が少なくなったら

ここにマウスポインタを合わせるとバッテリ残量の目安が表示されます。

- 電源ランプがオレンジ色に点灯したら
  バッテリ残量が少なくなっています。早めに充電してください。

- 電源ランプがオレンジ色に点滅したら
  バッテリ残量が残りわずか(自動的に休止状態に入る)です。すぐにACアダプタを取り付けてください。

パソコン本体がスリープ状態のときは、電源ランプは点滅します(バッテリ残量がない場合を除く)。

●長時間の外出や出張には

外出時の使用がメインの場合は、交換用のバッテリパックを用意することを特におすすめします。
また、バッテリ切れに備えて、ACアダプタと電源コードを忘れずに用意しておきましょう。

●ECOモードに切り換える

このパソコンでは、Windowsのシステムと電力に関する設定は「電源プラン」で管理しています。状況に応じて、電力を節約したり、電力とパフォーマンスのバランスをとったりすることができます。

電源プランの設定	説明
LaVie	パフォーマンスと電力のバランスをとった設定です。ご購入時の状態では、このプランに設定されています。
ECO	パフォーマンスよりも電力の節約を優先した設定です。

キーボードの【Fn】+【F4】を押すと、電源プランを「ECO」に切り換えることができます。
もう一度【Fn】+【F4】を押すと、もとの電源プランに切り換わります。

参照
電源プランの設定を変更し、より柔軟な省電力設定をすることもできます。
省電力設定について
→「省電力機能」
▶「ソフト&サポートナビゲーター」
▶検索番号 93160010 で検索

文字やアイコンサイズの変更

画面の文字が小さいときなどに、文字やアイコンの大きさを変更できます。

パソらく設定で変更する

パソらく設定はWindowsの設定の変更をお手伝いするソフトです。

1 タスクバーの(ソフト&サポートナビゲーター)アイコンをクリック

2 「ソフトを探す」-「50音/英数字から選ぶ」-「パソらく設定」-「ソフトを起動」をクリック

パソらく設定が起動します。

3 「画面の表示を見やすくする」の「設定画面へ」をクリック

4 好みのサイズを選んでクリック

5 「終了」をクリック

6 「保存して終了」をクリック

7 「今すぐログオフ」をクリック

参照

- 「大(125%)」の文字を選択した場合、画面の一部が切れて表示されないことがあります。画面の大きさ(ウィンドウサイズ)の変更や操作ができなくなった場合は、文字サイズを小さく設定してください。
- 「パソらく設定」では、文字やアイコンの大きさを変更するほかに、デスクトップの壁紙やスクリーンセーバーの変更もできます。
- 変更した設定をもとに戻すときは、「パソらく設定」のトップページで「購入時の設定に戻す」の「設定画面へ」をクリックし、表示された画面で「戻す」をクリックしてください。以降の操作は、画面の指示にしたがってください。

パワーオフUSB充電機能

パソコン本体の電源が切れていてもUSB対応機器の充電をすることができます。

パワーオフUSB充電機能について

パソコン本体の左側面にあるUSBコネクタ は、パワーオフUSB充電機能に対応しています。パソコン本体の電源が切れているときや、省電力状態のときでも、USBケーブルによる充電に対応している機器を充電することができます。

パワーオフ充電機能は、ご購入時の状態ではオフに設定されています。
使用する場合は、「スタート」-「すべてのプログラム」-「パワーオフUSB充電の設定」-「パワーオフUSB充電の設定」をクリックして設定画面を起動し、「パワーオフUSB充電機能を利用する」を☑にして「OK」をクリックしてください。
また、設定画面で「ACアダプタなしでもパワーオフUSB充電機能を利用する」を☑にして「OK」をクリックすると、パソコン本体にACアダプタが接続されていない状態でも充電することができます。

パワーオフUSB充電機能に対応している機器については、次のホームページで確認することができます。

http://121ware.com/navigate/products/pc/connect/usb/list.html

チェック!!

周辺機器によっては、パワーオフUSB充電機能を使用できない場合があります。本機能を使用できない周辺機器については、パソコンの電源を入れた状態で充電してください。

チェック!!

パソコン本体がスリープ状態から復帰するとき、パワーオフUSB充電機能対応のコネクタに接続している機器は、10秒程度、反応しない場合があります。しばらく待って使用するか、通常のUSBコネクタに接続して使用してください。

PART

3

再セットアップ

パソコンを起動できなくなったときなどの「最後の手段」が再セットアップです。再セットアップをおこなうと、パソコンに保存されている大切なデータや設定の内容などが失われてしまうことがあります。作業を始める前に、このPARTの説明をよくお読みください。

再セットアップを始める前に

再セットアップの意味を理解して、いくつかのトラブル解決手段を試してみましょう。

パソコンをご購入時の状態に戻す、再セットアップ

再セットアップとは、パソコンを買ってきた直後におこなうセットアップ(準備作業)をもう一度おこなって、パソコンの中をご購入時の状態に戻すことです。エラーメッセージが何度も表示されたり、フリーズ(画面の表示が動かなくなること)が多くなったりしたときは、意識しないうちにパソコンのシステムが壊れたり、設定が変更されてしまった可能性があります。再セットアップすると、パソコンをご購入時の状態に戻すことができます。しかし、再セットアップをおこなうと、自分で作って保存しておいた文書や電子メールの内容、アドレス帳などがすべて消えてしまいます。どうしてもトラブルを解決できないときの最後の手段として再セットアップをおこなってください。大切なデータは、再セットアップの前にデータのバックアップ(データの控えを残しておくこと)を取ってください。

チェック!!

Windowsが正常に起動しない場合でも、電源が入る状態ならバックアップを取ることは可能です。詳しくは「Windowsを起動できないときにデータのバックアップを取る」(p.90)をご覧ください。

再セットアップの前に試すこと

再セットアップを始める前に、次のことを試してみてください。問題が解決することがあります。

●ウイルスチェックをおこなう

ウイルスとは、パソコンに誤動作やデータの破壊などのトラブルを引き起こす不正プログラムです。

1 「スタート」-「すべてのプログラム」-「ウイルスバスター2011 クラウド」-「ウイルスバスター2011 クラウドを起動」をクリック

「ウイルスバスター」の画面が表示されます。

2 「検索開始」の右の▼をクリックし、表示されたメニューから「コンピュータ全体の総合検索」をクリック

ウイルスのチェックが完了するまでにしばらく時間がかかります。ウイルスが見つかったときは、画面に表示される指示にしたがって操作してください。

3 「閉じる」をクリック

チェック!!

- ウイルスチェックは、常に最新のウイルス情報をもとにおこなう必要があります。「ウイルスバスター」は、インターネット上のクラウド(サーバ)上の情報を使用して通信をおこないながらウイルスのチェックをおこなうため、インターネットに接続している必要があります。また、ユーザー登録した日から90日間、無料で試用することができます。詳しくは、「ウイルスバスター」(「ソフト&サポートナビゲーター」▶検索番号 94140122 で検索)をご覧ください。
- ユーザー登録やクラウドを使用したウイルスチェックはインターネット接続が必要となるため、インターネット接続料金や電話料金などがかかります。特に携帯端末など、インターネット接続を従量制で契約されている場合は通信料金にご注意ください。

●セーフモード(トラブル修復用の起動状態)でパソコンを起動してみる

電源を入れてもパソコンが正常に起動しないときなどは、次のようにしてパソコンをセーフモードで起動してください。

1 **パソコン本体の電源を切る**

通常の操作で電源を切ることができないときは、電源スイッチを4秒以上押したままにして電源を切ってください。

2 **パソコン本体の電源を入れる**

3 **「NEC」のロゴマークが表示されたら、「詳細ブート オプション」が表示されるまで、【F8】を何度か押す**

4 **「詳細ブート オプション」が表示されたら、【↑】、【↓】を使って「セーフ モード」を選び、【Enter】を押す**

ログオンパスワードを設定している場合は、パスワードを入力してください。

ユーザーを複数設定している場合は、自分のユーザーアカウントを選んでください。

パソコンが通常のように起動してしまったときは、いったん電源を切り、手順2からやりなおしてください。

この後、再起動して問題がなければ、正常な状態に戻ります。
セーフモードについて詳しくは、「スタート」-「ヘルプとサポート」で「セーフ モード」と入力して検索してください。

チェック!!
セーフモードでは、Windowsの最小限の機能しか使えません。

●データのバックアップを取る

システムの復元や再セットアップをおこなう前に、「おてがるバックアップ」を使ってデータのバックアップを取ってください。
操作については、PART1の「大切なデータの控えを取っておく(バックアップの種類と方法)」(p.51)をご覧ください。

テレビ番組の録画データは、「おてがるバックアップ」の「ワンクリックバックアップ」-「マイデータ」ではバックアップできません。ワイヤレスTVデジタル添付モデルでは、必要な録画データは、DVDなどに保存してください。操作方法について詳しくは、『テレビを楽しむ本』をご覧ください。
ご購入時の状態では、テレビ番組の録画データはCドライブに保存されます。このため、「Cドライブのみ再セットアップ」や「Cドライブの領域を変更して再セットアップ」をすると、再セットアップ後にCドライブの録画データは失われます。

また、音楽データなどの著作権保護されたデータのバックアップまたは退避については、音楽データを購入したソフトのヘルプをご覧ください。

メモ
Dドライブは、ハードディスクの中にありますが、システムの復元やCドライブのみ再セットアップをおこなうときには影響を受けないので、一時的なバックアップ先には適しています。

チェック!!
Cドライブの領域を変更して再セットアップ、ハードディスクをご購入時の状態に戻して再セットアップする場合は、再セットアップ後にDドライブのデータも消えてしまいます。内蔵のハードディスク以外にバックアップを取っておいてください。

●システムの復元を試みる

システムの復元によって、トラブルが発生する前の「復元ポイント」を指定して、Windowsを構成する基本的なファイルや設定だけをもとに戻すことができます。この方法を使うと、「ドキュメント」フォルダなどに保存しておいたデータの多くをそのまま残しておくことができます。

1 **「スタート」-「すべてのプログラム」-「アクセサリ」-「システムツール」-「システムの復元」の順にクリック**

2 **「システムの復元」の画面が表示されたら、「次へ」をクリック**

「システムの復元」の画面に「別の復元ポイントを選択する」がある場合、この項目を◉にして「次へ」をクリックすると一覧から使用したい復元ポイントを選択できます。復元ポイントを選んで「次へ」をクリックしてください。さらに古い復元ポイントを使う場合は、表示された画面で「他の復元ポイントを表示する」を選択してください。

手順2で「次へ」をクリックしたときに一覧が表示された場合は、一覧から使用したい復元ポイントを選んで「次へ」をクリックします。さらに古い復元ポイントを使う場合は、表示された画面で「他の復元ポイントを表示する」を選択してください。

3 **「復元ポイントの確認」が表示されたら、内容を確認して「完了」をクリック**

4 **確認の画面が表示されたら「はい」をクリック**

選択した「復元ポイント」の時点にさかのぼって、パソコンのシステムが復元されます。

しばらくすると、自動的にパソコンが再起動します。

5 **「システムの復元は正常に完了しました。…」と表示されたら、「閉じる」をクリック**

これで、システムの復元は完了です。

●「前回正常起動時の構成」でシステムを起動する

セーフモード(トラブル修復用の起動状態)でもパソコンを起動できず、「システムの復元」も実行できない場合、次の手順を試してください。

1 **パソコン本体の電源を入れる**

2 **「NEC」のロゴマークが表示されたら、「詳細ブート オプション」が表示されるまで、【F8】を何度か押す**

3 **「詳細ブート オプション」が表示されたら、【↑】、【↓】を使って「前回正常起動時の構成(詳細)」を選び、【Enter】を押す**

「詳細ブート オプション」が表示されず、パソコンが通常のように起動してしまったときは、いったん電源を切り、手順1からやりなおしてください。

これで、前回正常起動時の構成を使用してパソコンが起動します。

チェック!!

手順の途中で「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、「はい」をクリックしてください。

チェック!!

- システムの復元をおこなう前にデータのバックアップを取ってください。システムを修復することで大切なデータが失われることがあります。
- システムの復元をおこなうときは、前もって起動中のソフトを終了させてください。
- Windowsが正常に起動しない場合は、「セーフモード(トラブル修復用の起動状態)でパソコンを起動してみる」(p.73)で説明した手順にしたがって、パソコンをセーフモードで起動してください。その後、システムの復元をおこなってみてください。
- Windowsが正常に起動しない場合は、「システム回復オプション」からシステムの復元を実行することもできます。「「スタートアップ修復」を使う」(p.75)の手順6で、「システムの復元」をクリックしてください。
- システムの復元を使用した場合は、復元ポイントを作成した後に設定した内容は削除されますので、もう一度設定しなおしてください。

●「スタートアップ修復」を使う

スタートアップ修復は、システムファイルの不足や破損など、Windowsの正常な起動をさまたげる可能性のある問題を解決できる、Windowsの回復ツールです。
パソコンがまったく起動しないときは、「スタートアップ修復」を試してください。パソコンが自動的に問題を診断して修復し、正常に起動できるようになる場合があります。

1 **パソコン本体の電源を入れる**

2 **「NEC」のロゴマークが表示されたら、「詳細ブート オプション」が表示されるまで、【F8】を何度か押す**

3 **「詳細ブート オプション」が表示されたら、【↑】、【↓】を使って「コンピューターの修復」を選び、【Enter】を押す**

「詳細ブート オプション」が表示されず、パソコンが通常のように起動してしまったときは、いったん電源を切り、手順1からやりなおしてください。

4 **「システム回復オプション」が表示されたら、そのまま「次へ」をクリック**

5 **自分のユーザー名を選び、パスワードを入力して「OK」をクリック**

パスワードを設定していない場合は、パスワードは入力しないで「OK」をクリックしてください。

6 **「回復ツールを選択してください」と表示されたら、「スタートアップ修復」をクリック**

「スタートアップ修復」が始まります。

7 **修復が終わったら「完了」をクリック**

8 **「シャットダウン」または「再起動」をクリックしてシステム回復オプションを終了する**

チェック!!

強制電源断など、パソコンが正常に終了されなかった場合、次回パソコン起動時には、自動的にスタートアップ修復が起動する場合があります。その場合は、画面の指示にしたがい、コンピュータを復元してください。ただし、復元ポイントを作成した後に設定した内容は削除されますので、もう一度設定しなおしてください。

●「おてがるバックアップ」で取ったバックアップを復元する

「おてがるバックアップ」の「パソコン全体」、「ディスク、またはパーティション」で、Windowsを含むデータをバックアップしてある場合は、復元することで、バックアップした状態までパソコンを戻すことができます。
復元について詳しくは、「「パソコン全体」を復元する」(p.58)をご覧ください。

参照

「「パソコン全体」を復元する」(p.58)では、「パソコン全体」でバックアップした場合の復元方法が記載されています。「ディスク、またはパーティション」でバックアップしたデータの復元も同じ手順でおこなえます。詳しくは、「おてがるバックアップ」のヘルプをご覧ください。

再セットアップする（Cドライブのみ）

このパソコン内にあるCドライブの内容をご購入時の状態に戻します。

ハードディスクに格納されている再セットアップ領域のデータ(NEC Recovery System)を、Cドライブに書き込んで再セットアップします。ハードディスクの領域の変更はしません。

●こんなことができます

・ Cドライブのデータを手軽にご購入時の状態に戻せます
　Dドライブのデータは保護されます

●こんなかたにおすすめ

・ 再セットアップしたいほとんどのかたにおすすめ
・ まだパソコンに慣れていないかた、ハードディスクのフォーマットなどの経験がないかたは、必ずこの方法で再セットアップしてください

●再セットアップの流れ

再セットアップは次の13項目の作業を連続しておこないます。項目によっては(　)内におよその作業時間を示していますが、実際にかかる時間はモデルやパソコンの使用状況で異なります。

1. 必要なものを準備する
2. バックアップを取ったデータを確認する
3. インターネットの設定を控える
4. ユーザー名を控える
5. BIOS(バイオス)の設定を初期値に戻す:初期値を変更している場合のみ
6. 市販の周辺機器(プリンタ、スキャナなど)を取り外す
7. システムを再セットアップする(約30分〜1時間※)
   ※再セットアップ方法によっては1時間30分程度かかることがあります。
8. Windowsの設定をする(約30分〜1時間)
9. 市販の周辺機器(プリンタ、スキャナなど)を取り付けて設定しなおす
10. 市販のソフトをインストールしなおす
11. バックアップを取ったデータを復元する
12. インターネット接続の設定などをやりなおす
13. Windowsやウイルス対策ソフトなどを最新の状態にする

チェック!!

・ ハードディスクの状態をご購入時から変更(パーティションの追加・削除、ダイナミックディスクなど)した場合、Cドライブのみ再セットアップすることはできません。
・ この方法で再セットアップをすると、Cドライブに保存されているデータはすべて削除されますので、必要なデータは再セットアップの前にバックアップを取っておく必要があります(p.51)。
・ 再セットアップは中断しないでください。

●バックアップは終わっていますか？

再セットアップをおこなうと、Cドライブに保存したデータはすべて失われます。バックアップが終わっていない場合、PART1の「大切なデータの控えを取っておく（バックアップの種類と方法）」(p.51)をご覧ください。

●再セットアップを始めたら、途中でやめない！

再セットアップは、すべての作業項目を最後まで続けて作業することが必要です。
途中でやめてしまうと、パソコンが正常に動作しなくなることがあります。

1. 必要なものを準備する

このパソコンの添付品から、次のものを準備してください。

- 「Microsoft® Office Personal 2010」または「Microsoft® Office Home & Business 2010」のプロダクトキー
- 『ユーザーズマニュアル』（このマニュアル）
- 『セットアップマニュアル』

そのほか、このパソコンをご購入後に自分でインストールしたソフトがある場合、そのマニュアルをご覧になり、インストールに必要なCD-ROMなどを準備してください。

チェック!!

再セットアップ後、Office 2010のソフトを最初に使用するときは、プロダクトキーの入力が必要になります。プロダクトキーは、「Office Personal 2010」または「Office Home & Business 2010」のDVD-ROMケースに記載されています。

2. バックアップを取ったデータを確認する

バックアップを取ったデータを、もう一度確認してください。まだバックアップを取っていなかったり、バックアップに失敗していたときは、バックアップを取りなおしてください。
Windowsの障害などで「おてがるバックアップ」が使えないときは、「データファイナルレスキュー」(p.90)を使ってバックアップを取ることができます。

3. インターネットの設定を控える

再セットアップをおこなっても、インターネット接続の設定は自動的には復元されません。インターネットを利用している場合、プロバイダの会員証を用意してください。会員証がない場合は、次の項目をメモしてください。

- ユーザーID
- パスワード
- 電子メールアドレス
- メールパスワード
- プライマリDNS
- セカンダリDNS
- メールサーバ
- ニュースサーバ

必要に応じて、LANの設定を控えてください。

4. ユーザー名を控える

このパソコンをご購入後、はじめて電源を入れておこなったセットアップ作業で設定したユーザー名を確認し、次の「ユーザー1」の欄に控えておきます。「8.Windowsの設定をする」の作業をおこなうときに、このユーザー名が一致しないとデータが復元できなくなってしまいます。

	ユーザー名
ユーザー1(1人目)	
ユーザー2(2人目)	
ユーザー3(3人目)	
ユーザー4(4人目)	

チェック!!

・家族など、このパソコンを複数のユーザーで共有している場合は、それらのユーザー名も一緒に控えておくことをおすすめします。
・ユーザー名を控えるときは、「大文字と小文字の区別」に注意してください。
・「データファイナルレスキュー」でデータのバックアップを取った場合は、バックアップが完了したときに表示されるバックアップユーザー名を控えてください。

5. BIOS(バイオス)の設定を初期値に戻す:初期値を変更している場合のみ

BIOSの設定を変更している場合は、BIOSセットアップユーティリティを起動して、変更した内容をメモしてから、設定を初期値に戻してください。この作業は、BIOSの設定を変更していない場合は必要ありません。
手順について詳しくは、PART4の「パソコンの使用環境を変更したら、Windowsが起動しない」(p.109)をご覧ください。

6. 市販の周辺機器(プリンタ、スキャナなど)を取り外す

市販の周辺機器は、すべて取り外してください。また、インターネットの通信回線との接続に使っているLANケーブルも取り外してください。

チェック!!

外付けのハードディスクドライブなどを接続したまま再セットアップをおこなうと、ハードディスク内のデータが削除される場合があります。

7. システムを再セットアップする

次の手順で操作してください。

チェック!!

操作を始める前に必ずACアダプタを接続しておいてください。バッテリだけでは再セットアップできません。

1 パソコン本体の電源を切る

通常の操作で電源を切ることができないときは、電源スイッチを4秒以上押したままにして電源を切ってください。

2 パソコン本体の電源スイッチを押して電源を入れる

3 「NEC」のロゴマークが表示されたら、「ファイルを読み込んでいます...」が表示されるまで、【F11】を何度か押す

4 **「「Windows 7 再セットアップ」実行中の注意」が表示されたら、内容を確認し、「確認しました」をクリックして☑にしてから、「OK」をクリック**

「「Windows 7 再セットアップ」実行中の注意」の画面が表示されず、パソコンが通常のように起動してしまったときは、いったん電源を切り、手順2からやりなおしてください。
何度かやりなおしても通常のように起動してしまう場合は、【F11】を押すタイミングを変えたり、コントロールパネルから起動してください(p.117)。

5 **「Windows 7 再セットアップ」の画面が表示されたら、「再セットアップ」をクリック**

ここでバックアップを取りたい場合は「データを退避する(データファイナルレスキュー)」を選んでください。外付けハードディスクやUSBメモリーなどのUSB機器にバックアップを取る場合は、USB機器をUSBコネクタに接続し、バックアップが完了したら、再セットアップをおこなう前に取り外してください。

6 **「Cドライブのみ再セットアップ」をクリック**

7 **確認の画面が表示されたら、「はい」をクリック**

再セットアップが始まり、「イメージの復元」の画面が表示されます。
再セットアップが始まったら、画面に指示が表示されるまで、キーボードや電源スイッチなどに触れないでください。
「パソコンを再起動します。」の画面が表示されるまで、何も操作しないでください。操作画面を終了などすると、再セットアップに失敗するばかりでなく、再セットアップ領域自体が壊れてしまう可能性があります。

8 **「パソコンを再起動します。」の画面が表示されたら、「再起動」をクリック**

「再起動」をクリックして、パソコンが再起動したら、次の「8.Windowsの設定をする」へ進んでください。

チェック!!

通常、再セットアップをする場合は、市販の周辺機器をすべて取り外してください。

チェック!!

「バックアップ時の状態に戻す(おてがるバックアップ)」の項目は、パーティション単位の復旧専用です。この機能は、パソコンやハードディスクの知識を十分にお持ちのかたのみお使いください。

チェック!!

- 「Cドライブの領域を指定します」の画面が表示されたときは、「戻る」をクリックし、手順6からやりなおしてください。
- メモリースロットにメディアがセットされていると、再セットアップが途中で停止してしまうことがあります。再セットアップが途中で停止したときは、メモリースロットを確認し、メディアがセットされていたら取り外してください。
- 「パソコンを再起動します。」の画面が表示されなかったときは再セットアップが正常におこなわれていません。「7. システムを再セットアップする」の最初に戻り、操作をやりなおしてください。

8. Windowsの設定をする

このパソコンを買ったときと同じ、セットアップをもう一度おこないます。セットアップの手順については、『セットアップマニュアル』をご覧ください。
セットアップが終わっても、周辺機器の接続やバックアップしたデータの復元などの作業が必要です。セットアップが終わったら、このページに戻って、再セットアップを続けてください。

再セットアップ後、「Microsoft Office 2010」を最初に使用するとき

『セットアップマニュアル』の「Office 2010をご購入いただいたお客様へ」をご覧ください。

9. 市販の周辺機器(プリンタ、スキャナなど)を取り付けて設定しなおす

ご利用の周辺機器に添付のマニュアルを準備してから作業してください。

1 パソコンの電源を切る

2 取り外した周辺機器を取り付け、それぞれのセットアップや設定をおこなう

10. 市販のソフトをインストールしなおす

パソコンに市販のソフトをインストールしていた場合は、それぞれに添付のマニュアルにしたがってインストールをおこなってください。

11. バックアップを取ったデータを復元する

バックアップを取っておいたデータを復元してください。

1 「おてがるバックアップ」でバックアップしたデータを復元する

操作については、「バックアップしたデータを復元する」の「マイ データを復元する」(p.56)をご覧ください。

2 音楽データなどの著作権保護されたデータを復元する

音楽データなどをバックアップしたソフトなどで復元してください。

12. インターネット接続の設定などをやりなおす

再セットアップをおこなうと、インターネット接続の設定もやりなおす必要があります。プロバイダに接続するためのユーザー名やパスワードなどは、入会時に決まったものがそのまま使用できます。サインアップ(入会申し込み)をやりなおす必要はありません。
「インターネットに接続するには」(p.42)を参考にインターネット接続の設定をおこなってください。

チェック!!

PC98-NXシリーズメディアオーダーセンターで購入した再セットアップディスクを使って再セットアップした場合、「Microsoft Office 2010」はインストールされません。別途、「Microsoft Office 2010」のインストールが必要になります。詳しくは、ご購入された再セットアップディスクに添付のマニュアルをご覧ください。

メモ

ここでは、「Office Home & Business 2010」または「Office Personal2010」を「Microsoft Office 2010」と呼んでいます。

チェック!!

セットアップや設定の手順、パソコンの電源を入れるタイミングなどについては、各周辺機器に添付のマニュアルにしたがってください。

チェック!!

- 複数のユーザーのデータを復元する場合は、復元するユーザーアカウントがあらかじめ作成されている必要があります。作成していない場合は、控えておいたユーザー名をもとにユーザーアカウントを作成してください。
- 複数のユーザーのデータをバックアップしていた場合は、ユーザーごとにデータを復元する必要があります。「スタート」- ▷ -「ログオフ」の順にクリックして、別のユーザーで再ログオンし、ユーザーごとに復元の手順を繰り返してください。
- 「データファイナルレスキュー」で復元するときに、ユーザー名の変更や再セットアップが原因で、バックアップデータが別のユーザーのものと認識されると、復元時に「ご注意」ウィンドウが表示されます。この場合は、「ご注意」ウィンドウで「一時的に次のフォルダに復元する」を選択して復元をおこない、あとで「C: ¥ユーザー名」フォルダから必要なファイルを取り出して、正しい場所へ適用してください。
- 「おてがるバックアップ」について詳しくは、「おてがるバックアップ」(「ソフト&サポートナビゲーター」▶検索番号 94021121 で検索)をご覧ください。

13. Windowsやウイルス対策ソフトなどを最新の状態にする

必要に応じて、Windows UpdateやMicrosoft Update、その他のソフトのアップデートをおこなってください。また、ウイルス対策ソフトを最新の状態にしてください。
詳しくは、Windowsのヘルプや、各ソフトのヘルプおよびマニュアルをご覧ください。

これで再セットアップの作業は完了です。

Cドライブの領域を変更して再セットアップする

このパソコン内にあるCドライブとDドライブの領域を変更してから、Cドライブをご購入時の状態に戻します。

初心者のかたや、ハードディスクの知識があまりないかたは、「再セットアップする(Cドライブのみ)」(p.76)をご覧になり再セットアップをおこなうことを強くおすすめします。

Cドライブの領域サイズを変更できます(最低50Gバイト、1Gバイト単位)。
Cドライブの領域サイズは、最大でもハードディスク全体のサイズから再セットアップ用データを除いたサイズとなります。
Dドライブなどを含め、ハードディスクに保存されていたデータはすべて失われます。

●こんなことができます

・Cドライブのサイズを変更する

●こんなかたにおすすめ

・パソコンやハードディスクの知識を十分にお持ちのかた
・ハードディスクの領域を変更したいかた

再セットアップ手順

1 **「再セットアップする(Cドライブのみ)」(p.76)の「1.必要なものを準備する」〜「7.システムを再セットアップする」の手順1〜5までの作業をおこなう**

2 **「Cドライブの領域を自由に作成して再セットアップ」をクリック**

3 **「Cドライブの領域を指定します」の画面が表示されたら、Cドライブの領域の大きさを指定して「実行」をクリック**

以降の操作は、画面の表示内容をよく読みながら進めてください。

再セットアップ終了後の、Windowsの設定、周辺機器の再設定、インターネットの再設定などについては、「8.Windowsの設定をする」(p.80)以降の説明を参考にしてください。

チェック!!

・この方法で再セットアップをおこなうと、Cドライブだけでなく、Dドライブにあるデータも失われます。操作を始める前に、DVD-R、USB接続のハードディスクドライブなどに大切なデータのバックアップを取ってください。
・ご購入時の状態では、Dドライブ以外にバックアップを取れません。外付けのハードディスクドライブにバックアップを取るときは、別途、USB接続の外付けハードディスクドライブをご用意ください。
・Cドライブの領域を最大に設定して再セットアップをおこなうと、Dドライブのない構成になります。再セットアップ前にCドライブとDドライブで構成されていたハードディスクはCドライブのみになります。
・Windowsが起動しないなどの理由で、「データファイナルレスキュー」でDドライブにバックアップデータを作成した場合、一度Cドライブのみ再セットアップをおこなってから、DVD-RやCD-R、外付けハードディスクなどにバックアップデータを移動してください。
・ハードディスクの状態をご購入時から変更(パーティションの追加、削除など)した場合、この方法での再セットアップはできません。
・再セットアップディスクを使ってCドライブの領域を変更して再セットアップすると、ご購入時にNEC Recovery Systemに入っていた再セットアップ用データが失われます。
作成した再セットアップディスクを紛失・破損しないように、大切に保管してください。

再セットアップディスクを作成する

ここでは、再セットアップディスクの作成手順を説明します。

再セットアップディスクとは

再セットアップディスクは、ハードディスク内の「再セットアップ領域」(NEC Recovery System)に保存されている再セットアップ用データを、DVD-Rなどのディスクに移したものです。ご自分で作成する必要があります。
次のような専用のデータが使えない場合に備えて「再セットアップディスク」を作成しておくことをおすすめします。

- **ハードディスクの再セットアップ用データを削除した場合**
- **ハードディスクのデータを消去する場合**
- **「おてがるバックアップ」で「パソコン全体」、「ディスク、またはパーティション」をバックアップしたディスクを利用して、ハードディスクを復元する場合**

再セットアップディスクでできる再セットアップについては、「再セットアップディスクを使って再セットアップする」(p.86)をご覧ください。

チェック!!
通常は、「再セットアップする(Cドライブのみ)」(p.76)をご覧になり、ハードディスクから再セットアップしてください。

再セットアップディスクを作成する

このパソコンに入っている「再セットアップディスク作成ツール」を使って再セットアップディスクを作成します。
再セットアップディスクの作成には2〜3時間程度かかります(モデルやその他の条件によって時間は異なります)。

チェック!!
再セットアップディスクは、ご購入時の製品構成以外では、作成できないことがあります。

未使用のDVD-Rディスクを準備する

必要な枚数は、お使いのモデルによって異なります。「作成の手順」の手順2(p.85)で画面に表示される枚数を確認してください。作成にはDVD1枚につき最大約100分かかります。

- **必ず次の容量のディスクを用意してください。**
  DVD-Rディスクの場合:4.7G バイトのもの
  DVD-R(2層)ディスクの場合:8.5G バイトのもの
- **同じ種類のディスクを用意してください。**
- **次のディスクは使用できません。**
  CD-R、DVD+R、DVD+R(2層)、CD-RW、DVD-RW、DVD+RW、DVD-RAM

- **各機種用の再セットアップディスクを販売しています。お買い求めの際は、PC98-NXシリーズメディアオーダーセンターのホームページをご覧ください。**
  http://nx-media.ssnet.co.jp/

市販の周辺機器(プリンタ、スキャナなど)を取り外す

市販の周辺機器をすべて取り外してください。また、インターネットの通信回線との接続に使っているLANケーブルも取り外してください。ワイヤレスLANを使っているときは、ワイヤレスLAN機能をオフにしてください。

作成の手順を始める前に

ほかのソフトが起動していると、ディスクの書き込み中にエラーが発生することがあります。作成の手順を始める前に次の操作をおこなってください。

●スクリーンセーバーが起動しないようにする

次の手順で設定を変更します。

1.「スタート」-「コントロールパネル」をクリック
2.「デスクトップのカスタマイズ」をクリック
3.「スクリーンセーバーの変更」をクリック
4.「スクリーンセーバー」で「(なし)」を選び「OK」をクリック
5.「コントロールパネル」の x をクリック

●起動中のソフトをすべて終了する(ウイルス対策ソフトなどを含む)

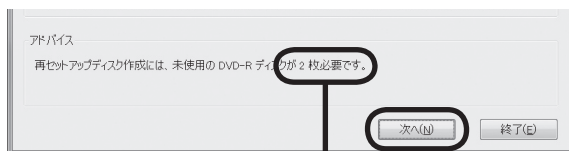
終了方法は、それぞれのソフトのヘルプなどをご覧ください。

チェック!!
ディスクの作成中は、省電力状態にしたり再起動したりしないでください。また、ログオフ、ユーザーの切り換え、ロックなどの操作をしないでください。

作成の手順

1 **「スタート」-「すべてのプログラム」-「再セットアップディスク作成ツール」-「再セットアップディスク作成ツール」をクリック**

2 **ディスクの種類を選び、必要なディスクの枚数を確認して、「次へ」をクリック**

必要な枚数は、お使いのモデルによって異なります。

ディスクの種類を選ぶと、必要な枚数がここに表示される

3 **設定内容を確認して、「次へ」をクリック**

一部のディスクの書き込みに失敗した場合などは、この画面で「作成開始ディスク」を選ぶと、途中から作成するように指定することもできます。

4 **用意したディスクをセットする**

アクセスランプが消えるまで待ってください。

5 **「作成開始」をクリック**

1枚目のディスクへの書き込みが始まります。書き込みにはしばらく時間がかかります。そのままお待ちください。

書き込みが完了すると、自動的にディスクが排出され、1枚目のディスクが作成されたことを知らせるメッセージが表示されます。

6 **「OK」をクリック**

7 **ディスクを取り出し、ディスクの種類と何枚目のディスクかわかるように記入する**

続けて、次のディスクをセットしてください。最後のディスクへの書き込みが終わるまで、同じ操作を繰り返します。

「再セットアップディスクを作成しました。」と表示されたら、「作成完了」をクリックしてください。

チェック!!

手順の途中で「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、「はい」をクリックしてください。

チェック!!

・「再セットアップ領域」(NEC Recovery System)に保存されている再セットアップ用データが削除されている場合は、メッセージが表示され、再セットアップディスクを作成できません。
再セットアップ用データは次のような場合に削除されます。
- 再セットアップディスクを使用して、Cドライブの領域を変更して再セットアップした場合
- 手動で再セットアップ領域を削除、または再セットアップ用データを削除した場合

チェック!!

・「書き込み速度」は、通常は「最速」を選んでください。DVD/CDドライブと用意したディスクの組み合わせで使用可能な最高速度で書き込みます。
・書き込みに失敗した場合は、「書き込み速度」を「中速」または「低速」にして、再度作成してください。

チェック!!

作成した再セットアップディスクは、紛失・破損しないように大切に保管してください。

再セットアップディスクを使って再セットアップする

再セットアップディスクを使ってできることを説明します。

●こんなことができます

- 「おてがるバックアップ」で作成したバックアップデータでハードディスクを復元
- Cドライブのみの再セットアップ
- Cドライブの領域を変更して再セットアップ
- Windowsが起動できないときにバックアップを取る
- パソコンを購入時の状態に戻す
- パソコンのハードディスクのデータを消去

それぞれについて詳しくは、次ページの「再セットアップディスクでできること」をご覧ください。

●こんなかたにおすすめ

- パソコンやハードディスクの知識を十分にお持ちのかた
- パソコンを購入時の状態に戻したいかた
- Cドライブの領域を最大にして利用したいかた
- パソコンをバックアップ時の状態に復元したいかた

再セットアップディスクでできること

通常、再セットアップはハードディスク内に準備されている専用のデータでおこないます。
ただし、「再セットアップディスクとは」(p.83)で記載したような専用データが使用できない場合でも、あらかじめ再セットアップディスクを作成しておくと、再セットアップをおこなうことができます。
再セットアップディスクを使って、ハードディスクのデータを消去することもできます。

参照

再セットアップディスクについて→「再セットアップディスクを作成する」(p.83)

おてがるバックアップ

「おてがるバックアップ」の「パソコン全体」、「ディスク、またはパーティション」で取ったバックアップデータを使ってハードディスクを復元することができます。

Cドライブのみ再セットアップ

Cドライブの領域のみ再セットアップをおこない、Dドライブの内容は再セットアップをおこなう前の状態のまま残します。「再セットアップする(Cドライブのみ)」(p.76)で説明している内容と同じです。

Cドライブの領域を自由に作成して再セットアップ

Cドライブの領域サイズを変更できます(最低50Gバイト、1Gバイト単位)。Cドライブの最大の領域サイズは、ハードディスク全体のサイズになります。
Dドライブを含め、それまでにハードディスクに保存されていたデータはすべて失われます。

データファイナルレスキュー

Windowsが起動できない場合にバックアップを取ります。「Windowsを起動できないときにデータのバックアップを取る」(p.90)で説明している内容と同じです。

ハードディスクをご購入時の状態に戻して再セットアップ

Cドライブをご購入時の状態に復元して再セットアップをおこないます。再セットアップディスクの内容をハードディスクにコピーして、ハードディスクから再セットアップできるようにします。そのため、この方法での再セットアップには2時間〜3時間程度かかります。Cドライブの領域を自由に作成して再セットアップした後で、ハードディスクの領域をご購入時の状態に戻したいときに利用します。

チェック!!

- この方法で再セットアップすると、それまでのハードディスクの内容はCドライブ、Dドライブともにすべて失われます。
- 再セットアップを始める前に、DVD-RやUSB接続の外付けハードディスクドライブなどに大切なデータのバックアップを取ってください。
- Windows が起動しないなどの理由で、「データファイナルレスキュー」でDドライブにバックアップデータを作成した場合、一度Cドライブのみ再セットアップをおこなってから、CD-R/RWディスクなどにバックアップデータを移動してください。

ハードディスクのデータ消去

このパソコンのハードディスクのデータ消去をおこないます。ハードディスクに一度記録されたデータは、「ごみ箱」から削除したり、フォーマットしても復元できる場合があります。このメニューを選択すると、Windows 7標準のハードディスクのフォーマット機能では消去できないハードディスク上のデータを消去し、復元ツールで復元されにくくします。このパソコンを譲渡や廃棄する場合にご利用ください。
消去にかかる時間は、ご利用のモデルによって異なります。
また、ハードディスクのデータ消去方式は次の3つの方式があります。

●かんたんモード(1回消去)

ハードディスク全体を「00」のデータで1回上書きします。

●しっかりモード(3回消去)

米国国防総省NSA規格準拠方式により、ハードディスクのデータ消去をおこないます。ランダムデータ1、ランダムデータ2、「00」のデータの順に3回書き込みをおこないます。3回消去をおこなうことにより、より完全にハードディスクに保存されていたデータを消去できます。ただし、3回書き込みをおこなうため、かんたんモードの3倍の時間がかかります。

●しっかりモードプラス(3回消去+検証)

米国国防総省DoD規格準拠方式により、ハードディスクのデータ消去をおこないます。「00」、「FF」、「ランダムデータ」の順に3回書き込みをおこない、最後に正常にランダムデータが書き込まれているかを検証します。3回消去をおこなうことにより、より完全にハードディスクに保存されていたデータを消去できます。ただし、3回の書き込みと検証をおこなうため、かんたんモードの4倍以上の時間がかかります。

参照

パソコンの処分について→「パソコンの売却、処分、改造について」(p.126)

チェック!!

・ハードディスクのデータを消去する前に、BIOS(バイオス)の設定を初期値に戻してください。手順について詳しくは、PART4の「パソコンの使用環境を変更したら、Windowsが起動しない」(p.109)をご覧ください。なお、BIOSの初期値を変更していないときは、この操作は不要です。
・どの方法でも、ハードディスクのデータ消去は、データの復元が完全にできなくなることを保証するものではありません。
・データを消去するときは、電源を切った状態でバッテリパックなどの消耗品を外し、必ずACアダプタを接続してください。
・データ消去方式を選択する画面に、お使いのハードディスクの容量と100Gバイトあたりのデータの消去にかかる目安時間が表示されます。

再セットアップディスクを使った再セットアップ手順

1 作成した再セットアップディスクを用意する

2 「再セットアップする(Cドライブのみ)」(p.76)を読み、「1.必要なものを準備する」から「6.市販の周辺機器(プリンタ、スキャナなど)を取り外す」までの作業をおこなう

3 パソコン本体の電源を入れる

4 電源ランプが点灯したら、すぐに再セットアップディスク(1枚目)をセットする

5 「「Windows 7 再セットアップ」実行中の注意」が表示されたら、内容を確認し、「確認しました」をクリックして☑にしてから、「OK」をクリック

「「Windows 7 再セットアップ」実行中の注意」の画面が表示されず、パソコンが通常の状態で起動したときは、再セットアップディスクをセットしたまま、パソコンを再起動してください。

チェック!!

再セットアップを始めたら、途中でやめたりせず、手順どおり最後まで操作してください。やむをえず中断したときは、最初から操作をやりなおしてください。

チェック!!

通常、再セットアップをする場合は、市販の周辺機器をすべて取り外してください。

6 **「Windows 7再セットアップ」の画面が表示されたら、「再セットアップ」をクリック**

ディスクを交換する指示が表示されたら、再セットアップディスクを順番にセットしてください。

ここでバックアップを取る場合は「データを退避する(データファイナルレスキュー)」を選んでください。外付けハードディスクやUSBメモリーなどのUSB機器にバックアップを取る場合は、USB機器をUSBコネクタに接続し、バックアップが完了したら、再セットアップをおこなう前に取り外してください。

7 **目的の再セットアップのボタンをクリック**

8 **以降は、画面の指示にしたがって操作する**

「再セットアップ」を選んだ場合は、再セットアップが始まり、「イメージの復元」の画面か、再起動を求める画面が表示されます。

再セットアップが始まったら、画面に指示が表示されるまで、キーボードや電源スイッチなどに触れたり、ディスクを取り出したりしないでください。

ディスクを交換する指示が表示されたら、再セットアップディスクを順番にセットしてください。

「パソコンを再起動します」の画面が表示されたら、ディスクを取り出し、「再起動」をクリックしてください。パソコンが再起動して「Windowsのセットアップ」の画面が表示されます。

9 **「8.Windowsの設定をする」(p.80)以降の説明を参考に、Windowsの設定、周辺機器の再設定、インターネット接続の再設定などをする**

「13.Windowsやウイルス対策ソフトなどを最新の状態にする」の操作まで終わったら、再セットアップの作業は完了です。

「パソコンを再起動します」の画面が表示されなかったときは、再セットアップが正常におこなわれていません。最初からやりなおしてください。

Windowsを起動できないときにデータのバックアップを取る

Windowsが正常に起動しないときでも、「データファイナルレスキュー」でデータのバックアップを取ることができます。

データファイナルレスキューでできること

通常、データのバックアップは再セットアップをおこなう前に取ります。しかし、障害などが原因でWindowsを起動できない場合があります。その場合は、「データファイナルレスキュー」でバックアップを取ってください。
バックアップ先には、パソコンのハードディスク内(Dドライブ)のほか、外付けハードディスクやUSBメモリーを指定することができます。

バックアップ先に外付けハードディスク／USBメモリーを指定する場合のご注意

バックアップ先に外付けハードディスク／USBメモリーを指定する場合、次のことにご注意ください。

- 外付けハードディスクは、USB接続のもののみ利用できます。
- データファイナルレスキュー上では、外付けハードディスク／USBメモリーのフォーマットはできません。あらかじめWindows上でフォーマットや空き容量を確保しておいてください。
- 複数の外付けハードディスク／USBメモリーにデータを分割してのバックアップはできません。
- 外付けハードディスク／USBメモリーの空き容量を超えるサイズのファイルはバックアップされません。
- バックアップ処理中は、外付けハードディスク／USBメモリーを抜かないでください。また、バックアップ終了後は外付けハードディスク／USBメモリーを必ず抜き、接続したままパソコンを起動しないでください。
- 外付けハードディスク／USBメモリー自体で暗号化/セキュリティ機能を備えたもの(OS起動前でも認証可能なもの)は、データファイナルレスキュー起動前にあらかじめ認証を完了させておく必要があります。

次のような外付けハードディスク／USBメモリーは、バックアップ先として指定できません。

・ パソコンへ接続した際に、OS上でパスワード入力や指紋照合などの認証を求められるもの。
・ 自動暗号化/自動セキュリティ機能が動作するもの。
・ パソコンに外付けハードディスク／USBメモリーをあらかじめ登録することで、次回以降のパスワード入力が省略できるもの。

※これらの外付けハードディスク／USBメモリーを使用した場合でも、「バックアップ先」のリストボックスに接続した機器が表示されますが、[空き容量]ボタンをクリックしたときに、空き容量が0バイトと表示され、バックアップすることができません。

データファイナルレスキューを使ったバックアップ手順

次の手順で操作してください。

1 **パソコン本体の電源を入れる**

2 **NECのロゴマークが表示されたら、「ファイルを読み込んでいます...」が表示されるまで、【F11】を何度か押す**

3 **「「Windows 7 再セットアップ」実行中の注意」が表示されたら、内容を確認し、「確認しました」をクリックして☑にしてから、「OK」をクリック**

パソコンが通常のように起動してしまったときは、いったん電源を切り、手順1からやりなおしてください。
何度かやりなおしても通常のように起動してしまう場合は、【F11】を押すタイミングを変えたり、コントロールパネルから起動してください(p.117)。

4 **「Windows 7再セットアップ」の画面が表示されたら、「データを退避する(データファイナルレスキュー)」をクリック**

5 **外付けハードディスクやUSBメモリーなどのUSB機器にバックアップを取りたい場合は、USB機器をUSBコネクタに接続する**

6 **「データファイナルレスキュー」の画面が表示されたら、バックアップしたい「バックアップ タイトル」に☑が付いていることを確認して、「次へ」をクリック**

バックアップしたい「バックアップタイトル」が☐のときは、クリックして☑を付けてください。

チェック!!

・ データファイナルレスキューでは、インターネット設定のバックアップを取ることはできません。
・ 音楽データなどの著作権保護されたデータは、バックアップを取ることができません。
・ バックアップ先にSDメモリーカードは指定できません。スロットにSDメモリーカードが差し込まれている場合は、取り外してください。

チェック!!

・ バックアップが取れるのは、この画面で☑が付いているデータだけです。この画面で、「追加」をクリックすると、ほかのデータを登録できます。
・ 「Windows Live メール」に☑を付けても、Windows Live メールのアドレス帳のバックアップは取れません(メールアカウントとメールメッセージのバックアップは取れます)。

7 **「ユーザーとバックアップ先の指定」が表示されたら、バックアップするユーザーを選び、どこにバックアップを取るかを選んで「次へ」をクリック**

接続している外付けハードディスクやUSBメモリーなどのUSB機器が「バックアップ先」のリストボックスに表示されていない場合は、いったん「戻る」をクリックして「バックアップタイトルの選択」画面に戻り、「次へ」をクリックして再度「ユーザーとバックアップ先の指定」画面にすすんでください。
「セキュリティ機能を使用する」を ☑ にすると、バックアップファイルをパスワードで保護することができます。
セキュリティ機能を使用してデータのバックアップを取る場合は、パスワードを控えてください。パスワードを忘れると復元できなくなります。

8 **バックアップする内容を確認して「実行」をクリック**

バックアップが始まります。完了までにしばらく時間がかかります。

9 **「バックアップの完了」と表示されたら、バックアップユーザー名を控えてから「完了」をクリック**

10 **「「データを退避する」が終了しました。」と表示されたら、「戻る」をクリック**

11 **複数のユーザーを設定している場合は、すべてのユーザーのバックアップが終わるまで手順4〜10を繰り返す**

外付けハードディスクやUSBメモリーなどのUSB機器にバックアップをした場合は、USB機器を取り外してください。
「Windows 7再セットアップ」の最初の画面に戻ります。「再セットアップ」をクリックして再セットアップをおこなってください。

チェック!!

・ 標準の状態では、パソコンのハードディスク内にあるDドライブという場所にデータの控えが作成されるようになっています。再セットアップの際にCドライブの領域を変更する場合には、Dドライブのデータも消えてしまうため、外付けハードディスクドライブやUSBメモリーにデータのバックアップを取る必要があります。バックアップ先を変更するには、「ユーザーとバックアップ先の指定」の画面でバックアップ先の場所を指定します。
・ 外付けのハードディスクドライブにバックアップを取るときは、別途、市販の外付けハードディスクドライブをご用意ください。
・ バックアップ先にUSBメモリーを指定する場合、「バックアップ先」の「USBメモリー」のリストボックスに複数のドライブが表示されているときは、「空き容量」をクリックし、空き容量が0バイトとなっていないドライブを選択してください。
・ 自動暗号化機能などを搭載した外付けハードディスク／USBメモリーは、「バックアップ先」のリストボックスに接続している機器が表示されても、[空き容量]ボタンをクリックしたときに、空き容量が0バイトと表示され、バックアップすることができません。

チェック!!

・ Dドライブにバックアップを取った後は、Cドライブのみ再セットアップをおこなってください。そのほかの方法で再セットアップをおこなうと、Dドライブに作成したバックアップデータが消去されてしまう可能性があります。
・ Cドライブのみ再セットアップする手順について詳しくは、「再セットアップする(Cドライブのみ)」(p.76)をご覧ください。

データファイナルレスキューでバックアップしたデータを復元する

「データファイナルレスキュー」でバックアップしたデータは、以下の手順で復元できます。ここでは、例として、パソコンのDドライブにバックアップを取った場合について説明しています。

1 **「スタート」-「すべてのプログラム」-「アクセサリ」-「ファイル名を指定して実行」をクリック**

2 **名前に「D:¥BackupRanger¥BackupUtMini.exe」と入力し、「OK」をクリック**

3 **「免責事項と注意事項の確認」画面が表示されたら、内容を確認し、「同意する」をクリックしてにして「次へ」をクリック**

4 **「バックアップファイル」から、復元したいバックアップファイルを選択して「次へ」をクリック**

「バックアップファイル」には、データファイナルレスキューでバックアップを取ったバックアップデータが表示されます。

5 **復元したい「バックアップタイトル」にが付いていることを確認して、「次へ」をクリック**

復元したい「バックアップタイトル」がのときは、クリックしてを付けてください。

6 **「復元の開始」画面で、「はい」をクリック**

データの復元が始まります。完了までにしばらく時間がかかります。

7 **「復元の完了」と表示されたら「完了」をクリック**

「復元結果の表示」をクリックすると、復元されたファイルの一覧を確認することができます。

これで、データファイナルレスキューで作成したバックアップデータによる復元は完了です。

チェック!!

手順の途中で「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、「はい」をクリックしてください。

チェック!!

- 外付けハードディスクなどにバックアップを取った場合は、「(外付けハードディスクのドライブ)¥BackupRanger」フォルダに復元するためのプログラムが作られます。外付けハードディスクをパソコンに接続した後、管理者権限を持つユーザーでログオンしてからプログラムを実行してください。このプログラムは、Windows 7、Windows Vista以外のOSでは動作しません。
- セキュリティ機能を使用してバックアップを取ったバックアップデータを選択した場合、「セキュリティ機能」画面が表示されます。バックアップ時に設定したパスワードを入力し「OK」をクリックしてください。

チェック!!

- 特定のファイルを復元したい場合は、「バックアップタイトル」をクリックした後、下に表示されるフォルダとファイルの一覧の中から、復元したいファイルにを付けてください。
- 一度に複数のバックアップタイトルやファイルを復元することもできます。

チェック!!

- データファイナルレスキューでバックアップを取ったユーザーと、復元をおこなうユーザーが異なる場合、注意画面が表示されます。バックアップ時と同じ場所へ復元してもよい場合には、「バックアップ時と同じ場所へ復元する」を選択してください。
- 標準ユーザーのバックアップデータを復元するときには、「バックアップ時と同じ場所へ復元する」を選択してください。

PART

4

トラブル解決 Q&A

パソコンを使っていてトラブルが起きたときは、このPARTで説明しているQ&A事例の中からあてはまる項目を探してみてください。
パソコンが使える場合は、電子マニュアル「ソフト＆サポートナビゲーター」の「困ったら見る」もあわせてご覧ください。
テレビの視聴に関するQ&Aは、『テレビを楽しむ本』の「Q&A」をご覧ください。

トラブル解決への道

トラブル解決の秘訣は、冷静になることです。何が起こったのか、原因は何か、落ち着いて考えてみましょう。
パソコンから煙が出たり、異臭や異常な音がしたり、手で触れないほど熱かったり、その他パソコンやディスプレイ、ケーブル類に目に見える異常が生じた場合は、すぐに電源を切り、電源コードのプラグやACアダプタをコンセントから抜き、バッテリパックを取り外して、NECにご相談ください。

1 まずは、状況を把握する

◇しばらく様子を見る

あわてて電源を切ろうとしたり、キーボードのキーを押したりせず、しばらくそのまま待ってみましょう。パソコンの処理に時間がかかっているだけかもしれないからです。
パソコンのディスプレイに何かメッセージが表示されているときは、そのメッセージを紙に書き留めておきましょう。原因を調べるときや、ほかの人やサポート窓口などへの質問の際に役立つ場合があります。

◇原因を考えてみる

トラブルが発生する直前にどのような操作をしたか、操作を間違えたりしなかったか、考えてみましょう。電源を入れ忘れていた、ケーブルが抜けていた、必要な設定をし忘れていたなど、意外に単純な原因である場合も多いのです。

◇操作をキャンセルしてみる

たとえばソフトを使っていて障害が起きたとき、「元に戻す」「取り消し」「キャンセル」などの機能があったら、それを使ってみてください。

◇Windowsをいったん終了してみる

いったんWindowsを終了して、もう一度電源を入れなおしただけで問題が解決する場合があります。

2 当てはまるトラブル事例がないか、マニュアルで探してみる

◇このPART「トラブル解決 Q&A」
◇このパソコンに入っている電子マニュアル「ソフト&サポートナビゲーター」の「困ったら見る」
◇使用中のソフトや周辺機器のマニュアル
◇Windowsの「ヘルプとサポート」

3 インターネットでトラブル事例を探してみる

◇NECのパーソナル商品総合情報サイト「121ware.com」

http://121ware.com/support/

◇マイクロソフトサポート技術情報

Windows 7に関する問題の解決策や修正プログラムが公開されています。
http://support.microsoft.com/fixit

◇ソフトや周辺機器の開発元のホームページ

お使いのソフトや周辺機器のメーカーのホームページでも、Q&A情報が提供されている場合があります。

それでも駄目なら、サポート窓口に電話する

どうしても解決できないときは、サポート窓口に問い合わせてみましょう。トラブルの原因がソフトや周辺機器にあるようならば、それぞれの開発元に問い合わせます。NECサポート窓口(121コンタクトセンター)については、『セットアップマニュアル』をご覧ください。

「ソフト&サポートナビゲーター」でトラブル解決

パソコンのトラブルを解決するのに役立つのは、このマニュアルだけではありません。このパソコンに入っている電子マニュアル「ソフト＆サポートナビゲーター」を活用してください。

「ソフト＆サポートナビゲーター」の使い方

●起動方法

タスクバーの アイコンをクリック

次に「ソフト＆サポートナビゲーター」の「困ったら見る」をクリック

●使い方

画面左の「困ったときには」を選択し、起きているトラブルをクリック。画面を見ながら解決方法を確認していきます。

このパソコンの機能や機器の増設情報も

「ソフト＆サポートナビゲーター」は、トラブル解決だけでなく、このパソコンのソフトや機能についての情報も数多く掲載しています。
特に「機能を知る」では、省電力機能/表示機能/サウンド機能などの機能や、各種コネクタ類の説明など機器増設の際に必要な情報を紹介しています。

パソコンの様子がおかしい

パソコンが異常に熱をもったとき、変なにおいがしたときなど、様子がおかしいと思ったらここをご覧ください。いきなり電源コードのプラグを抜いたりせず、落ち着いて対処しましょう。

パソコンの様子がおかしい。煙や異臭、異常な音がしたり、手で触れないほど熱い。パソコンやケーブル類に目に見える異常が生じた

すぐに電源を切って、電源コードのプラグをコンセントから抜き、バッテリパックを取り外して、NECサポート窓口(121コンタクトセンター)にお問い合わせください。
電源が切れないときは、パソコン本体の電源スイッチを4秒以上押し続けてください。

☹➡☺ ピーッというエラー音がした

ハードディスクの障害の可能性があります。メッセージや症状を書き留め、NECサポート窓口(121コンタクトセンター)へお問い合わせください。

参照
NECサポート窓口(121コンタクトセンター)のお問い合わせ先→『セットアップマニュアル』

パソコンを使っているとカリカリと変な音がする

パソコンの電源を入れた状態で、なにも作業をしていないときに、ハードディスクが自動的に動作することがあります。これはパソコンが自動的にデータの保存などの作業をしているためで、問題ありません。
また、ハードディスクの空き容量が少ないときや、ハードディスク上のデータの断片化が激しいときは、ハードディスクの動作に負担がかかり、ハードディスクのアクセス音がしばらく続くことがあります。このようなときは「ディスク デフラグ」や「ディスク クリーンアップ」を実行してください。
それでも、あまりにも異常な音がするときや、このような状態が頻繁に続くときは、NECサポート窓口(121コンタクトセンター)にお問い合わせください。

メモ
データの断片化とは、データがハードディスクの空いているところに、バラバラに保存される状態をいいます。

参照
NECサポート窓口(121コンタクトセンター)のお問い合わせ先→『セットアップマニュアル』

ファンの音が大きい

パソコンの内部には、パソコンの温度が上がりすぎないようにするファン(換気装置)があります。
ファンは内部温度を検知して回り、パソコン内部の温度を下げます。パソコンの起動時や多くの処理を同時におこなっているときには、内部温度が上がるためファンの音が大きくなることがありますが、故障ではありません。
また、通風孔にほこりがたまってしまうと、パソコン内部の冷却能力が低下し、ファンの音が大きくなることがあります。その場合は付録の「パソコンのお手入れ」をご覧になり、通風孔を清掃してください。
あまりにも異常な音がするときは、NECサポート窓口(121コンタクトセンター)にお問い合わせください。

パソコンが熱をもっている

パソコンの起動時や多くの処理を同時におこなっているときには、内部温度が上がることがありますが、故障ではありません。
また、通風孔にほこりがたまってしまうと、パソコン内部の冷却能力が低下し、内部温度が高くなることがあります。その場合は付録の「パソコンのお手入れ」をご覧になり、通風孔を清掃してください。
あまりにもパソコンが熱いときは、NECサポート窓口(121コンタクトセンター)へお問い合わせください。

参照
NECサポート窓口(121コンタクトセンター)のお問い合わせ先→『セットアップマニュアル』

急に動かなくなった、フリーズした

ソフトや周辺機器に異常が発生すると、どんな操作をしてもパソコンやソフトが反応しなくなることがあります(この状態をフリーズ、またはストール、ハングアップといいます)。このような場合は、次の操作をおこなってください。

異常が起きているソフトを終了させる

ソフトで編集していた文書、画像などのデータは保存できません。

1. **【Ctrl】と【Alt】を押しながら【Delete】を押す**
2. **表示された画面で、「タスクマネージャーの起動」をクリック**
   「Windows タスクマネージャー」の画面が表示される
3. **「アプリケーション」のタブをクリック**

チェック!!
動作が止まっているように見えても、実はパソコンが処理するのに時間がかかっているだけということがあります。あわてる前に、画面の表示状態や内蔵ドライブアクセスランプ()が点灯していないかなどをよく確認しましょう。

メモ
画面が突然真っ暗になったときには、パソコンが省電力状態になったことが考えられます。省電力状態から復帰するには、電源スイッチを押します。詳しくは「ディスプレイに何も表示されない」(p.105)をご覧ください。

4 右側に「応答なし」と表示されているソフト(アプリケーション)をクリックして、「タスクの終了」をクリック

この方法でソフトが終了できなかったり、終了できても、正しい電源の切り方で電源が切れないときは、次の操作をおこなってください。

強制的に電源を切る

1 パソコン本体の電源スイッチを、電源が切れて電源ランプが消えるまで押し続ける

通常、4秒以上押し続けるとパソコンの電源が切れます。

2 5秒以上待ってから、電源スイッチを押す

パソコンの電源が入ります。「Windowsエラー回復処理」が表示された場合は、そのまましばらくお待ちください。そのほかのメッセージが表示された場合は、メッセージにしたがってください。

3 Windowsが起動したら、「スタート」をクリック

4 「シャットダウン」をクリック

パソコンの電源が切れます。

この方法で電源が切れないときは、もう一度4秒以上パソコンの電源スイッチを押し続けてください。

それでも症状が改善しない場合は、NECサポート窓口(121コンタクトセンター)にご相談ください。NECサポート窓口(121コンタクトセンター)については『セットアップマニュアル』をご覧ください。

チェック!!

・「Windows タスクマネージャー」の画面が表示されるまで時間がかかる場合があります。表示されない場合は、しばらくお待ちください。
・ソフトで編集していた文書、画像などのデータは保存できません。

チェック!!

頻繁に強制終了をおこなうとハードディスクが故障することがあります。

チェック!!

うまく起動できなかった場合は、「PART3 再セットアップ」(p.71)をご覧になり、システムの復元または再セットアップをおこなってください。

キーボード、NXパッド

キーボードやNXパッドが正しく動作しなかったり、反応しないときはここをご覧ください。

キーボードのキーを押しても、NXパッドに触れても反応しない、反応が悪い

☹➡☺ マウスポインタが◎の形に変わっていませんか?

マウスポインタが◎の形になっているときは、パソコンが処理をしているので、キーボードやNXパッドの操作が受け付けられない場合があります。処理が終わるまで待っていてください。

☹➡☺ しばらく待ってもキーボードやNXパッドの操作ができないとき

ソフトや周辺機器に異常が発生して動かなくなった(フリーズした)ものと考えられます。「急に動かなくなった、フリーズした」(p.99)をご覧になり、異常が起きているソフトを強制終了してください。このとき、保存していなかったデータは失われます。

NXパッドが反応しない、または反応が鈍い

☹➡☺ 指先やNXパッドが汚れていませんか？

指先やNXパッドに水分や油分がついていると、正常に動作しません。汚れをふき取ってから操作してください。

☹➡☺ NXパッドの2か所以上に同時に触れていませんか？

NXパッドの2か所以上に同時に触れていると、正常に動作しません(マルチタッチ・ジェスチャーでの操作を除く)。1か所だけに触れるようにしてください。

チェック!!

動作が止まったように見えても、実はパソコンが処理するのに時間がかかっているだけということがあります。画面表示や内蔵ドライブアクセスランプ()が点灯していないかをよく確認して、動作中は電源を切ったりしないでください。

キー入力をしながらNXパッドを操作しようとしていませんか？

ご購入時の設定では、誤動作防止のため、キー入力時のNXパッドのタップ操作ができないようになっています。キー入力が終わってからNXパッドを操作するか、次の手順で設定を変更してください。

1 「スタート」-「コントロールパネル」-「ハードウェアとサウンド」-「マウス」をクリック
「マウスのプロパティ」が表示されます。

2 「タッピング」タブの「タイピング」の「キー入力時タップを無効にする」のチェックを外す

3 「OK」をクリック

これで、キー入力時にNXパッドを操作できるようになります。

USBマウスを接続していませんか？

ご購入時の状態では、USBマウスを接続するとNXパッドの機能が無効になるように設定されています。USBマウスを外すか、次の手順でNXパッドを有効にする設定を変更して、USBマウス接続時にもNXパッドの操作ができるようにしてください。

1 「スタート」-「コントロールパネル」-「ハードウェアとサウンド」-「マウス」をクリック
「マウスのプロパティ」が表示されます。

2 「USBマウス接続時の動作」タブをクリック

3 「USBマウスと同時に使用する」を選ぶ

4 「OK」をクリック

これで、NXパッドが有効になります。

キーボードに飲み物をこぼしてしまった

キーボードだけでなく、パソコン内部に飲み物が入ると、パソコンの故障の原因になります。すぐに電源を切って、電源コードのプラグをコンセントから抜き、バッテリパックを取り外して、NECサポート窓口（121コンタクトセンター）にお問い合わせください。

メモ

ジュースなどをこぼしたときは、きれいにふき取っても内部に糖分などが残り、キーボードやパソコンが故障することがあります。また、パソコンのそばで、飲食、喫煙をすると、飲食物やタバコの灰がパソコン内部に入り、故障の原因になりますのでご注意ください。

参照

・キーボードのお手入れ→付録の「パソコンのお手入れ」（p.121）
・NECサポート窓口（121コンタクトセンター）のお問い合わせ先→『セットアップマニュアル』

電源のトラブル

電源を入れたとき、電源を切ろうとしたときにトラブルが発生したときは、こちらをご覧ください。

電源スイッチを押しても電源が入らない

まれに、パソコン本体が帯電し、電源スイッチを押しても電源が入らない状態になることがあります。次の操作をおこない、放電してみてください。

1 電源コードのプラグをコンセントから抜き、バッテリパックを取り外す

バッテリパックの取り外し方については、『セットアップマニュアル』をご覧ください。

2 そのまま90秒放置した後、バッテリパックを取り付け、電源コードを正しく接続しなおす

3 パソコン本体の電源スイッチを押して、電源を入れる

この操作をおこなってもパソコンの電源が入らない場合は、パソコン本体の故障が考えられます。NECサポート窓口(121コンタクトセンター)にお問い合わせください。

チェック!!

放電を確実におこなうため、電源コードはしばらくコンセントから抜いたままにしておいてください。

参照

NECサポート窓口(121コンタクトセンター)のお問い合わせ先→『セットアップマニュアル』

電源が切れない。強制的に電源を切りたい

通常の方法で電源が切れないときは、ソフトに異常が起きていると考えられます。「急に動かなくなった、フリーズした」(p.99)をご覧になり、異常が起きているソフトを終了してください。それでも電源が切れないときは、「強制的に電源を切る」(p.100)の操作をおこなってください。

パソコンの電源が勝手に入ってしまう

「おてがるバックアップ」で、バックアップのスケジュール設定をしている場合、バックアップのためにパソコンが自動起動することがあります。

また、ワイヤレスTVデジタル添付モデルの場合は、予約の実行や番組表を自動取得する前にパソコンが自動的に起動して、予約や番組表取得に備えます。

ご購入時の状態では、番組表の受信のため、毎日午前10時にパソコンが自動的に起動します。起動タイミングについて詳しくは、『テレビを楽しむ本』をご覧ください。

そのほか、インターネットからWindowsのモジュール(ドライバやソフトなどの更新プログラム)をダウンロードしてアップデートする際など、設定によってはパソコンが自動的に再起動するため、勝手に電源が切れたり入ったりするように見えることもあります。

パソコンの電源が勝手に切れる

このパソコンは、ご購入時の状態では、一定の時間何も操作しないと自動的に省電力状態(スリープ状態)になるように設定されています。省電力機能の設定を確認してください。省電力機能について詳しくは、「省電力機能について」(「ソフト&サポートナビゲーター」▶検索番号 93160010 で検索)をご覧ください。

ワイヤレスTVデジタル添付モデルの場合、ご購入時の状態では、予約実行後にスリープ状態になります。

いずれの場合も、電源が切れたわけではありません。

ディスプレイに何も表示されない

パソコンの電源を入れたときにディスプレイに何も表示されないときや、パソコンを使っていて画面が真っ暗になったときは、パソコン本体の電源ランプの状態を確認してください。

パソコン本体の電源ランプが消えているとき。または、点滅しているとき

パソコン本体の電源スイッチを押してください。

画面が表示されるときは、電源が切れていたか、パソコン本体の省電力機能が働いて省電力状態になっていたものと考えられます。
このパソコンは、ご購入時には一定の時間何も操作しないと自動的に省電力状態になるように設定されています。

パソコン本体の電源コードなどは正しく接続されていますか？

一度、電源コードのプラグをコンセントから抜き、『セットアップマニュアル』をご覧になり、もう一度パソコンの各ケーブルを接続しなおしてください。
電源コードなどすべてのケーブルを正しく接続しなおして、電源を入れても本体の電源ランプが点灯しないときは、パソコン本体の故障が考えられます。NECサポート窓口(121コンタクトセンター)にお問い合わせください。

バッテリパックは正しく取り付けられていますか？

『セットアップマニュアル』をご覧になり、もう一度バッテリパックの取り付け状態を確認してください。

バッテリは十分充電されていますか？

電源コードのプラグをコンセントに接続していない状態でバッテリ容量が不足していると、パソコンの電源は入りません。電源コードのプラグをコンセント接続して使うか、バッテリを充電してから使ってください。電源コードのプラグをコンセントに接続してから電源を入れても電源ランプが点灯しないときは、パソコンの故障が考えられます。NECサポート窓口(121コンタクトセンター)へお問い合わせください。

チェック!!

電源が入っているとき(省電力状態のときも含む)に、4秒以上電源スイッチを押し続けると強制的に電源が切れてしまうので注意してください。強制的に電源を切るともとの状態に復帰できなくなることがあります。

参照

NECサポート窓口(121コンタクトセンター)のお問い合わせ先→『セットアップマニュアル』

パソコン本体の電源ランプが青色に点灯しているとき

キーボードのキー(【Shift】など)を押すか、NXパッドに触れてみてください。

画面が表示されるときは、ディスプレイの省電力機能が働いていたものと考えられます。

休止状態の間に、コンピュータの設定を変更したり周辺機器などの接続を変更しませんでしたか？

休止状態のときに周辺機器を接続したり、接続されていた周辺機器を取り外したりすると、Windowsが起動しなくなることがあります。その場合は、周辺機器の接続をもとの状態に戻して電源スイッチを押してください。

ディスプレイの輝度(明るさ)が低くなっていませんか？

「ディスプレイ・画面の表示機能」(「ソフト＆サポートナビゲーター」▶検索番号 93180010 で検索)をご覧になり、画面の輝度を調節してください。

外部ディスプレイを接続していませんか？

外部ディスプレイを接続し、画面の出力先を外部ディスプレイに設定しているときは、パソコンの液晶ディスプレイには画面が表示されません。
画面を表示させるには、キーボードの【Fn】＋【F3】または【】＋【P】を押すか、設定画面で画面の出力先を変更してください。手順については、「ディスプレイ・画面の表示機能」(「ソフト＆サポートナビゲーター」▶検索番号 93180010 で検索)をご覧ください(出力先を設定画面で変更すると、変更後の画面に設定の確認メッセージが表示されます。そのまま何も操作しないと画面の出力先は変更前の状態に戻ります。いったんパソコンの電源を切り、接続している外部ディスプレイを外してから起動すると、画面の出力先は自動的にパソコンの液晶ディスプレイに変更されます)。
また、接続している外部ディスプレイとの接続や電源が入っていることも、あわせて確認してください。

「Windows 拡張 オプション メニュー」が表示された

「セーフ モード」を選んで、【Enter】を押し、Windowsをセーフモードで起動します。
セーフモード(トラブル修復用の起動状態)で起動すると画面のデザイン、配色や解像度などが通常とは異なりますが、必要最低限の機能は使えるようになります。
「スタート」-▷-「再起動」をクリックし、再起動して問題がなければ、もとの状態に戻ります。
セーフモードで起動できなかった場合や、再起動しても問題が解決しなかった場合は、システムに障害が発生している可能性があります。「PART3 再セットアップ」(p.71)をご覧になり、システムの復元または再セットアップをおこなってください。

パソコンの電源を入れると、NECロゴが表示された後、画面がまっくらになる

電源を入れると、「NEC」ロゴが表示された後、画面がまっくらになるときは、「セーフモード(トラブル修復用の起動状態)でパソコンを起動してみる」(p.73)をご覧になり、パソコンを「セーフモード」で起動してみてください。

「オペレーティングシステムの選択」が表示された

「Microsoft Windows 7 Home Premium」(Microsoft Windows 7 Professionalの場合は、「Microsoft Windows 7 Professional」)を選んで、【Enter】を押してください。Windowsが起動します。

画面に英語のエラーメッセージが表示される

「Checking file system on」と表示された場合

パソコンの電源を切る際に、Windowsは作業中のファイルをディスクに保存しなおすなどのいくつかの処理をおこないます。その処理が正しくおこなわれなかった場合に、このメッセージが表示されます。
このメッセージが表示された後しばらくすると、自動的に、ハードディスクに異常が発生していないかどうかチェックする処理が始まります。ハードディスクに異常がなければそのままWindowsが起動します。以降は問題なくお使いいただけます。
Windowsが正常に起動しなかった場合は、画面にメッセージが表示されますので、その内容をよく読んで対処してください。

「Invalid system disk」、「Operating System not found」などのメッセージが表示された場合

DVD/CDドライブなどに、CD-ROMなどのディスクがセットされていませんか？

CD-ROMなどを取り出してから、何かキー(【Enter】など)を押してください。ハードディスクからWindowsが起動します。
CD-ROMなどがセットされていないのにこれらのメッセージが表示される場合は、ハードディスクがフォーマットされたか、システムが壊れていて起動できない状態になっています。「PART3 再セットアップ」(p.71)をご覧になり、システムの復元または再セットアップをおこなってください。

パソコンの使用環境を変更したら、Windowsが起動しない

BIOS(バイオス)セットアップユーティリティで、パソコンの使用環境を変更した後に、Windowsが起動しなくなったときは、システムの設定が正しくない可能性があります。次の手順でシステムの設定をご購入時の状態に戻してください。

1 **市販の周辺機器や拡張ボードを取り付けているときは、取り外して、ご購入時の状態に戻す**

2 **パソコン本体の電源を入れ、「NEC」のロゴマークが表示されたら【F2】を押す**
BIOSセットアップユーティリティの画面が表示されます。

3 **キーボードの【F9】を押す**
セットアップ確認の画面が表示されます。

4 **表示された画面で「Yes」を選んで【Enter】を押す**
システムの設定が初期値に戻ります。

5 **【F10】を押す**
セットアップ確認の画面が表示されます。

6 **表示された画面で「Yes」を選んで【Enter】を押す**
システムの設定が保存されて、自動的に再起動します。

チェック!!
「BIOSセットアップユーティリティ」で設定したパスワードは、左の操作をおこなっても初期値には戻りません。

参照
BIOSセットアップユーティリティについて
→「ハードウェア環境の設定」
▶「ソフト&サポートナビゲーター」
▶検索番号 93220040 で検索

チェック!!
手順2で【F2】を押してもBIOSセットアップユーティリティの画面が表示されないときは、いったん電源を切り、再度電源を入れて、本体の電源を入れた直後からBIOSセットアップユーティリティが起動するまで、何度か【F2】を押してください。

省電力機能

省電力状態（休止状態 / スリープ）からもとの状態に戻れなくなったときや、省電力機能が使えないときは、ここをご覧ください。

省電力状態になる前の状態の画面が表示されない

省電力状態からもとの状態に戻すときは、パソコン本体の電源スイッチを押します。パソコン本体の電源スイッチを押してももとに戻らない場合は、次の点を確認してください。

ソフトや周辺機器は省電力機能(休止状態/スリープ)に対応していますか？

対応していないソフトや周辺機器で省電力状態にすると、正常に動作しなくなることがあります。このようなソフトや周辺機器を使うときは、省電力状態にしないでください。

コマンドプロンプトがアクティブのときにスリープ状態から復帰させたが画面が表示されない。

【Alt】＋【Tab】を押してタスクを切り換えると、正常に動作するようになります。

スリープ状態のときやディスプレイの省電力機能によって画面が暗くなっているときに、電源スイッチを4秒以上押し続けませんでしたか？

スリープ状態のときやディスプレイの省電力機能によって画面が暗くなっているときに、電源スイッチを4秒以上押し続けると、強制的に電源が切れ、保持(記録)した内容は消えてしまう場合があります。

パソコンがWindowsの終了処理をおこなっている途中で、次の操作をしませんでしたか？

・ 液晶ディスプレイを閉じた
・ 省電力状態にした
・ 電源を切った

このような操作をすると、正常に復帰できなくなることがあります。電源スイッチで電源を入れた後に何かメッセージが表示された場合は、そのメッセージにしたがって操作してください。

バッテリの残量が少なくなっていませんか？

ACアダプタを接続してから、液晶ディスプレイを開いた状態でパソコンの電源を入れると、復帰します。

参照
省電力機能について
→「省電力機能について」
▶「ソフト&サポートナビゲーター」
▶検索番号 93160010 で検索

Cドライブの空き容量が少なくなって、ハイブリッドスリープがオフになっていませんか？

Cドライブの空き容量が少なくなると、ご購入時の設定ではオンになっているハイブリッドスリープが自動的にオフになることがあります。ハイブリッドスリープがオフになっていると、バッテリが消耗したとき、スリープ状態になる前の状態が失われます。
コントロールパネルの電源オプションの設定で、ハイブリッドスリープがオンになっているか確認してください。

省電力状態にする前の内容の復元が保証されない場合

次のような場合は、省電力状態にする前の内容は保証されません。

- 省電力状態にする前の内容の記録中、または復元中にこのパソコンの環境を変更したとき
- 省電力状態のときにこのパソコンの周辺機器の接続などを変更したとき

また、次のような状態で省電力状態にしても、復帰後の内容は保証されません。

- プリンタで印刷しているとき
- サウンド機能により音声を再生しているとき
- ハードディスクを読み書き中のとき
- 省電力状態に対応していない周辺機器を取り付けたとき

チェック!!
省電力状態からの復帰(再開)に失敗したときは、Windowsが起動しても省電力状態にする前の作業内容が復元されない場合があります。その場合、保存していないデータは失われてしまいますので、省電力状態にする前に必要なデータは必ず保存するようにしてください。

マウスやリモコンを操作してもスリープ状態から復帰しない

マウスやリモコン受信用ユニット(ワイヤレスTVデジタル添付モデルのみ)をUSBコネクタ( )(パワーオフUSB充電機能対応)に接続していませんか？

パワーオフ充電機能をオンにすると、パワーオフUSB充電機能対応のUSBコネクタにマウスやリモコン受信用ユニット(ワイヤレスTVデジタル添付モデルのみ)を接続した場合、スリープ状態のときにマウス操作やリモコンの【電源】や【テレビ】ボタンで復帰できなくなります。

パスワード

Windows を起動したときにパスワードを入力してもログオンできない場合や、パスワードを忘れてしまった場合は、ここをご覧ください。

パスワードを入力すると「ユーザー名またはパスワードが正しくありません。」と表示される

(キャップスロックキーランプ)や(ニューメリックロックキーランプ)の状態を確認してください。

パスワードは、大文字、小文字も入力したとおりに区別されます。必要に応じてキャップスロックの状態を切り換え、大文字もしくは小文字が入力できるようにしてください。
また、ニューメリックロックがオンになっていると、キー上面に青色で表示されている数字や記号が入力されます。必要に応じて状態を切り換えてください。

参照
キャップスロック、ニューメリックロックについて
→「キーの使い方」
▶「ソフト&サポートナビゲーター」
▶検索番号 93040030 で検索

パスワードを忘れてしまった

Windowsのパスワードを忘れてしまったとき

一度パスワードをまちがえると(または何も入力しないでをクリックすると)、「ユーザー名またはパスワードが正しくありません。」と表示されるので「OK」をクリックします。もし、そのユーザーのパスワードを設定したときに「ヒント」を設定していれば、次の画面でその「ヒント」が表示されます。これを手がかりにパスワードを思い出してください。

どうしてもパスワードを思い出せない場合は、パスワードをリセットする必要があります。リセットするには、あらかじめ「パスワード リセット ディスク」を作成しておく必要があります。詳しくは、「スタート」-「ヘルプとサポート」をご覧ください。

または、「マルチユーザー機能」でこのパソコンにほかのユーザー名が登録してあれば、そのユーザー名でログオンして、「コントロールパネル」-「ユーザーアカウントの追加または削除」の「アカウントの管理」で、パスワードを忘れてしまったユーザーのパスワードを設定しなおしてください。

詳しくは、「スタート」-「ヘルプとサポート」をご覧ください。

ユーザパスワード、スーパバイザパスワードを忘れてしまったとき

BIOS(バイオス)セットアップユーティリティで設定したこれらのパスワードを忘れてしまった場合は、BIOSセットアップユーティリティを起動できません。NECサポート窓口(121コンタクトセンター)にご相談ください。

ハードディスクのパスワードを忘れてしまったとき

NECサポート窓口(121コンタクトセンター)では、パスワードを解除できません。もし、ハードディスクのパスワードを忘れてしまった場合、お客様ご自身で作成されたデータは二度と使用できなくなり、また、ハードディスクを有償で交換することになります。ハードディスクのパスワードを忘れないよう、十分注意してください。

チェック!!

・ほかのユーザー名でログオンしてパスワードを設定しなおすと、そのユーザー向けに保存されていた個人証明書や、Webサイトまたはネットワークリソース用のパスワードもすべて失われます。
・「標準ユーザー」として登録されたユーザー名でログオンした場合、パスワードを設定しなおすことはできません。

参照

NECサポート窓口(121コンタクトセンター)のお問い合わせ先→『セットアップマニュアル』

その他

ここまでで、あなたのパソコンのトラブルが見つからなかったときは、ここをご覧ください。ここでも見つからないときは、「ソフト＆サポートナビゲーター」やほかのマニュアル、ヘルプ、Readmeファイルをご覧ください。

DVD/CDドライブからディスクを取り出せなくなった

DVDやCDの再生中または書き込み中ではありませんか？

DVDやCDの再生中または書き込み中のときは、DVD/CDドライブのイジェクトボタンを押してもディスクは出てきません。停止させてからディスクを取り出してください。

パソコンの電源は入っていますか？

パソコンの電源が入っていないと、イジェクトボタンを押してもディスクは出てきません。電源を入れてからディスクを取り出してください。

画面の操作で取り出しをしてみてください。

「スタート」-「コンピューター」をクリックして画面を表示します。DVD/CDドライブのアイコンを右クリックして「取り出し」をクリックしてください。

パソコンを再起動してからイジェクトボタンを押してください。

アクセスランプが消えていることを確認した後いったんパソコンの電源を切り、もう一度電源を入れてください。パソコンが起動してから、イジェクトボタンを押してください。

DVD/CDドライブの故障などが原因でディスクを取り出せなくなったとき

非常時ディスク取り出し穴を使ってディスクを取り出します。詳しい手順については、「ディスクが取り出せなくなったときは」(p.41)をご覧ください。

参照
アクセスランプについて
▶「ソフト＆サポートナビゲーター」-「機能を知る」-「各部の名称と役割」

ウイルスに感染したらしい

「ウイルスバスター」をご使用の場合、インターネット上のクラウド(サーバ)上の情報を使用して通信をおこないながらウイルスチェックをおこなうため、インターネットに接続している状態(インターネット接続のために使っている電話回線ケーブルやLANケーブルを取り外さない、また、ワイヤレスLAN機能はオフにしない)でウイルスを駆除し、被害を届け出てください。

「ウイルスバスター」以外のウイルス対策ソフトをご使用の場合、インターネット接続のために使っている電話回線ケーブルやLANケーブルをパソコンから取り外し、ご使用のソフトごとに指定された方法でウイルスを駆除し、被害を届け出てください。

届出は義務付けられてはいませんが、被害対策のための貴重な情報になります。積極的に報告してください。

●届出先

独立行政法人 情報処理推進機構(IPA)
IPAセキュリティセンター
FAX:　03-5978-7518
E-mail:　virus@ipa.go.jp
URL:　http://www.ipa.go.jp/security/
IPAではウイルスに関する相談を下記の電話でも対応しています。
(IPA)コンピュータウイルス110番
TEL:　03-5978-7509

参照
→「ウイルス感染の防止」
▶「ソフト&サポートナビゲーター」
▶検索番号 91040010 で検索

パソコンを落とした

外観上、特に問題ないようならば、電源を入れてみてください。万一、電源を入れたときに変な音がしたり、動かなかったりしたら、すぐ電源コードのプラグをコンセントから抜いて、NECサポート窓口(121コンタクトセンター)にご相談ください。

参照
NECサポート窓口(121コンタクトセンター)のお問い合わせ先→『セットアップマニュアル』

Cドライブの空き領域を増やすよう画面にメッセージが頻繁に表示される

Cドライブの空き領域を増やすよう画面にメッセージが頻繁に表示される場合は、不要なデータを削除してCドライブの空き領域を増やしてください。
不要データを削除する方法のほかに、再セットアップのための領域を利用してCドライブの空き領域を増やす方法があります。詳しくはPART3の「再セットアップディスクを使って再セットアップする」(p.86)をご覧ください。

リモコンが効かない、効きが悪い(ワイヤレスTVデジタル添付モデルのみ)

☹➡☺ 電池は切れていませんか？

電池を交換してください。電池の交換方法については、PART1の「リモコンの使い方」(p.60)をご覧ください。

☹➡☺ パソコンの電源が切れていませんか？

パソコンが休止状態または電源が切れている場合は、リモコンでの操作はできません。パソコン本体の電源スイッチで電源を入れてから使用してください。

☹➡☺ リモコン受信用ユニットは取り付けられていますか？

リモコン受信用ユニットがパソコンに取り付けられていないと、リモコンでの操作はできません。PART1の「リモコンの使い方」(p.60)をご覧になり、リモコン受信用ユニットを取り付けてください。また、パワーオフUSB充電機能をオンにしたパワーオフUSB充電対応のコネクタ()にリモコン受信用ユニットを取り付けていると、スリープ状態から復帰できません。ほかのUSBコネクタに取り付けてください。

☹➡☺ リモコンは使用範囲内で使っていますか？

リモコンはパソコン本体またはリモコン受信用ユニットから3m以内で使ってください。

☹➡☺ リモコンを登録しなおしてください。

リモコンからの信号をパソコン本体やリモコン受信用ユニットに送るためには、リモコンの登録が必要です。
何らかの原因で登録内容が消えて、リモコンでの操作ができなくなることもあります。PART1の「リモコンを登録しなおす」(p.61)をご覧になり、登録をしなおしてください。

☹➡☺ 操作可能なボタンを押していますか？

ソフトによって、使えるリモコンのボタンが異なります。また、モデルによっては、使用しないボタンがあります。ほかのボタンが使えるか確認してください。
テレビのリモコン操作については『テレビを楽しむ本』を、テレビ以外のリモコン対応ソフトの操作可能なボタンについては、「リモコン」(「ソフト&サポートナビゲーター」▶検索番号 93010130 で検索)をご覧ください。

Windows 7再セットアップ画面が表示できない

☹➡☺ 【F11】を押すタイミングは合っていますか？

パソコン本体の電源を入れ、「NEC」ロゴマークが表示されたら、「ファイルを読み込んでいます...」と表示されるまで何度も【F11】を押し続けてください。

☹➡☺ コントロールパネルから起動してください。

次の手順で起動することができます。

1 「スタート」-「コントロールパネル」-「システムとセキュリティ」をクリックする
2 「バックアップと復元」-「システム設定またはコンピューターの回復」-「高度な回復方法」をクリック
3 「コンピューターを出荷時の状態に戻す」をクリック
4 「スキップ」をクリック
5 「再起動」をクリック

☹➡☺ 再セットアップディスクを使って再セットアップしてください。

再セットアップディスクを使った再セットアップ方法は、「再セットアップディスクを使って再セットアップする」(p.86)をご覧ください。
再セットアップディスクは作成することもできます(p.83)。

付　録

バッテリリフレッシュについて

バッテリの機能を回復するバッテリリフレッシュについて説明します。バッテリについて詳しくは、「バッテリリフレッシュについて」(「ソフト&サポートナビゲーター」▶検索番号 93150030 で検索)をご覧ください。

バッテリは、使い続けていくうちに、フル充電してもバッテリの電源のみでパソコンを使用できる時間が以前よりも短くなっていきます。このようなときは、バッテリリフレッシュをおこなうことでバッテリの性能を回復できます。

バッテリリフレッシュをおこなうのは、次のようなときです。

・バッテリの電源のみでパソコンを使用できる時間が、以前よりも短くなったとき
・ご購入直後や長期間放置した後で、バッテリの性能が一時的に低下しているとき
・バッテリの残量表示に誤差が生じているとき

チェック!!

バッテリリフレッシュは数時間かかります。時間に余裕のあるときにおこなってください。

バッテリ・リフレッシュ&診断ツールを使う

バッテリ・リフレッシュ&診断ツールを使って、バッテリ性能の低下を抑えるためのリフレッシュと現状の性能診断をおこなうことができます。

1 **パソコンにACアダプタを接続し、電源コードのプラグをコンセントに差し込む**

2 **「スタート」-「すべてのプログラム」-「バッテリ・リフレッシュ&診断ツール」-「バッテリ・リフレッシュ&診断ツール」をクリック**

3 **「次へ」をクリック**

4 **「開始」をクリック**

5 **「はい」をクリック**

バッテリのリフレッシュおよび診断が開始されます。中止するには「中止」をクリックし、確認画面で「はい」をクリックしてください。

6 **診断結果を確認**

「バッテリ状態」が「劣化」と表示された場合には、お早めにバッテリ交換をおすすめします。「警告」と表示されたときは、安全のために充電を止めますので充電はできません。バッテリを交換してください。

参照

バッテリリフレッシュについて
→「バッテリリフレッシュについて」
▶「ソフト&サポートナビゲーター」
▶検索番号 93150030 で検索

チェック!!

・バッテリリフレッシュ中は、液晶ディスプレイを開いたままにしてください。
・バッテリリフレッシュおよび診断中にACアダプタやバッテリパックを取り外すと、バッテリのリフレッシュが中止されます。
・バッテリリフレッシュは、BIOS(バイオス)セットアップユーティリティからもおこなえます。
・バッテリが「警告」状態になった場合は充電ができなくなるため、バッテリリフレッシュをすることができません。

パソコンのお手入れ

パソコンは精密機械なので、日頃のお手入れが欠かせません。マウスやキーボードも、こまめに清掃することで長く快適に使用できます。

準備するもの

軽い汚れのとき

乾いたきれいな布を
用意します

汚れがひどいとき

水かぬるま湯を含ませて、
よくしぼった布を用意します

電源を切って、電源コードのプラグを外す

お手入れの前には、必ずパソコン本体や周辺機器の電源を切ってください。電源コードのプラグをコンセントから抜き、バッテリパックを取り外してください。
電源を切らずにお手入れを始めると、感電することがあります。

チェック!!

・ 水やぬるま湯は、絶対にパソコン本体やキーボードに直接かけないでください。故障の原因になります。
・ シンナーやベンジンなどの揮発性の有機溶剤や揮発性の有機溶剤を含む化学ぞうきんは、使わないでください。キーボードなどを傷め、故障の原因になります。

パソコン各部の清掃のしかた

液晶ディスプレイ
やわらかい素材の乾いた布でふいてください。
化学ぞうきんやぬらした布は使わないでください。
ディスプレイの画面は傷などが付かないように軽くふいてください。

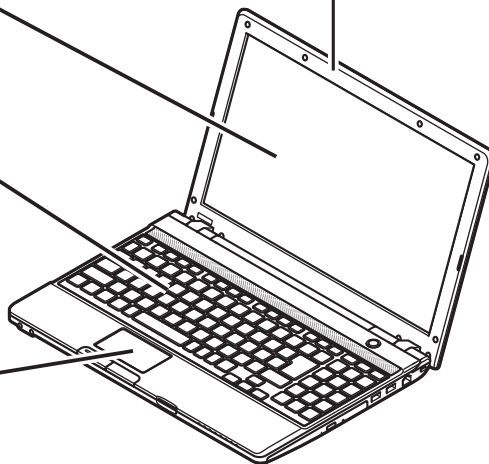
パソコン本体
やわらかい布でふいてください。汚れがひどいときは、水かぬるま湯を布に含ませ、よくしぼってから、ふき取ってください。

キーボード
やわらかい布でふいてください。
汚れがひどいときは、水かぬるま湯を布に含ませ、よくしぼってから、ふき取ってください。

NXパッド
やわらかい布でふいてください。
汚れがひどいときは、水かぬるま湯を布に含ませ、よくしぼってから、ふき取ってください。

通風孔
ほこりなどを定期的に取り除いてください。詳しくは、「通風孔のお手入れについて」(次ページ)をご覧ください。

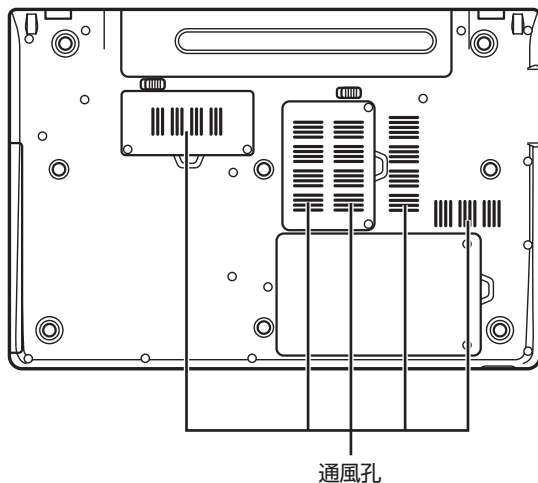
電源コード／ACアダプタ
電源コードのプラグを長期間コンセントに接続したままにすると、プラグにほこりがたまることがあります。
定期的にやわらかい布でふいて、清掃してください。

マウス／リモコン(添付モデルのみ)
やわらかい布でふいてください。汚れがひどいときは、水かぬるま湯を布に含ませ、よくしぼってからふき取ってください。

チェック!!
水やぬるま湯を含ませ、よくしぼった布でパソコン本体、キーボードをふき取る際、水が入らないよう十分注意してください。

キーボードのお手入れ

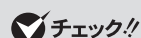
- キーボードの清掃には、掃除機を使用しないでください。キートップが外れるおそれがあります。キーのすきまにゴミなどが入ったときは、精密機器専用のエアダスターなどで取り除いてください。
- キートップを故意に取り外すこともやめてください。キートップを元に戻せなくなったり、キートップやキーボードが破損し、本装置の故障や機能低下の原因となることがあります。

通風孔のお手入れについて

通風孔とは、パソコン内部の熱によってパソコンが故障したり誤作動したりすることを防ぐための換気口です。ほこりがたまってしまうと通風孔の機能が低下し、パソコンの故障や誤作動などのトラブルの原因になる場合があります。定期的にお手入れをしてください。

お手入れの際は、パソコンのふたを閉じた状態で、掃除機などを使って本体の外側からほこりなどを取り除いてください。ほこりの付着がひどい場合には、ハケや綿棒、使用済み歯ブラシなどを使って、ほこりをかき出しながら掃除機で吸引するときれいに掃除することができます。

アフターケアについて

保守サービスについて

保守サービスについては、NECサポート窓口(121コンタクトセンター)へお問い合わせください。詳しくは、『セットアップマニュアル』をご覧ください。

NECサポート窓口(121コンタクトセンター)などにこのパソコンの修理を依頼される場合は、設定したパスワードは解除しておいてください。

消耗品/有寿命部品について

このパソコンには、消耗品と有寿命部品が含まれています。安定してご使用いただくためには、定期的な保守による部品交換が必要になります。特に長期間連続して使用する場合には、安全などの観点から早期の部品交換が必要です。

消耗品と有寿命部品は次のとおりです。

種類	内容説明	該当品または部品(代表例)
消耗品	使用頻度や使用量により消耗の進行が異なります。お客様ご自身でご購入いただき、交換していただくものです。 本体の保証期間内であっても有償となります。	フロッピーディスク、 CD-ROMディスク、 DVD-ROMディスク、 SDメモリーカード、 バッテリ、乾電池など
有寿命部品	使用頻度や経過時間、使用環境によって摩耗、劣化の進行に大きな差が生じ、修理による再生ができなくなる部品です。 本体の保証期間内であっても部品代は有償となる場合があります。詳しくは、NECサポート窓口(121コンタクトセンター)の修理受付窓口にご相談ください。	ディスプレイ、 ハードディスクドライブ、 キーボード、 マウス、 ファン

- 記載部品は代表例です。機種により構成部品が異なります。詳しくは「仕様一覧」をご覧ください。
- 有寿命部品の交換時期の目安は、1日8時間のご使用で1年365日として約5年です。上記期間はあくまでも目安であり、上記期間中に故障しないことや無償修理をお約束するものではありません。
  また、長時間連続使用等のご使用状態や、温湿度条件等のご使用環境によっては早期に部品交換が必要となり、製品の保証期間内であっても有償となることがあります。

・本製品の補修用性能部品の保有期間は、PC本体、オプション製品については製造打切後6年です。
・本製品は、24時間連続使用を前提とした設計になっておりません。
24時間連続稼働した場合、標準保証の対象外となり、製品保証期間内であっても有償修理となります。

パソコンの売却、処分、改造について

このパソコンを売却するには

ご使用済みパソコンの買い取りサービスをおこなっております。
買い取り対象機種や上限価格は、随時変更されます。サービス内容の詳細や最新情報については、(http://121ware.com/support/recyclesel/)をご覧ください。

このパソコンを譲渡するには

●譲渡するお客様へ

このパソコンを第三者に譲渡(売却)する場合は、次の条件を満たす必要があります。

1. 本体に添付されているすべてのものを譲渡し、複製物を一切保持しないこと。
2. 各ソフトウェアに添付されている「ソフトウェアのご使用条件」の譲渡、移転に関する条件を満たすこと。
3. 譲渡、移転が認められていないソフトウェアについては、削除した後、譲渡すること(本体に添付されている「ソフトウェア使用条件適用一覧」をご覧ください)。
   ※第三者に譲渡(売却)する製品をお客様登録している場合は、121ware.comのマイページ(http://121ware.com/my/)の保有商品情報で削除してください。

●譲渡を受けたお客様へ

NECパーソナル商品総合情報サイト「121ware.com」での登録をお願いします。
登録方法については、添付の『セットアップマニュアル』をご覧ください。

チェック!!

パソコン内のハードディスクには個人的に作成した情報が多く含まれています。第三者に情報が漏れないように、譲渡の際にはこれらの情報を削除することをおすすめします。このパソコン内のデータを消去する方法については、PART3の「ハードディスクのデータ消去」(p.88)をご覧ください。

チェック!!

ワイヤレスTVデジタル添付モデルでは、「ひかりTV」の視聴に使用したパソコンを譲渡(売却)する場合は、事前に「ひかりTV」の契約を解除してください。
「ひかりTV」に関するお問い合わせについては、『ひかりTVを楽しむ本』のPART1「回線とサービスの準備」をご覧ください。

このパソコンを廃棄するには

本製品は「資源有効利用促進法」に基づく回収再資源化対応製品です。
PCリサイクルマークが銘板(パソコン本体の底面にある型番や製造番号が記載されているラベル)に表示されている、または、PCリサイクルマークのシールが貼り付けられている弊社製品は弊社が責任をもって回収・再資源化いたします。希少資源の再利用のため、不要になったパソコンのリサイクルにご協力ください。

当該製品をご家庭から排出する際、弊社規約に基づく回収・再資源化にご協力頂ける場合は、別途回収再資源化料金をご負担いただく必要はありません。

廃棄時の詳細については、NECパーソナル商品総合情報サイト「121ware.com」(http://121ware.com/support/recyclesel/)をご覧ください。

なお、下記の窓口でも廃棄についてお問い合わせいただけます。

NECサポート窓口(121コンタクトセンター)

廃棄のお問い合わせ

フリーコール 0120-977-121

※電話番号をよくお確かめになり、おかけください。

携帯電話やＰＨＳ、もしくはIP電話など、フリーコールをご利用いただけないお客様は下記電話番号へおかけください。
03-6670-6000(東京)(通話料はお客様負担となります)
※電話番号をよくお確かめになり、おかけください。

NECサポート窓口(121コンタクトセンター)の詳しい情報は『セットアップマニュアル』をご覧ください。
また、最新の情報については、(http://121ware.com/121cc/)をご覧ください。

当該製品が事業者から排出される場合(産業廃棄物として廃棄される場合)
当社は資源有効利用促進法に基づき、当社の回収・リサイクルシステムにしたがって積極的に資源の有効利用につとめています。
廃棄時の詳細については、下記のホームページで紹介している窓口にお問い合わせください。
http://www.nec.co.jp/eco/ja/business/recycle/it/

チェック!!
本文に記載された電話番号や受付時間などは、将来予告なしに変更することがあります。

ハードディスク、メモリーカード上のデータ消去に関するご注意

本内容は「パソコンの廃棄・譲渡時のハードディスク上のデータ消去に関するご注意」の趣旨に添った内容で記載しています。詳細は以下のJEITA（社団法人電子情報技術産業協会）の文書をご参照ください。

http://it.jeita.or.jp/perinfo/committee/pc/JEITA_HDDdata100219F.pdf

このパソコンでは、再セットアップディスクを作成して、ハードディスクのデータ消去ができます。詳しくはPART3の「ハードディスクのデータ消去」(p.88)をご覧ください。

お客様が廃棄・譲渡などをおこなう際に、ハードディスクおよびメモリーカード上の重要なデータの流出トラブルを回避するために、記録された全データをお客様の責任において完全に消去することが重要です。データを消去するためには、専用ソフトウェアまたはサービス（ともに有償）を利用するか、ハードディスクやメモリーカードを物理的に破壊して、読めないようにします。なお、物理的に破壊する場合、専門技術が必要になります。また、お客様のけが防止のため、専門業者へ依頼することを推奨します。

パソコンのハードディスクやメモリーカードには、お客様が作成、使用した重要なデータが記録されています。このパソコンを譲渡または廃棄するときに、これらの重要なデータ内容を消去することが必要となります。「データやファイルの消去」、「ハードディスクの初期化（フォーマット）」、「メモリーカードの初期化（フォーマット）」、「パソコンの再セットアップ」などの操作をおこなうと、記録されたデータの管理情報が変更されるためにWindowsでデータを探すことはできなくなりますが、ハードディスクやメモリーカードに磁気的に記録された内容が完全に消えるわけではありません。
このため、データ回復用の特殊なソフトウェアを利用すると、ハードディスクやメモリーカードから消去されたはずのデータを読み取ることが可能な場合があり、悪意のある人によって予期しない用途に利用されるおそれがあります。

チェック!!

- パソコンの再セットアップでデータが消去されるのは、このパソコンに内蔵されたハードディスクのみです。
- ハードディスクやメモリーカード上のソフトウェア(OS、アプリケーションソフトなど)を削除することなく譲渡すると、ソフトウェアライセンス使用許諾契約に抵触する場合があります。十分な確認をおこなってください。

地上デジタル放送で使用する個人情報の消去に関するご注意

ワイヤレスTVデジタル添付モデルでは、お客様が廃棄・譲渡などをおこなう際、地上デジタル放送のデータ放送で使用した個人情報を消去することが必要になります。個人情報の消去にはSmartVisionを使用します。

参照

SmartVisionで個人情報を消去する方法について、詳しくは、『テレビを楽しむ本』付録の「個人情報を消去する」をご覧ください。

パソコンの改造はおこなわない

添付されているマニュアルに記載されている以外の方法で、このパソコンを改造・修理しないでください。
記載されている以外の方法で改造・修理された製品は、当社の保証や保守サービスの対象外となることがあります。

仕様一覧

■LM750/ES6W、LM750/ES6B、LM750/ES6R、LM570/ES、LM550/ES6W、LM550/ES6B、LM550/ES6R

型番			PC-LM750ES6W PC-LM750ES6B PC-LM750ES6R	PC-LM570ES	PC-LM550ES6W PC-LM550ES6B PC-LM550ES6R
インストールOS・サポートOS			Windows® 7 Home Premium with Service Pack 1 (SP1) 64ビット 正規版※1※2		
CPU			インテル® Core™ i7-660UM プロセッサー 超低電圧版	インテル® Core™ i3-380UM プロセッサー 超低電圧版	
	動作周波数		1.33GHz(インテル® ターボ・ブースト・テクノロジーに対応:最大2.40GHz)	1.33GHz	
	コア数／ウェイ数		2コア／4ウェイ(インテル® ハイパースレッディング・テクノロジーに対応)		
	キャッシュメモリ		4MB(3次キャッシュ)	3MB(3次キャッシュ)	
バスクロック	システムバス		2.5GT/s DMI※5		
	メモリバス		800MHz		
チップセット			モバイル インテル® HM55 Express チップセット		
メインメモリ※8※17※18※19	標準容量／最大容量		4GB(DDR3 SDRAM/SO-DIMM 2GB×2、PC3-6400対応※12、デュアルチャネル対応)※23／8GB※25	4GB(DDR3 SDRAM/SO-DIMM 2GB×2、PC3-6400対応※12、デュアルチャネル対応)／8GB※25※26	4GB(DDR3 SDRAM/SO-DIMM 2GB×2、PC3-6400対応※12、デュアルチャネル対応)※23／8GB※25
	スロット数		2スロット[空き:0]		
表示機能	内蔵ディスプレイ		13.3型ワイド 低反射TFTカラー液晶 (スーパーシャインビューLED液晶) [WXGA(最大1366×768ドット表示)]		
		LCDドット抜けの割合※33	0.00026%以下		
	表示色(解像度)※34	内蔵ディスプレイ※35	最大1677万色※39(1366×768ドット、1280×768ドット、1024×768ドット、800×600ドット)		
		別売の外付けディスプレイ接続時(HDMI接続時)※40	最大1677万色(1920×1080ドット※43、1280×1024ドット、1280×720ドット、1024×768ドット、800×600ドット、720×480ドット) 対応映像方式:1080p/1080i/720p/480p		
		別売の外付けディスプレイ接続時(アナログRGB接続時)※41	最大1677万色(1680×1050ドット、1600×1200ドット、1440×900ドット、1280×1024ドット、1280×800ドット、1280×768ドット、1024×768ドット、800×600ドット)		
	グラフィックアクセラレータ		インテル® HD グラフィックス(CPUに内蔵)		
	グラフィックスメモリ※3※18		最大1696MB		
ドライブ	ハードディスクドライブ※4		約750GB(Serial ATA、5400回転/分)	約640GB(Serial ATA、5400回転/分)	
	DVD/CDドライブ(詳細は別表(p.132)をご覧ください)		DVDスーパーマルチドライブ[DVD-R/+R 2層書込み]※6		
サウンド機能	スピーカ		内蔵ステレオスピーカ(1W+1W)		
	音源／サラウンド機能		インテル® High Definition Audio準拠(最大192kHz/24ビット※7)		
	サウンドチップ		RealTek社製 ALC262搭載		
通信機能	LAN		1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T対応		
	ワイヤレスLAN		高速11n対応ワイヤレスLAN本体内蔵※9※10※11※13(IEEE802.11a/b/g/n準拠)		
TV機能(詳細は別表(p.132)をご覧ください)			−	地上デジタル・BSデジタル・110度CSデジタル放送対応・「ひかりTV」サービス対応(ワイヤレスTVデジタル)※47※48※49	−
入力装置	キーボード		本体一体型(キーピッチ18mm※14、キーストローク2.4mm)、JIS標準配列(103キー、テンキー付き)		
	リモコン		−	無線リモコン※15	−
	ポインティングデバイス		手書き入力※20/ジェスチャー機能付きNXパッド標準装備※16		

型番			PC-LM750ES6W PC-LM750ES6B PC-LM750ES6R	PC-LM570ES	PC-LM550ES6W PC-LM550ES6B PC-LM550ES6R
外部インターフェイス	USB		USB 2.0×3(パソコン本体左側面の端子にパワーオフUSB充電機能付き※21)		
	ディスプレイ		ミニD-sub15ピン×1、HDMI出力端子×1※40		
	LAN		RJ45×1		
	サウンド関連	マイク入力※22	ステレオミニジャック×1[マイク入力インピーダンス 64kΩ、入力レベル 100mVrms(マイクブースト有効時は5mVrms)、バイアス電圧 2.5V]		
		ヘッドフォン出力	ステレオミニジャック×1[ヘッドフォン出力インピーダンス 16～100Ω(推奨32Ω)、出力電力 5mW/32Ω]		
		ライン出力	ヘッドフォン出力と共用(ライン出力レベル 1Vrms)		
	カードスロット	メモリーカード	SDメモリーカード(SDHCメモリーカード、SDXCメモリーカード)スロット×1※24※27※28		
	TV		−	−【ワイヤレスTVデジタルに「BS・110度CSデジタル放送アンテナ入力端子×1、地上デジタル放送アンテナ入力端子×1、B-CASカードスロット×1」搭載】	−
外形寸法	本体(突起部除く)		330(W)×223(D)×30.5(H)mm		
	バッテリ(突起部除く)		約204.4(W)×47.5(D)×21.5(H)mm		
	ACアダプタ		約93(W)×42(D)×28(H)mm		
	リモコン		−	50(W)×258(D)×27.5(H)mm	−
質量	本体(標準バッテリパック含む)※45／リモコン		約1.86kg／−	約1.88kg／約140g※124	約1.86kg／−
	バッテリ		約315g		
	ACアダプタ※30		約180g		
バッテリ駆動時間※31※32	標準バッテリパック装着時		約10.0時間(リチウム)	約8.2時間(リチウム)	約10.0時間(リチウム)
バッテリ充電時間(電源ON時／OFF時)※31	標準バッテリパック装着時		約6.0時間／約6.0時間(リチウム)		
電源※36※37			リチウムイオンバッテリ(DC10.8V、Typ.6100mAh※138)またはACアダプタ(AC100～240V±10%、50/60Hz)		
消費電力	標準※46／最大		約11W／約40W	約12W／約40W	約11W／約40W
電波障害対策			VCCI ClassB		
温湿度条件			5～35℃、20～80%(ただし結露しないこと)		
本体色			PC-LM750ES6W: フラッシュホワイト(スクラッチリペア※44) PC-LM750ES6B: コスモブラック(スクラッチリペア※44) PC-LM750ES6R: ブレイズレッド(スクラッチリペア※44)	PC-LM570ES: コスモブラック(スクラッチリペア※44)	PC-LM550ES6W: フラッシュホワイト(スクラッチリペア※44) PC-LM550ES6B: コスモブラック(スクラッチリペア※44) PC-LM550ES6R: ブレイズレッド(スクラッチリペア※44)
主なソフトウェア			Microsoft® Office Home and Business 2010※42	Microsoft® Office Personal 2010※42	
主な添付品			ACアダプタ、マニュアル	ACアダプタ、マニュアル、ワイヤレスTVデジタル、B-CASカード、無線リモコン、乾電池(単三アルカリ:2本 リモコン用)、リモコン受信用小型ユニット(USB接続)	ACアダプタ、マニュアル

上記の内容は本体のハードウェアの仕様であり、オペレーティングシステム、アプリケーションによっては、上記のハードウェアの機能をサポートしていない場合があります。

※ 1：日本語版です。添付のソフトウェアは、インストールされているOSでのみご利用になれます。別売のOSをインストールおよびご利用になることはできません。

※ 2：ネットワークでドメインに参加する機能はありません。

※ 3：パソコンの動作状況により、使用可能なメモリ容量、グラフィックスメモリ容量が変化します。また本機のハードウェア構成、ソフトウェア構成、BIOSおよびディスプレイドライバの更新によりグラフィックスメモリの最大値が変わる場合があります。搭載するメインメモリの容量によって利用可能なグラフィックスメモリの最大値は異なります。利用可能なグラフィックスメモリの最大値とは、OS上で一時的に使用する共有メモリやシステムメモリを含んだ最大の容量を意味します。

※ 4：1GBを10億バイトで計算した場合の数値です。

※ 5：DMIはDirect Media Interfaceの略です。

※ 6：DVD/CDドライブ使用中に、装置を大きく傾けたり、振ったりしないで下さい。DVDやCDなどのディスクにキズが付く場合があります。

※ 7：量子化ビットやサンプリングレートは、OSや使用するアプリケーションなどのソフトウェアによって異なります。

※ 8：増設メモリは、PC-AC-ME048C(4GB、PC3-8500)を推奨します。

※ 9：IEEE802.11nはWPA-PSK(AES)、WPA2-PSK(AES)対応、IEEE802.11a/b/gはWEP(64/128bit)、WPA-PSK(TKIP/AES)、WPA2-PSK(AES)対応です。

※ 10：理論上の最大通信速度は送受信ともに300Mbpsですが、実際のデータ転送速度を示すものではありません。接続先の11nワイヤレスLAN機器の仕様により、接続時の速度が異なります。

※ 11： 5GHz帯ワイヤレスLANは、IEEE802.11a/n(W52/W53/W56)準拠です。
IEEE802.11a/n(W52/W53)ワイヤレスLANの使用は、電波法令により屋内に限定されます。
W52/W53/W56は社団法人 電子情報技術産業協会による表記です。
詳細に関しては、ホームページ(http://it.jeita.or.jp/perinfo/committee/pc/JEITA_5GHzwirelessLANguideline3_100331.pdf)をご覧ください。
※ 12： 本体に搭載しているメモリはPC3-8500(1066MHz)ですが、本体のメモリバスの仕様上PC3-6400(800MHz)で動作します。
※ 13： IEEE802.11b/g(2.4GHz)とIEEE802.11a(5GHz)は互換性がありません。接続対象機器、電波環境、周囲の障害物、設置環境、使用状況、ご使用のアプリケーションソフトウェア、OSなどによっても通信速度、通信距離に影響する場合があります。
※ 14： キーボードのキーの横方向の間隔。キーの中心から隣のキーの中心までの長さ(一部キーピッチが短くなっている部分があります)。
※ 15： 使用可能な距離は約3mです(ただし、ご使用の環境条件や方法により異なります)。
※ 16： 使用するソフトウェアによって動作が異なったり、使用できないことがあります。
※ 17： 他メーカ製の増設メモリの装着は、動作を保証するものではありません。他メーカ製品との接続は各メーカにご確認の上、お客様の責任において行ってくださるようお願いいたします。
※ 18： グラフィックスメモリは、メインメモリを使用します。
※ 19： 実際にOSが使用可能な領域は一部制限されます。
※ 20： 手書きには個人差がありますので、本機能は完全な変換を保証するものではありません。
※ 21： 動作確認済み機器に関しましてはホームページ（http://121ware.com/navigate/products/pc/connect/usb/list.html）をご覧ください。パワーオフUSB充電機能は、ご購入時の状態ではオフに設定されています。使用する場合は、「パワーオフUSB充電の設定」でオンにしてください。
※ 22： パソコン用マイクとして市販されているコンデンサマイクやヘッドセットを推奨します。
※ 23： メモリ増設した場合、容量が異なるメモリを増設すると、少ないメモリに合わせた容量までデュアルチャネル動作となり、容量差分がシングルチャネル動作となります。
※ 24： 「マルチメディアカード(MMC)」はご利用できません。すべてのSDメモリーカード、SDメモリーカード対応機器との動作を保証するものではありません。
※ 25： 最大メモリ容量にする場合、本体に標準実装されているメモリを取り外して、別売の増設メモリ(4GB)を2枚実装する必要があります。
※ 26： 2つのメモリスロットに異なる容量のメモリを搭載するメモリ構成はサポートしておりません。
※ 27： 「SDメモリーカード」、「SDHCメモリーカード」、「SDXCメモリーカード」は、著作権保護機能(CPRM)に対応しています。
「SDIOカード」には対応しておりません。「miniSDカード」、「microSDカード」をご使用の場合には、SDカード変換アダプタをご利用ください。
microSDカード→miniSDカード変換アダプタ→SDカード変換アダプタの2サイズ変換には対応しておりません。詳しくは「miniSDカード」、「microSDカード」の取扱説明書をご覧ください。
※ 28： 高速転送規格「UHS-I」に対応しています。実際のデータ転送速度は、カード性能、ファイルサイズ等の利用環境により異なります。尚、SDカード変換アダプタを利用した場合、高速転送規格「UHS-I」はサポートしておりません。
※ 29： 乾電池の質量は含まれておりません。
※ 30： 電源コードの質量は含まれておりません。
※ 31： バッテリ駆動時間や充電時間は、ご利用状況によって記載時間と異なる場合があります。
※ 32： JEITAバッテリ動作時間測定法(Ver.1.0)に基づいて測定したバッテリ駆動時間です。詳しい測定条件は、ホームページ（http://121ware.com/lavie/）→ 各シリーズページ → 「仕様」をご覧ください。
※ 33： ISO13406-2の基準にしたがって、副画素(サブピクセル)単位で計算しています。
※ 34： 本体液晶ディスプレイの最大解像度より小さい解像度を選択した場合、拡大表示機能によって画面全体に表示します。ただし、拡大表示によって文字や線などの太さが不均一になることがあります。
※ 35： 液晶ディスプレイの最大解像度より大きい解像度を、液晶ディスプレイに表示することはできません。
※ 36： パソコン本体のバッテリなど各種電池は消耗品です。
※ 37： 標準添付されている電源コードはAC100V用(日本仕様)です。
※ 38： 公称容量(実使用上でのバッテリパックの容量)を示します。
※ 39： 1677万色表示は、グラフィックアクセラレータのディザリング機能により実現します。
※ 40： 本機で著作権保護されたコンテンツを再生し、HDMI出力端子に接続した機器に表示する場合、接続する機器はHDCP規格に対応している必要があります。HDCP規格に非対応の機器を接続した場合は、コンテンツの再生または表示ができません。HDMIのCEC(Consumer Electronics Control)には対応しておりません。HDMIケーブルは長さ1.5m以下を推奨します。ご使用の環境によっては、リフレッシュレートを60Hz(プログレッシブ)に変更するか、解像度を低くしないと、描画性能が上がらない場合があります。すべてのHDMI規格に対応した外部ディスプレイやTVでの動作確認はしておりません。HDMI規格に対応した外部ディスプレイやTVによっては正しく表示されない場合があります。
※ 41： 本機のもつ解像度および色数の能力であり、接続するディスプレイ対応解像度、リフレッシュレートによっては表示できない場合があります。本体の液晶ディスプレイと外付けディスプレイの同時表示可能です。ただし拡大表示機能を使用しない状態では、本体液晶ディスプレイ全体には表示されない場合があります。また解像度によっては、外付けディスプレイ全体には表示されない場合があります。
※ 42： 本製品はマニュアルを添付しております。
※ 43： HDMI接続時の外部ディスプレイの解像度が1280×1024を超える場合、DVDやTVなどの動画を視聴するとコマ落ちが目立つことがあります。コマ落ちなく再生するには、HDMI接続された外付けディスプレイの解像度を1280×1024以下に変更してください。
※ 44： 天面のみです。回復できないすり傷もありますので、取り扱いには十分ご注意の上お使い願います。また周囲の温度環境やすり傷の深さなどにより復元する時間は変化します。
※ 45： 主な付属品を含みません。
※ 46： 出荷構成(添付品、周辺機器の接続なし)でOSを起動させた状態での測定値です。
※ 47： 出荷時の解像度／色数以外ではTV機能を利用できません。
※ 48： 「ひかりＴＶ」サービスの録画および予約視聴はできません。地上デジタル放送IP再送信サービスは利用できません。
ワイヤレスTVデジタル添付モデルでは、回線終端装置(ONU)やルータに有線(ケーブル)で接続したワイヤレスTVデジタルとパソコンをワイヤレスLANで接続して「ひかりＴＶ」を視聴できます。そのほかのモデルでは、「ひかりＴＶ」を快適に利用するためには、パソコンを回線終端装置やルータに有線で接続することをおすすめしますが、ワイヤレスLANで接続する場合は、動作確認済みの機器(ワイヤレスLANルータ／ワイヤレスLANアクセスポイント)をお使いください。これ以外の機器をお使いの場合、映像が乱れ視聴できないことがあります。
動作確認済み機器に関しては、ホームページ (http://121ware.com/catalog/iptv/) をご覧ください。
いずれのモデルでも、ルータをお使いの場合はIPv6対応のルータが必要です。
※ 49： 購入本体のみで、ご利用できます。

■DVD/CDドライブ仕様一覧

	ドライブ※1	DVDスーパーマルチドライブ(DVD-RAM/R/RW with DVD+R/RW)(バッファアンダーランエラー防止機能付き)[DVD-R/+R 2層書込み]
読出し	CD-ROM※3	最大24倍速
	CD-R	最大24倍速
	CD-RW	最大24倍速
	DVD-ROM	最大8倍速
	DVD-R	最大8倍速
	DVD+R	最大8倍速
	DVD-RW	最大8倍速
	DVD+RW	最大8倍速
	DVD-RAM※9	最大5倍速
	DVD-R (2層)※6	最大6倍速
	DVD+R (2層)	最大6倍速
書込み/書換え	CD-R	最大24倍速
	CD-RW※4	最大10倍速
	DVD-R※5	最大8倍速
	DVD+R	最大8倍速
	DVD-RW※8	最大6倍速
	DVD+RW	最大8倍速
	DVD-RAM※9	最大5倍速※2
	DVD-R (2層)※7	最大4倍速
	DVD+R (2層)	最大4倍速

※ 1: 使用するディスクによっては、一部の書込み／読出し速度に対応していない場合があります。
※ 2: DVD-RAM12倍速ディスクの書込みはサポートしておりません。
※ 3: Super Audio CDは、ハイブリッドのCD Layerのみ読出し可能です。
※ 4: Ultra Speed CD-RWディスクはご使用になれません。
※ 5: DVD-Rは、DVD-R for General Ver.2.0/2.1に準拠したディスクの書込みに対応しています。
※ 6: 追記モードで記録されたDVD-R(2層)ディスクの読出しはサポートしておりません。
※ 7: DVD-R(2層)書込みは、DVD-R for DL Ver.3.0に準拠したディスクの書込みに対応しています。ただし、追記は未対応です。
※ 8: DVD-RWは、DVD-RW Ver.1.1/1.2に準拠したディスクの書換えに対応しています。
※ 9: DVD-RAM Ver.2.0/2.1/2.2 (片面4.7GB)に準拠したディスクに対応しています。また、カートリッジ式のディスクは使用できませんので、カートリッジなし、あるいはディスク取り出し可能なカートリッジ式でディスクを取り出してご利用ください。DVD-RAM Ver.1 (片面2.6GB)の読出し/書換えはサポートしておりません。

■TV機能仕様一覧

ワイヤレスTVデジタル添付モデル

●TV仕様

品名			ワイヤレスTVデジタル※4
テレビ受信機能	チューナー		[地上デジタル／BS・110度CSデジタル]チューナー
		チューナー数	1個
	対応する放送の種類		地上デジタル放送※1、BSデジタル放送※2、110度CSデジタル放送※2
	CATVパススルー対応		対応帯域:全帯域(VHF・MID・SHB・UHF)
	字幕放送		対応
	データ放送		対応
	双方向サービス※3		対応
	EPG(電子番組表)		対応
通信機能	LAN		100BASE-TX対応※6(クロス/ストレート ケーブル自動判別)
	ワイヤレスLAN※5	規格	IEEE802.11a/b/g/n 準拠
		周波数帯域	2.4GHz/5.2GHz(W52)※7
		アンテナ	内蔵2本(送信×2、受信×2)
		セキュリティ※8	WPA-PSK(AES)、WEP 64bit、WPA-PSK(TKIP)
外部インターフェイス	LAN		RJ45×1
	TV		BS・110度CSデジタル放送アンテナ入力端子×1、地上デジタル放送アンテナ入力端子×1、B-CASカードスロット×1
その他	電源		ACアダプタ(100V、50/60Hz)
	消費電力		最大約15W
	電波障害対策		VCCI ClassB
	温湿度条件		5～35℃、20～80%(ただし結露しないこと)
	外形寸法		31(W)×177(D)×172(H)mm (本体のみ、突起部除く)
	質量		約400g (本体のみ)
	主な添付品		ACアダプタ、スタンド

●TV仕様 [ハードディスクへの録画時間]

録画モード		ビットレート※20	1時間あたりの録画に必要なハードディスク容量※9※10	字幕表示対応	外付けUSBハードディスク※17 録画時間(想定録画容量※19)(めやす)※16		
					約1.5TB※15	約1TB※15	約500GB※15
ダイレクト※13	BS・110度CSデジタルハイビジョンテレビ放送	約24Mbps	約10.1GB	○	約130時間	約90時間	約40時間
	BS・110度CSデジタル標準テレビ放送	約11Mbps	約4.7GB	○	約300時間	約200時間	約100時間
	地上デジタルハイビジョンテレビ放送	約17Mbps	約7.2GB	○	約190時間	約130時間	約60時間
	地上デジタル標準テレビ放送	約8Mbps	約3.4GB	○	約410時間	約270時間	約130時間
ファイン※13※21		約8Mbps	約3.4GB	○	約410時間	約270時間	約130時間
ファインロング※13※21		約4Mbps	約1.7GB	○	約830時間	約550時間	約270時間
セミファインロング※21		約2.4Mbps	約1.0GB	○	約1380時間	約920時間	約460時間
ロング※14		約2Mbps	約900MB	○	約1660時間	約1110時間	約550時間

●TV仕様 [外でもVIDEO]

画質(解像度)	ビットレート※20	字幕表示対応	保存時間(めやす) SDメモリーカード※10※18			
			16GB	8GB	4GB	2GB
SD画質(640×360)	約1.1Mbps	×	約30時間	約15時間	約7時間	約3時間
ワンセグ画質(320×180)	約600Kbps	×	約57時間	約28時間	約14時間	約7時間

●TV仕様 [ディスク(DVD)への保存時間]

ディスク	保存形式		字幕表示対応	保存時間(めやす)
DVD-R(1層/2層)※22	DVD-VR形式※11※14	高画質	×	約1時間20分/約2時間20分
		標準画質	×	約2時間30分/約4時間40分
		長時間	×	約5時間/約9時間
		1ディスクダビング	×	最長約5時間※12/最長約9時間※12
DVD-RAM(片面4.7GB※15)※22	DVD-VR形式※11※14	高画質	×	約1時間10分
		標準画質	×	約2時間20分
		長時間	×	約5時間
		1ディスクダビング	×	最長約5時間※12

放送中の番組を視聴しているとき、および、ダイレクトモードでハードディスクに録画した番組を再生しているとき以外は、データ放送を利用することはできません。録画(保存)時間はめやすであり、録画(保存)する先(ハードディスク、DVDディスク、SDメモリーカード)の空き容量や、録画(保存)する番組によって変動します。SmartVisionの場合、5.1chサラウンド放送の音声は、ステレオ2chに変換して出力しています。

※ 1: ケーブルテレビ会社経由で地上デジタル放送を受信する場合、再配信されている地上デジタル放送信号が同一周波数パススルー方式および周波数変換パススルー方式の場合は地上デジタル放送を視聴可能です。その他の方式(トランスモジュレーション方式など)では視聴できません。再配信されている地上デジタル放送の方式に関しては、ご利用のケーブルテレビ会社にご確認ください。

※ 2: ケーブルテレビ会社経由でBSデジタル放送や110度CSデジタル放送が受信できるかどうかは、ケーブルテレビ会社により異なります。ご利用のケーブルテレビ会社にご確認ください。

※ 3: 双方向サービスは、LAN回線を使用して利用できます。尚、本機はモデム機能を搭載していないため、電話回線を使用しての利用はできません。

※ 4: 「ワイヤレスTVデジタル」を使用してTVとインターネット接続を同時に行うためには、ルータ機能を搭載した機器(ルータ、ルータタイプのADSLモデムなど)とLANケーブルが別途必要です。PPPoE接続に対応しているインターネット接続サービス(フレッツ・ADSLなど)をご利用の場合、ワイヤレスTVデジタルとパソコンが一対一の環境の場合はLANケーブルが別途必要です。なお、お客様がご利用のインターネット環境についてはお客様がご契約されているプロバイダなどにご確認ください。ワイヤレスLANルータとワイヤレスTVデジタルは、ワイヤレスLANで接続できない為、LANケーブルで接続してください。USB接続経由でインターネットに接続出来るモバイルルータを使用する場合は、パソコン本体とUSB接続をすることで、TVとインターネットを同時にご利用できます。詳細は、ホームページ (http://121ware.com/catalog/wifi/) で、事前にご確認ください。

※ 5: 理論上の最大通信速度は送受信ともに130Mbpsですが、実際のデータ転送速度を示すものではありません。

※ 6: TV映像伝送は100BASE-TXでのみご利用いただけます。

※ 7: IEEE802.11n(W52)、およびIEEE802.11a(W52)ワイヤレスLANの使用は、電波法令により屋内に限定されます。W52は社団法人 電子情報技術産業協会による表記です。詳細はホームページ (http://it.jeita.or.jp/perinfo/committee/pc/JEITA_5GHzwirelessLANguideline3_100331.pdf) をご覧ください。

※ 8: IEEE802.11nは、WPA-PSK(AES)のみでサポートされます。

※ 9: 録画するTV番組により必要なハードディスク容量は変動します。

※ 10: 容量は、1MB=1024^2バイト、1GB=1024^3バイト換算値です。

※ 11: DVD-VR形式で保存する場合には、ダイレクト/ファイン/ファインロング/セミファインロング/ロングを、高画質/標準画質/長時間に変換します。

※ 12: ディスクの空き容量にあわせて、ビットレートや解像度を変換して保存します。ただし、ディスクへ保存する合計時間が長すぎる場合は、保存できない場合があります。

※ 13: 放送された解像度のままで録画します。

※ 14: 解像度は、720×480となります。

※ 15: 1GBを10億(1000^3)バイト、1TBを1兆(1000^4)バイトで計算した場合の数値です。

※ 16: 「ひかりTV」サービスの録画はできません。

※ 17: 動作確認済み機器に関しましては、ホームページ (http://121ware.com/catalog/hddlist/) をご覧ください。

※　18：　サポートするSDメモリーカードは、microSDカード、microSDHCカード、SDXCメモリーカードになります。動作確認済機器に関しましては、ホームページ（http://121ware.com/catalog/sotodemo/）をご覧ください。
パソコン本体では再生できません。
SDメモリーカードに表示されている容量の約90%を録画番組の保存に利用可能として保存時間を算出しており、実際の保存時間とは異なる場合があります。
長時間番組は、SD画質では約3時間30分ごと、ワンセグ画質では約6時間30分ごとをめやすに複数の番組データに分割してSDメモリーカードに転送します。

※　19：　録画に使用可能な空き容量の想定値です。

※　20：　録画する番組により、ビットレートはこの値を基準にして上下に変動します。

※　21：　ハイビジョン解像度（1920×1080、1440×1080）の場合は、ハイビジョン解像度（1280×1080）になります。

※　22：　CPRM方式に対応していないDVD-R/DVD-RAMにはコピーまたはムーブできません。

■リモコン仕様一覧

ワイヤレスTVデジタル添付モデル

外形寸法	リモコン受信用ユニット	20(W)×16(D)×7(H)mm
	リモコン※	50(W)×258(D)×27.5(H)mm
質量	リモコン受信用ユニット	約5g
	リモコン	約140g（電池含まず）
電池		単3形乾電池2本

※：使用可能な距離は約3mです（ただし、ご使用の環境条件や方法により異なります）。

■LAN仕様一覧

項目	規格
準拠規格	ISO 8802-3、IEEE802.3、IEEE802.3u、IEEE802.3ab
ネットワーク形態	スター型ネットワーク
伝送速度	1000BASE-T使用時：1,000Mbps 100BASE-TX使用時：100Mbps 10BASE-T使用時：10Mbps
伝送路	1000BASE-T使用時：UTPカテゴリ5e以上 100BASE-TX使用時：UTPカテゴリ5 10BASE-T使用時 ：UTPカテゴリ3または5
信号伝送方式	ベースバンド伝送方式
メディアアクセス制御方式	CSMA/CD方式
ステーション台数	最大1,024台/ネットワーク
ステーション間距離/ ネットワーク経路長※	1000BASE-T：最大約200m/ステーション間 100BASE-TX：最大約200m/ステーション間 10BASE-T：最大約500m/ステーション間 最大100m/セグメント

※：リピータの台数など、条件によって異なります。

■ワイヤレスLAN仕様一覧
本機能は高速11n対応ワイヤレスLAN(abgn)モデルのみの機能です。

参照

ピアネットワーク機能に関する情報は以下のホームページをご覧ください。
http://121ware.com/e-manual/m/nx/ac/201104/wifi/v1/mst/wifi-direct.html

●IEEE802.11a

項目	規格
準拠規格	IEEE802.11a、ARIB STD-T71 ※4
通信モード	54/48/36/24/18/12/9/6 (Mbpsモード) ※1
伝送方式	OFDM方式
無線チャンネル	36ch、40ch、44ch、48ch (W52:アクティブスキャン) ※2 52ch、56ch、60ch、64ch (W53:パッシブスキャン) ※2※5 100ch、104ch、108ch、112ch、116ch、120ch、124ch、128ch、132ch、136ch、140ch (W56:パッシブスキャン) ※5
周波数帯域	5GHz帯域　(5.15 ～ 5.35GHz、5.47～5.725GHz)
セキュリティ	WPA-PSK(TKIP/AES)、WPA2-PSK(AES) WEP(鍵長64bit/128bit※3)

※　1：各規格による理論的な通信速度をもとにした通信モード表記であり、実効速度とは異なります。接続対象機器、電波環境、周囲の障害物、設置環境、使用状況、ご使用のOS、アプリケーション、ソフトウェアなどによっても、通信速度、通信距離に影響する場合があります。
※　2：36ch、40ch、44ch、48ch、52ch、56ch、60ch、64chを利用したワイヤレスLANの使用は、電波法令により屋内に限定されます。
※　3：ユーザーが設定可能な鍵長は、それぞれ40bit、104bitです。
※　4：ARIB(Association of Radio Industries and Businesses)の規定内容は、「ソフト&サポートナビゲーター」-「機能を知る」-「ネットワーク(有線・無線)」-「ワイヤレスLAN使用上の注意」をご覧ください。
※　5：パッシブスキャンのチャンネルは接続に時間がかかる場合があります。

●IEEE802.11b/g

項目	規格
準拠規格	IEEE802.11g、IEEE802.11b、ARIB STD-T66 ※3
通信モード ※1	IEEE802.11gモード:54/48/36/24/18/12/9/6 (Mbpsモード) IEEE802.11bモード:11/5.5/2/1 (Mbpsモード)
伝送方式	OFDM方式 (54/48/36/24/18/12/9/6Mbpsモード時) DS-SS方式 (11/5.5/2/1Mbpsモード時)
無線チャンネル	1～13ch (アクティブスキャン)
周波数帯域	2.4GHz帯域　(2.4 ～ 2.4835GHz)
セキュリティ	WPA-PSK(TKIP/AES)、WPA2-PSK(AES) WEP(鍵長64bit/128bit※2)

※　1：各規格による理論的な通信速度をもとにした通信モード表記であり、実効速度とは異なります。接続対象機器、電波環境、周囲の障害物、設置環境、使用状況、ご使用のOS、アプリケーション、ソフトウェアなどによっても、通信速度、通信距離に影響する場合があります。
※　2：ユーザーが設定可能な鍵長は、それぞれ40bit、104bitです。
※　3：ARIB(Association of Radio Industries and Businesses)の規定内容は、「ソフト&サポートナビゲーター」-「機能を知る」-「ネットワーク(有線・無線)」-「ワイヤレスLAN使用上の注意」をご覧ください。

●IEEE802.11n

項目	規格
準拠規格	IEEE802.11n、ARIB STD-T66 ※2、ARIB STD-T71 ※2
通信モード ※1	20MHz時:130/117/104/78/52/39/26/13 (Mbpsモード) 20MHz、Short GI有効時:144.444 (Mbpsモード) 40MHz時:270/243/216/162/108/81/54/27 (Mbpsモード) 40MHz、Short GI有効時:300 (Mbpsモード)
伝送方式	OFDM方式、MIMO方式
無線チャンネル	1～13ch (アクティブスキャン) 36ch、40ch、44ch、48ch (W52:アクティブスキャン) ※4 52ch、56ch、60ch、64ch (W53:パッシブスキャン) ※3※4 100ch、104ch、108ch、112ch、116ch、120ch、124ch、128ch、132ch、136ch、140ch (W56:パッシブスキャン) ※3
周波数帯域	2.4GHz帯域　(2.4 ～ 2.4835GHz) 5GHz帯域　(5.15 ～ 5.35GHz、5.47～5.725GHz)
セキュリティ	WPA-PSK(AES)、WPA2-PSK(AES)

※　1：各規格による理論的な通信速度をもとにした通信モード表記であり、実効速度とは異なります。接続対象機器、電波環境、周囲の障害物、設置環境、使用状況、ご使用のOS、アプリケーション、ソフトウェアなどによっても、通信速度、通信距離に影響する場合があります。
※　2：ARIB(Association of Radio Industries and Businesses)の規定内容は、「ソフト&サポートナビゲーター」-「機能を知る」-「ネットワーク(有線・無線)」-「ワイヤレスLAN使用上の注意」をご覧ください。
※　3：パッシブスキャンのチャンネルは接続に時間がかかる場合があります。
※　4：36ch、40ch、44ch、48ch、52ch、56ch、60ch、64chを利用したワイヤレスLANの使用は、電波法令により屋内に限定されます。

索引

初版 2011年5月
NEC
853-811064-105-A
Printed in Japan

LaVie M
ユーザーズマニュアル

NECパーソナルプロダクツ株式会社
〒141-0032 東京都品川区大崎一丁目11-1（ゲートシティ大崎 ウエストタワー）

このマニュアルは、再生紙を使用しています。